

PRTRデータを読み解くための

# 市民ガイドブック

平成21年度 集計結果から



化学物質による  
環境リスクを減らすために



 環境省  
Ministry of the Environment

平成23年3月

# PRTR データを読み解くための市民ガイドブック

## 目次

### I 暮らしの中の化学物質

1. 暮らしの中の化学物質	2
2. 暮らしの中でできること	3

### II PRTR制度とは

1. PRTR制度のしくみ	6
2. 対象となる化学物質	8
3. 対象となる事業者	10
4. 対象事業者が届け出るもの	11
5. 排出量・移動量の把握、届出	12
6. 対象事業者以外からの排出(国の推計)	13

### III PRTRデータ

1. PRTRデータの概要	18
(1) PRTRデータの構成	18
(2) 基本となる集計表	19
(3) PRTRデータでこんなことがわかる	20
(4) PRTRデータの取扱い上の留意点	20
2. 平成21年度PRTRデータの集計結果	22
(1) 平成21年度PRTRデータの概要	22
(2) 平成21年度PRTRデータをグラフや表で見る	23
① 全国の届出排出量・届出外排出量	23
② 都道府県別に見る	25
③ 排出先別割合	27
④ 大気・水・土壌に多く排出されている物質	28
⑤ 排出量の多い業種	29
⑥ 家庭から排出される物質	31
⑦ 身の回りの気になる物質	32
⑧ 移動量	34

### 3. 平成15～21年度PRTRデータの集計結果

(1) 平成15～21年度PRTRデータをグラフや表で見る	35
① 届出事業所数の変遷	35
② 全国の排出量	36
③ 大気・水・土壌に多く排出されている物質	37
④ 移動量	40

### 4. ホームページ上でPRTRデータを見る

環境省「PRTR集計・公表システム」	41
環境省「PRTRデータ地図上表示システム」	45

### 5. 個別事業所のPRTRデータを入手する

(1) 個別事業所のPRTRデータ	49
(2) 個別事業所のデータと「PRTRけんさく」の利用について	49
(3) 環境省「地図上表示システム」の利用について	51
(4) 開示請求	51
(5) 開示請求の窓口	52
(6) 請求の方法	53
(7) 開示請求の手数料	53

### IV 化学物質による環境リスク低減のために

1. 市民・事業者・行政のそれぞれの役割	56
2. リスクコミュニケーション	57
(1) リスクコミュニケーションとは	57
(2) 近隣の工場とリスクコミュニケーションしたいときは	58
コラム1：リスクコミュニケーションを支援するしくみ「化学物質に関する冊子」	59
コラム2：リスクコミュニケーションを支援するしくみ「化学物質アドバイザー」	60
コラム3：リスクコミュニケーションを支援するしくみ「GHS」	61

3. PRTRデータの活用例	62
(1) NGO・NPOの取組	62
(2) 地方自治体の取組	63
(3) 企業の取組	65

## V もっと知りたい時には

1. 法律に関すること	68
(1) 化学物質排出把握管理促進法の概要	68
(2) 化管法の見直しについて	69
コラム4：情報提供を受け付ける窓口 「PRTR目安箱」	71
(3) 第一種指定化学物質リスト	72
(4) ファイル記録事項開示請求書	93
2. PRTRに関連する用語の解説	95
環境リスク 排出量 移動量 取扱量 化学物質管理指針 有害性 発がん性 変異原性 感作性 生態毒性 オゾン層破壊物質 CAS番号 レスポンシブル・ケア 環境マネジメントシステム 環境報告書 MSDS 指定化学物質等取扱事業者	
3. 関連サイトアドレス集	98
4. 各自治体のPRTR担当窓口	100
5. 索引	103

P  
Pollutant  
R  
Release  
T  
Transfer  
R  
Register



# I

## 暮らしの中の 化学物質

- |   |             |   |
|---|-------------|---|
| 1 | 暮らしの中の化学物質  | 2 |
| 2 | 暮らしの中でできること | 3 |

# 1 暮らしの中の化学物質

化学物質は私たちの生活を豊かにし、また、便利で快適な毎日の生活を維持するうえで欠かせないものとなっています。現在、原材料や製品など、いろいろな形で流通している化学物質は数万種類といわれています。私たちは、意識するしないにかかわらず、日常生活や事業活動において多くの化学物質を利用し、それらを大気や水、土壌を通じて排出しています。そうした化学物質の中には環境や人の健康に影響を及ぼすおそれがあるものがあります。

化学物質と上手につきあっていくためには、身の回りの化学物質の**環境リスク**<sup>※1</sup>を正しく理解するとともに、市民、事業者、行政が協力して環境リスクを減らす取組を進めることが求められます。

PRTR制度は、この環境リスクを考える際に重要な化学物質の排出・移動情報を、国が集計、公表する仕組みです。

このガイドブックは、そのための基礎的な情報をまとめたものです。後ほど紹介する化学物質ファクトシート、かんたん化学物質ガイド(59ページ)等の色々な情報源を活用しながら、化学物質の性質や身近な製品中の成分、化学物質の環境中への排出状況や体への取り込み量などについて関心を持ち、考えることが重要です。

## 食品類

- 安息香酸、ソルビン酸など(保存料)
- 食用赤色2号など(合成着色料)
- 残留微量化学物質



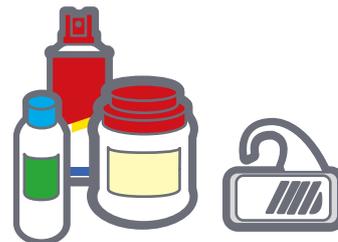
## 衣料品

- ナイロン、ポリエステルなど(化学繊維)
- テトラクロロエチレンなど(ドライクリーニング)



## 農薬・殺虫剤・肥料

- p*-ジクロロベンゼン、フェントロチンなど



## 自動車

- ベンゼン、トルエンなど



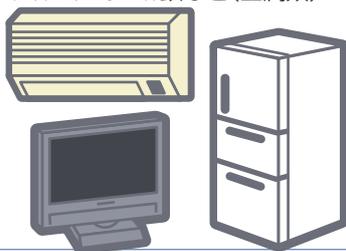
## 洗剤や化粧品

- ヘキサクロロフェン、トリクロサン、パラベンなど(殺菌剤・防腐剤)
- LASなど(界面活性剤)



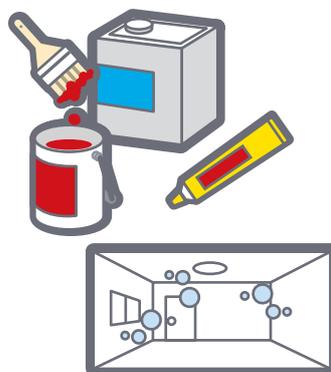
## 家電製品

- PBDEなど(難燃剤)
- アルミニウム、鉄など(金属類)



## 塗料や接着剤

- トルエン、キシレン、ホルムアルデヒドなど
- 酢酸ビニルなど(接着剤)



## 医薬品

- アセトアミノフェン、イブプロフェン、テトラサイクリンなど



※1 環境リスクについては、94ページをご参照ください。

## 2 暮らしの中でできること

### 1) 化学物質に関心を持つ・PRTRデータを見る

新聞やテレビのニュース、自治体の広報紙、事業者や自治体の説明会など、これからご紹介するPRTRデータの集計結果を目にする機会は少なくありません。まずは、データを見ることから始めてみましょう（18～53ページ参照）。データのすべてを理解する必要はありません。実際にデータに触れてみて「難しい」「分からない」といった感想を持つことから始めても良いのです。

### 2) 疑問に思ったことや分からないことを調べる

インターネットや図書館などを利用して自分で調べるだけでなく、同じような関心を持つ人たちと一緒に勉強会を開催する、事業者や自治体の説明会などに参加し質問をするといった方法があります。

### 3) 毎日の暮らしを見直す

PRTR制度では、家庭や自動車などから排出される化学物質の量も推計され、公表されます。例えば、ベンゼンは自動車の排ガスやガソリンなどに含まれますし、<sup>パラ</sup>p-ジクロロベンゼンは家庭で使用される衣類防虫剤の主成分の一つです。このように私たち自身の暮らしから排出される化学物質も少なくありません。

一人一人の暮らしの中の小さな行動が積み重なり、地域全体としては大量の化学物質の排出につながっていることをほんの少しだけ意識して、できることから始めてみてはいかがでしょうか。



#### 必要なものを必要な分だけ

化学物質をまったく利用せずに日常生活を送ることはできませんが、毎日の暮らしのなかで化学物質の使用や排出を減らす機会も意外と多いものです。

まずは無駄をなくすよう心がけてみましょう。



#### 使用上の注意を守り、捨てる時にはルールに従う

さまざまな化学物質を不注意に環境中に排出することのないよう、使用上の注意を守り、使った後は表示された方法に従って廃棄しましょう。

表示をよく見る



#### 環境への負荷が少ない製品を選ぶ

どんな化学物質が使用されているのか表示を見て確認したり、リサイクル可能な製品を選んだりするなど、製品を買う段階で今よりも少しだけ環境への影響を気にかけてみてください。

消費者のこうした行動は、事業者をより環境に配慮する方向へと変えていくことにもつながります。



## II

# PRTR制度とは

1	PRTR制度のしくみ	6
2	対象となる化学物質	8
3	対象となる事業者	10
4	対象事業者が届け出るもの	11
5	排出量・移動量の把握、届出	12
6	対象事業者以外からの排出 (国の推計)	13

# 1 PRTR制度のしくみ

PRTR 制度とは **Pollutant Release and Transfer Register**  
化学物質 排出・移動量 届出制度の略称です。

## 化学物質の排出・移動に関する情報を 国が1年ごとに集計し、公表する制度。

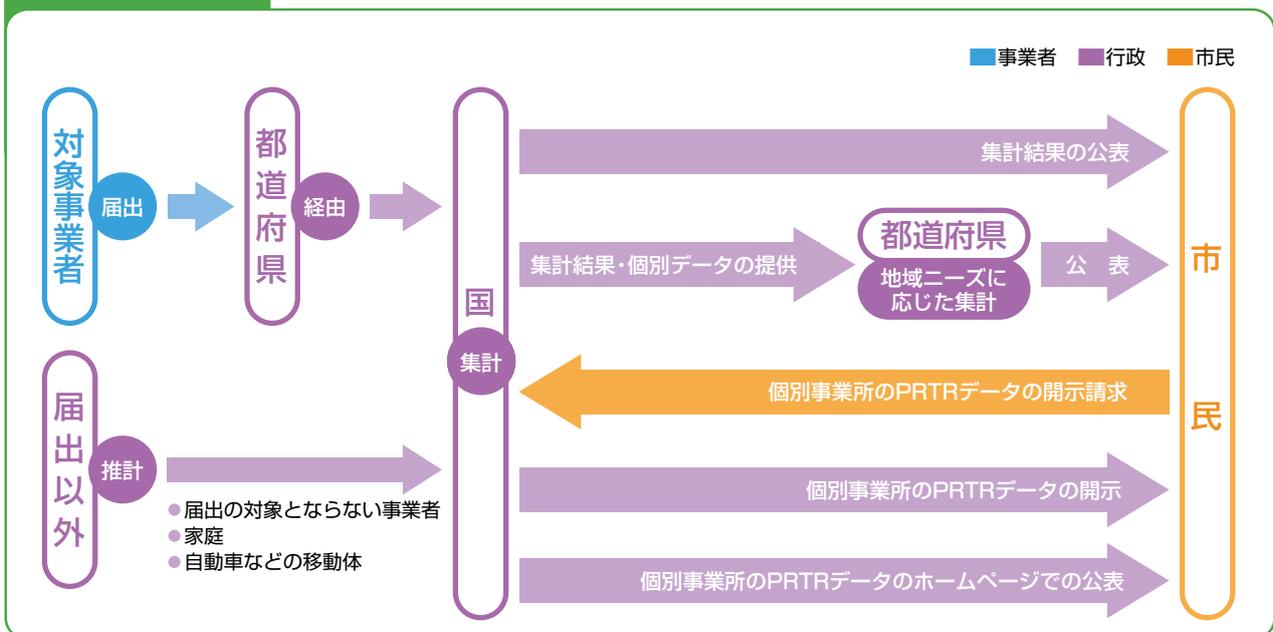
人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質が、どこから、どれだけ排出されているかを知るとともに、化学物質の排出量や化学物質による環境リスクを減らすための制度の1つとして、PRTR制度が設けられています。PRTR制度は、これまで市民がほとんど目にする事のなかった化学物質の排出・移動に関する情報を国が1年ごとに集計し、公表する制度です。

国がデータを集計・公表するためには、対象となる**事業者**<sup>※1</sup>が、環境中に排出した化学物質の量（排出量）や廃棄物などとして処理するために事業所の外へ移動させた量（移動量）を自ら把握し、年に1回国に届け出ることから始まります。

国は、その届出データを集計するとともに、**届出の対象とならない事業者**<sup>※2</sup>や家庭、自動車などから環境中に排出されている対象化学物質の量を推計して、2つのデータを併せて公表します。

また、事業者から届け出られた個別事業所ごとの情報についても、ホームページ上で公表しています（詳細は、49ページをご参照ください）。

### PRTRデータの流れ



※1 「事業者」には民間の企業だけでなく、国や地方公共団体などの廃棄物処理施設や下水道処理施設、教育・研究機関なども含まれます。

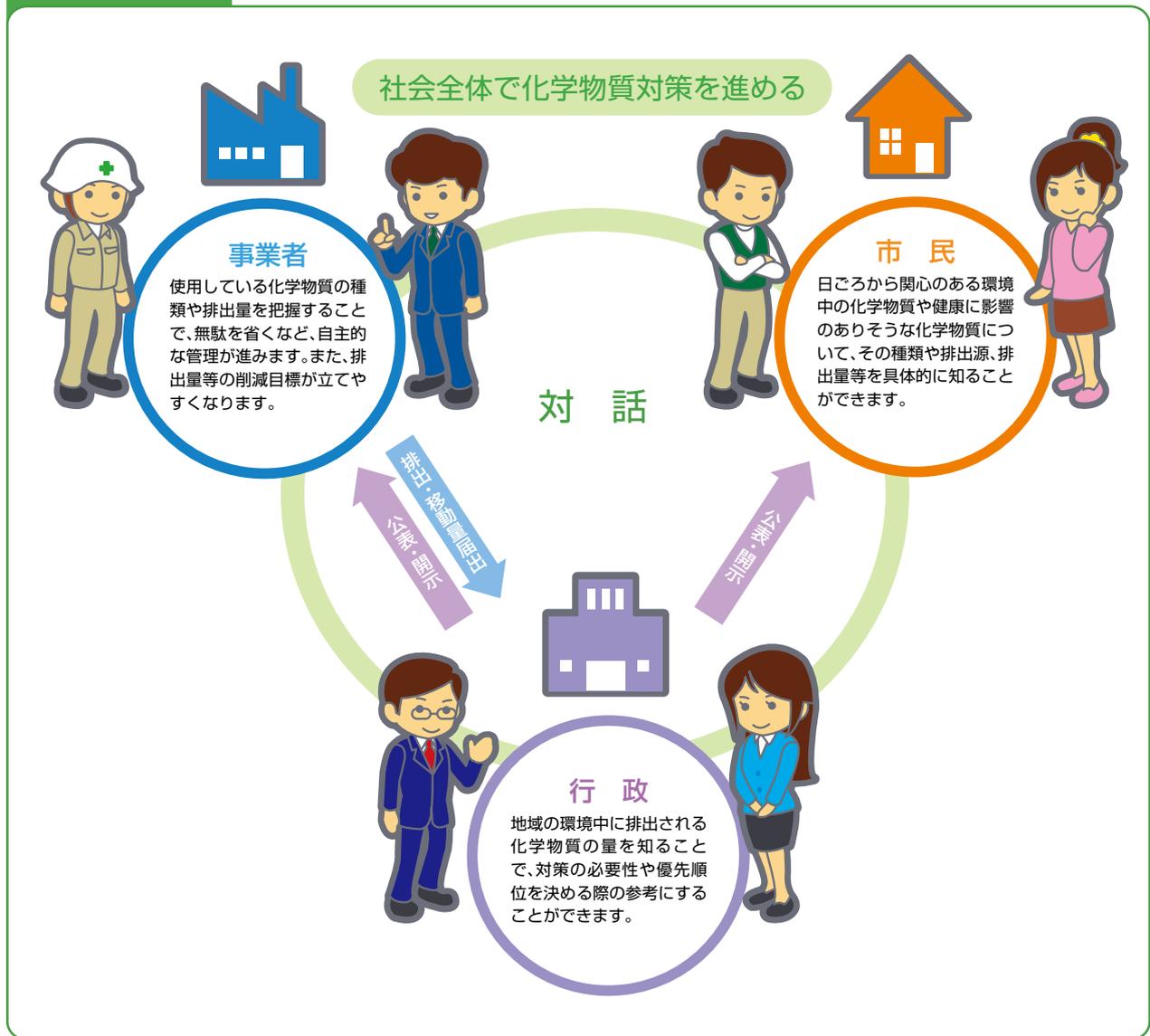
※2 届出が必要な業種に該当しない、または、従業員数や対象化学物質の取扱量が少ないといった理由から、PRTR制度で届出を行うことが義務付けられていない事業者を指します。

## PRTR制度は、化学物質の情報を共有し、協力して取組を進める。

PRTR制度によって、市民や行政は、化学物質の排出に関するより詳しい情報を入手することが可能となりました。これにより、市民にはこれまで行政や事業者任せのしかなかった化学物質問題への取組に積極的に参加する機会が広がりました。

PRTRデータを利用して、市民、事業者、行政が、化学物質の排出の現状や対策の内容、進み具合について話し合いながら、協力して化学物質対策を進めていくことが期待されます。

### PRTRの基本構造



#### 化学物質排出把握管理促進法

PRTR制度は、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」により制度化されています。この法律は「化学物質排出把握管理促進法」や「化管法」、「PRTR法」といった略称で呼ばれていますが、このガイドブックの中では「化管法」と表記します。化管法の詳細については、68ページをご参照ください。

## 2 対象となる化学物質

### 人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質が対象

化管法の対象となる化学物質は、人の健康を損なうおそれ（発がん性、変異原性、感作性など）又は動植物の生息もしくは生育に支障を及ぼすおそれ（生態毒性）があるもので、環境中に存在すると考えられる量の違いによって第一種指定化学物質と第二種指定化学物質の2つに区分されています。

PRTR制度の届出の対象となるのは、第一種指定化学物質で、このうち、人に対する発がん性等があると評価されている物質は、特定第一種指定化学物質と呼ばれています。

第一種指定化学物質を他の事業者に譲渡・提供する場合には、有害性に関する情報や取扱方法などを記載した**MSDS（化学物質等安全データシート）**<sup>※3</sup>を提供することが事業者には義務づけられています。

第二種指定化学物質については排出量等を国に届け出る必要はありませんが、第一種指定化学物質と同様MSDSの提供が求められています。

平成20年11月の化管法施行令の改正により、対象物質が見直されました。これにより第一種指定化学物質は354物質から**462物質**に、第二種指定化学物質は81物質から**100物質**に変わりました。平成23年度から、見直し後の第一種指定化学物質の排出量等の届出がなされます（詳しくは、70ページ参照）。

平成22年度までの排出量等の届出対象物質リストは、72～85ページをご覧ください。  
平成23年度以降の排出量等の届出対象物質リストは、86～92ページをご覧ください。

#### 第一種指定化学物質：排出量・移動量の届出とMSDSの提供

次のいずれかの**有害性**<sup>※4</sup>の条件に当てはまり、かつ、環境中に広く継続的に存在するもの

- 人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息もしくは生育に支障を及ぼすおそれがあるもの
- その物質自体は人の健康を損なうおそれ又は動植物の生息もしくは生育に支障を及ぼすおそれがなくても、環境中に排出された後で化学変化を起こし、容易に上記の有害な化学物質を生成するもの
- オゾン層を破壊するおそれがあるもの

#### 特定第一種指定化学物質

人に対する発がん性等があると評価されているもの  
ニッケル化合物、ベンゼン、砒素及びその無機化合物、ダイオキシン類など

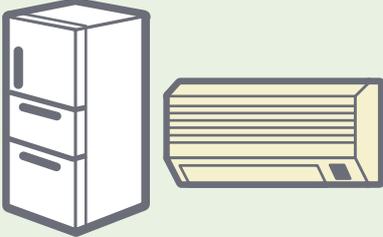
#### 第二種指定化学物質：MSDSの提供

第一種指定化学物質と同じ有害性の条件に当てはまり、製造量の増加等があった場合には、環境中に広く存在することとなると見込まれるもの

※3 MSDSについては、96ページをご参照ください。

※4 有害性については、94ページをご参照ください。

## ■ 対象化学物質の例

	主な用途	有害性
<p><b>人の健康を損なうおそれがあるもの</b> (例:ベンゼン)</p> 	<p>基礎化学原料として多方面の分野で使われており、ベンゼンから合成される代表的な化学物質には、スチレン(合成樹脂や合成ゴムの原料)、シクロヘキサン(ナイロン繊維の原料)、フェノール(合成樹脂、染料、農薬などの原料、消毒剤)、無水マレイン酸(合成樹脂、樹脂改良剤などの原料)などがあります。</p> <p>なお、ガソリンの中に数%のベンゼンが含まれていましたが、低ベンゼン化が進められ、大気汚染防止法に基づく規制の改正によって、自動車用ガソリンのベンゼンの許容限度は、2000年1月より1%以下(体積比)になっています。また、たばこの煙にもベンゼンは含まれています。</p>	<p>人への発がん性(白血病)が認められています。また、高濃度のベンゼンを長期間体内に取り込むと、造血器に障害を引き起こすことが報告されています。</p>
<p><b>動植物の生息もしくは生育に支障を及ぼすおそれがあるもの</b> (例:ノニルフェノール)</p> 	<p>主に工業用の界面活性剤の合成用原料として使われています。</p> <p>この他、印刷インキの材料、酸化防止剤の原料、フェノール樹脂用積層板の原料やエポキシ樹脂などへの安定剤として使われています。</p>	<p>水生生物に悪影響を及ぼすことが示唆されています。また、同一濃度では女性ホルモンよりはかなり弱いながらも、メダカに対する内分泌かく乱作用を持つことが推察されています。</p> <p>なお、今のところラットに対する試験では、明らかな内分泌かく乱作用は確認されていません。</p>
<p><b>オゾン層を破壊し、太陽紫外放射の地表に到達する量を増加させることにより人の健康を損なうおそれがあるもの</b> (例:ジクロロジフルオロメタン(CFC-12))</p> 	<p>不燃性であること、熱に対しても化学的にも安定で分解しにくいことなどの性質があり、断熱材の発泡剤、業務用冷凍空調機器の冷媒、家庭用冷蔵庫の冷媒、飲料用自動販売機の冷媒、カーエアコンの冷媒、ぜん息治療薬用噴霧吸入器の噴射剤として使われてきました。</p>	<p>フロン類は成層圏オゾン層を破壊することにより、間接的に人の健康へ影響を及ぼします。オゾン層は太陽からの有害な紫外線を吸収し、地上の生態系を保護しています。オゾン層が減少すると地上に達する紫外線が増え、皮膚がんや白内障の増加など、人の健康への影響が懸念されています。</p>

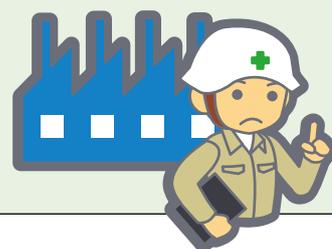
## 3 対象となる事業者

「対象業種」「従業員数」「取扱量等」の条件を全て満たす事業者が対象。

PRTR制度の対象化学物質を製造したり、使用したり、環境中へ排出している事業者のうち、以下の3つの条件すべてに合致する事業者に届出の義務が課されています<sup>※5</sup>。

①対象業種（日本標準産業分類（平成5年改定）による業種区分に基づく）

金 属 鉱 業	電 気 業	自 動 車 整 備 業
原 油 ・ 天 然 ガ ス 鉱 業	ガ ス 業	機 械 修 理 業
製 造 業	熱 供 給 業	商 品 検 査 業
●食料品製造業	下 水 道 業	計 量 証 明 業
●飲料・たばこ・飼料製造業	鉄 道 業	一般計量証明業を除く
●繊維工業	倉 庫 業	一般廃棄物処理業
●衣服・その他の繊維製品製造業	農作物を保管するもの又は貯蔵タンクにより気体若しくは液体を貯蔵するものに限る	ごみ処分量に限る
●木材・木製品製造業	石 油 卸 売 業	産業廃棄物処分量
●家具・装備品製造業	鉄スクラップ卸売業	特別管理産業廃棄物処分量を含む
●パルプ・紙・紙加工品製造業	自動車用エアコンディショナーに封入された物質を回収し、又は自動車の車体に装着された自動車用エアコンディショナーを取り外すものに限る	医 療 業（注）
●出版・印刷・同関連	自 動 車 卸 売 業	高 等 教 育 機 関
●化学工業	自動車用エアコンディショナーに封入された物質を回収するものに限る	自 然 科 学 研 究 所
●石油製品・石炭製品製造業	燃 料 小 売 業	(注)医療業は、平成22年度から排出量・移動量を把握、平成23年度から届出のため、平成21年度分の公表データには含まれていません。
●プラスチック製品製造業	洗 濯 業	
●ゴム製品製造業	写 真 業	
●なめし革・同製品・毛皮製造業		
●窯業・土石製品製造業		
●鉄鋼業		
●非鉄金属製造業		
●金属製品製造業		
●一般機械器具製造業		
●電気機械器具製造業		
●輸送用機械器具製造業		
●精密機械器具製造業		
●武器製造業		
●その他の製造業		



②従業員数／常用雇用者21人以上の事業者

③第一種指定化学物質のいずれかを1年間に1トン以上（特定第一種指定化学物質については0.5トン以上）取り扱う事業所を有するなどの要件を満たす事業者又は特別要件施設（廃棄物処理施設や下水道終末処理施設など）を有する事業者

全国数百万の事業所（民営・公営含む）のうち、この条件をすべて満たす事業所はおよそ4万事業所です。対象業種以外や、対象業種であっても従業員数や対象化学物質の取扱量が少ないなどの理由でPRTR制度の対象とならない事業所からの排出量は、家庭や自動車などからの排出量と同様に国が推計します。

※5 対象事業者選定の考え方や選定の経緯については、「今後の化学物質による環境リスク対策の在り方について（中央環境審議会第二次答申）－PRTR対象事業者等について－」

<http://www.env.go.jp/council/former/tousin/040002-2.pdf> をご参照ください。

## 4 対象事業者が届け出るもの

### 対象化学物質の環境中への排出量、 廃棄物に含まれての移動量を届出

対象事業者は、年に1度、前年度の事業所ごとの対象化学物質の排出量及び移動量を国へ届け出ることが義務づけられています。

排出量とは、生産工程などから排ガスや排水などに含まれて環境中に排出される第一種指定化学物質の量で、以下の①から④に分けられています。

移動量とは、廃棄物の処理を事業所の外で行うなどで移動する第一種指定化学物質の量のことで、以下の⑤と⑥に分けられています。

#### 排出量 ①大気への排出

大気への排出量は、排気口や煙突からの排出ばかりではなく、ペンキなどの塗料に含まれる成分の揮発も排出と考えます。

#### ②公共用水域<sup>※6</sup>への排出

公共用水域への排出量は、河川や湖沼、海などに排出した量をいいます。

#### ③事業所における土壌への排出

土壌への排出量は、タンクやパイプから土壌へ漏洩した量なども排出とみなします。

#### ④事業所における埋立処分

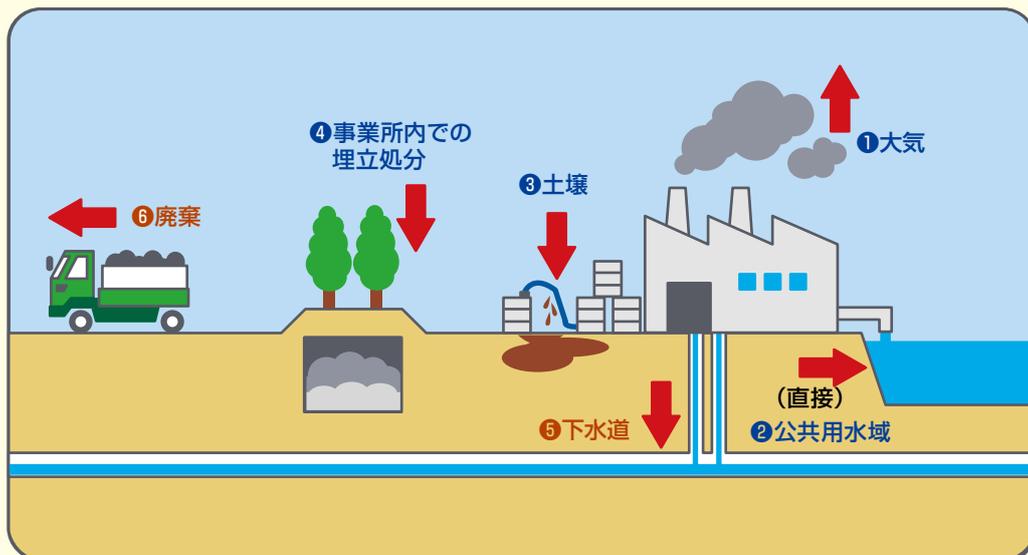
埋立処分とは、事業所で生じた対象化学物質を含む廃棄物を事業所内の埋立地に埋め立てる場合をいい、土壌への排出とは区別されます。

#### 移動量 ⑤下水道<sup>※7</sup>への移動

下水道に流した量のことをいいます。

#### ⑥事業所の外への移動

産業廃棄物処理業者に廃棄物の処理を委託した量のことをいいます。



※6 公共用水域とは、水質汚濁防止法で、「河川、湖沼、港湾、沿岸海域その他公共の用に供される水域及びこれに接続する公共溝渠、かんがい用水路その他公共の用に供される水路」と定められており、川や湖、海などはすべて公共用水域に該当します。（下水道を除く。）

※7 下水道とは、下水道法で、「下水を排除するために設けられる排水管、排水渠その他の排水施設など」と定められており、家庭や工場などで汚れた水を、下水管渠を通じて処理場に集め、浄化して自然に返す施設です。

## 5 排出量・移動量の把握、届出

**排出量・移動量を算出します。**  
**届出は電子届出も可能です。**

事業所では1年間の排出量や移動量を必ずしも実際に測定しているわけではなく、以下の5つの**算出方法**<sup>※8</sup>のいずれかを使って求めています。

- ① 事業所に入ってきた量と出ていった量の差を求める
- ② 排ガスや排水の濃度を実際に測定し、それに排ガス・排水量を乗じる
- ③ 取扱量（事業所で取り扱った量）に排出係数（これくらいが環境中に出ていくとされる割合）を乗じる
- ④ 排ガス・排水量に物性値（蒸気圧、溶解度など、含まれている化学物質の量を固定できる値）を乗じる
- ⑤ その他、的確に算出できると認められる方法

のいずれかの方法で算定して求め、有効数字2桁で記入します。

### ■ 届出について

事業者は「第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書」の様式に従って届出を行います。

これは、①事業者の名前や事業所の住所、その事業所で行われている事業の業種などを記入するものと、②その事業所から排出または移動される化学物質の量を記入するものの2種類があり、②は、1つの化学物質につき1枚作成されます。

届出は、「書面」「磁気ディスク」「電子」のいずれの方法でも受け付けていますが、直接都道府県の窓口に出向く必要がない「電子」による届出を奨励しています。

1事業所が届け出る物質の数は、業種や規模などによって異なります。例えば、平成21年度のデータでは、最も多かった事業所で63物質、1事業所あたりの平均届出物質数は5.7物質でした。



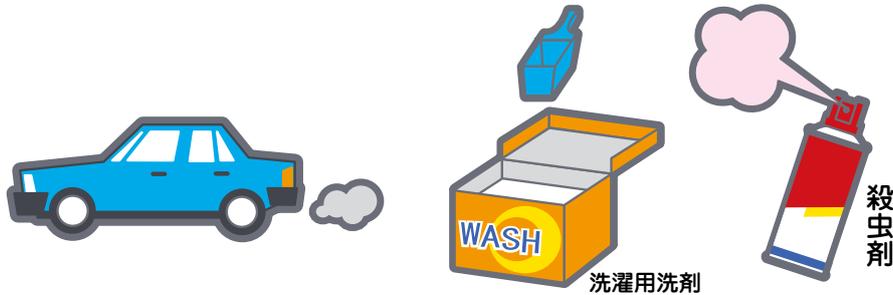
### ■ 企業秘密について

対象事業者は、通常、都道府県を経由して国に届け出ますが、企業秘密にあたりと考える物質についての情報は国に直接届け出ます。この情報は、国による集計・公表にあたって、秘密情報として保護されることとなりますが、企業秘密であるか否かは国で厳格に判断されます。なお、PRTR制度が開始されて以来、国への企業秘密としての届出は1件もありません。

※8 排出量の算出方法については、「PRTR 排出量等算出マニュアル」（環境省・経済産業省）  
<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/calc.html> をご参照ください。

## 6 対象事業者以外からの排出 (国の推計)

届出対象外の事業者、自動車などの移動体、家庭等からの排出量は国が推計し公表します。



PRTR制度の届出の対象となった事業者だけが化学物質の排出源ではありません。届出の対象とはならない事業者や自動車などの移動体、家庭等も排出源となっています。

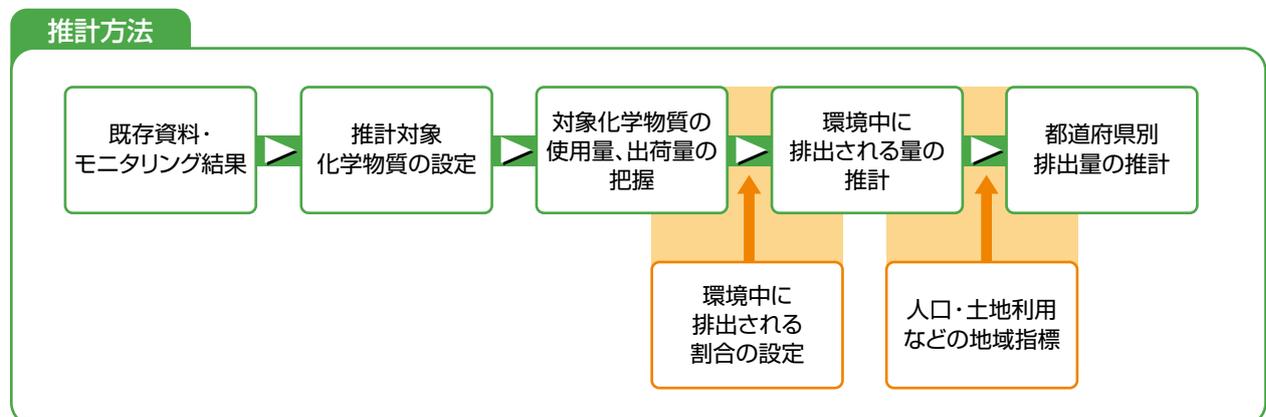
これら対象事業者以外の排出源からの排出量を国が推計します。この結果は、事業者から届出された情報と併せて公表されます。

推計の対象となるのは主に次のような排出源からの排出量です。

- 届出対象業種のうち従業員数が21人未満の事業者
- 届出対象業種のうち事業所ごとの年間取扱量が1トン未満 (特定第一種指定化学物質は0.5トン未満) の化学物質
- 届出の対象となっていない業種: 建設業、飲食業、農業等
- 家庭: 防虫剤、塗料、除草剤、殺虫剤、洗浄剤などの使用に伴う排出
- 移動体 (交通機関): 自動車、二輪車、船舶、鉄道車両、航空機等

### 推計方法

届出以外の排出源からの排出量については、その排出源に応じたさまざまな推計方法<sup>※9</sup>を用いて推計されますが、おおまかに以下のような手順で推計しています。



※9 推計方法の詳細は、環境省の「PRTR インフォメーション広場」の「PRTR 届出外排出量の推計方法」  
[http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/todokedegai\\_siryu.html](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/todokedegai_siryu.html) をご参照ください。

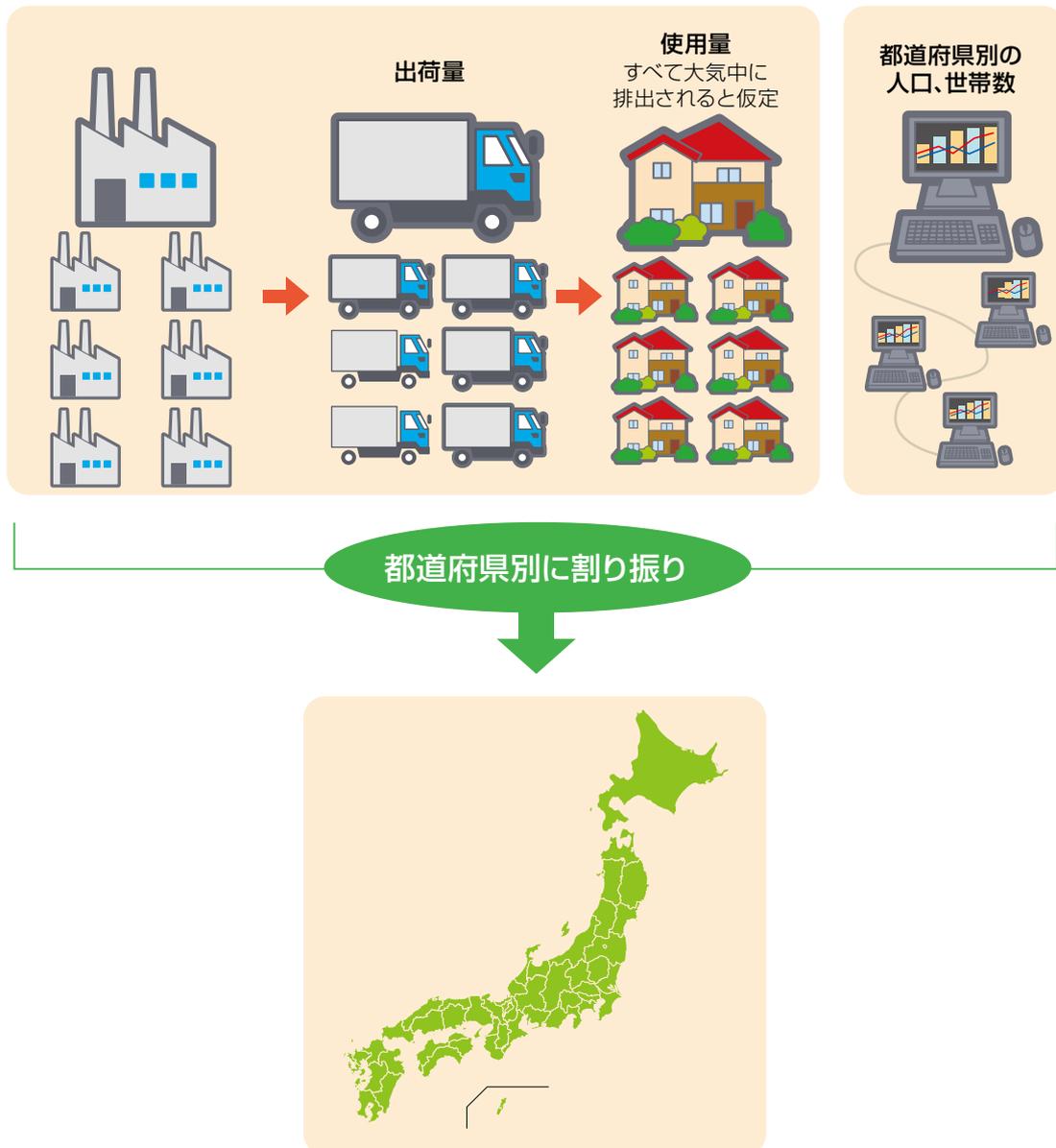
## ■ 推計方法の例

その物質の使用量すべてが大気へ排出されるような物質の場合



### [推計方法]

- 推計対象年度の出荷量の全量が使用され、使用量の全量が環境中に排出されるものと仮定します。
- 業界団体がまとめている製品の全国出荷量などのデータや、人口、世帯数の統計データを使用して、全国及び都道府県別の排出量を推計します。







# III

## PRTRデータ

<b>1 PRTRデータの概要</b>	18
(1) PRTRデータの構成	18
(2) 基本となる集計表	19
(3) PRTRデータでこんなことがわかる	20
(4) PRTRデータの取扱い上の留意点	20
<b>2 平成21年度PRTRデータの集計結果</b>	22
(1) 平成21年度PRTRデータの概要	22
(2) 平成21年度PRTRデータをグラフや表で見る	23
① 全国の届出排出量・届出外排出量	23
② 都道府県別に見る	25
③ 排出先別割合	27
④ 大気・水・土壌に多く排出されている物質	28
⑤ 排出量の多い業種	29
⑥ 家庭から排出される物質	31
⑦ 身の回りの気になる物質	32
⑧ 移動量	34
<b>3 平成15～21年度PRTRデータの集計結果</b>	35
(1) 平成15～21年度PRTRデータをグラフや表で見る	35
① 届出事業所数の変遷	35
② 全国の排出量	36
③ 大気・水・土壌に多く排出されている物質	37
④ 移動量	40
<b>4 ホームページ上でPRTRデータを見る</b>	41
環境省「PRTR集計・公表システム」	41
環境省「PRTRデータ地図上表示システム」	45
<b>5 個別事業所のPRTRデータを入手する</b>	49
(1) 個別事業所のPRTRデータ	49
(2) 個別事業所のデータと 「PRTRけんさくくん」の利用について	49
(3) 環境省「地図上表示システム」の利用について	51
(4) 開示請求	51
(5) 開示請求の窓口	52
(6) 請求の方法	53
(7) 開示請求の手数料	53

# 1 PRTRデータの概要

## (1) PRTRデータの構成

PRTRデータは、排出源別に次の5種類のデータで構成されています。

- 
**届出** 対象となる業種に含まれ、従業員、取扱量が一定規模以上の事業所からの排出量
- 
**届出対象外** 対象となる業種に含まれるが、従業員、取扱量が一定規模未満のため、届け出ていない事業所からの排出量
- 
**非対象業種** 届出の対象となる業種に該当しない事業所からの排出量
- 
**家庭** 家庭からの排出量
- 
**自動車など** 自動車など移動体からの排出量

このうち  **届出** は届出データ、 **届出対象外**  **非対象業種**  **家庭**  **自動車など** は国による推計データです。推計の対象となる製品などについては図外に示してあります。  部分以外が国で推計した部分です。

### ●集計の対象となる排出量の構成

対象業種	非対象業種	家庭
 <b>届出</b> <b>届出対象</b> 従業員21人以上 年間取扱量1トン以上	 <b>届出対象外</b> 年間取扱量 1トン未満	 <b>家庭</b>
	倉庫業 建物サービス業等 建物業等 飲食業等	農業 殺虫剤 接着剤 塗料 洗浄剤
	農業、林業、ゴルフ場等 漁業等 漁網防汚剤 医療業等* 医薬品 汎用エンジン	防虫剤・消臭剤 たばこの煙 化粧品
	下水処理施設 低含有率物質	
	水道のトリハロメタン	
	オゾン層破壊物質／ダイオキシン類	
 <b>移動体</b> 自動車、二輪車、特殊自動車(建設機械、農業機械、産業機械)、 船舶(貨物船・旅客船等、漁船)、鉄道車両、航空機		

注) あくまでイメージ図であり、面積比が排出量の割合を示すものではありません。

\*医療業…平成 20 年 11 月の化管法施行令の改正により対象業種として追加。平成 22 年度から排出量・移動量を把握、平成 23 年度から届出開始。

## (2) 基本となる集計表

PRTRデータは、事業者からの届出と国の推計に基づいた化学物質の排出量・移動量を表にして公表されます。結果を分かりやすく示すために、表やグラフなどに加工してありますが、基本となるのは「化学物質の名称」とその「排出量」「排出先」についての単純な数値データです。なお、事業者の届出データには大気、公共用水域など排出先も記入されていますが、国の推計データには、現時点では大気や水域などへの割り振りが困難なことから、排出先の区分はありません。

平成21年度の届出データを例に見てみましょう。下表は、対象化学物質別に、いくつの事業所から届出があったか、それぞれ大気、公共用水域（河川や海など）、事業所敷地内の土壌のどこにどれだけ排出されたか、事業所敷地内にどれだけ埋立処分されたか、廃棄物として事業所の外へ運び出された量はどれくらいか、といった基礎的な情報を集計したものです。

このような数値データをもとにして、全国的に排出量の多い物質は何か、業種別や地域別にどのような特徴があるか、といったさまざまな視点で整理、集計することができます。

届出

III  
PRTRデータ

この物質について何件の届出があったか

廃棄物として、また下水道に年間何 Kg 移動されたか

物質番号	対象物質 物質名	報告事業所数 (件)			届出件数 (件)					排出量 (kg/年：ダイオキシン類はmg-TEQ/年)				移動量 (kg/年：ダイオキシン類はmg-TEQ/年)			排出・移動量合計				
		排出	移動	全体*	大気	公水	土壌	埋立	合計	廃棄物	下水道	合計	大気	公共用水域	土壌	埋立		合計	廃棄物移動	下水道への移動	合計
0001	亜鉛の水溶性化合物	2592	578	3857	97	2546	4	6	2653	545	121	666	19254	601783	43	262069	883146	5406305	20354	5428659	6311807
0002	アクリルアミド	34	36	106	29	11	0	0	40	36	5	41	313	81	0	0	394	64070	10	64080	64474
0003	アクリル酸	118	101	224	110	15	0	0	125	98	10	108	39698	2195	0	0	41793	221259	6277	227536	209330
0004	アクリル酸エチル	84	61	118	83	8	0	0	91	60	5	65	14306	366	0	0	14672	139332	135	139467	154138
0005	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	5	1	11	5	0	0	0	5	1	0	1	3	0	0	0	3	19	0	19	22
0006	アクリル酸メチル	56	34	90	56	7	0	0	63	34	0	34	26472	529	0	0	27001	31432	0	31432	58433
0007	アクリロニトリル	123	58	156	118	19	0	0	137	57	4	61	215240	5808	0	0	221048	277784	1	277785	498811
0008	アクロレイン	3	2	8	3	1	0	0	4	2	0	2	2070	24	0	0	2094	26300	0	26300	28394
0009	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	31	123	148	30	2	1	0	33	123	1	124	3483	11	0	0	3494	107720	0	107720	111216
0010	アジポニトリル	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	2	2
0011	アセトアルデヒド	56	10	63	52	17	0	0	69	10	2	12	65882	33460	0	0	99342	163243	152	163395	262737
0012	アセトニトリル	184	235	272	180	23	0	0	203	234	31	265	20664	6307	0	0	126971	3306735	35784	3342520	3469491
0013	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	2	26	84	0	2	0	0	2	26	2	28	0	5	0	0	5	505	0	505	511
0014	o-アニシジン	0	2	5	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	120	5	125	125
0015	アニリン	31	43	77	30	4	0	0	34	39	9	48	2698	10014	0	0	12712	450972	975	457947	470659
0016	ア-アミノエタノール	153	282	434	103	64	0	0	167	286	71	327	41871	26279	0	0	68150	2398302	90809	2489111	2557281

大気・水域・土壌・埋立に年間何 Kg 排出されたか

\* 報告事業所数の「全体」は、当該化学物質を取り扱っていると報告があった件数であり、この中には排出量・移動量が0という事業者も含まれます。しかし、報告事業所数の「排出」及び「移動」には、排出量・移動量が0の場合、報告事業所数には含まれません。このため、「排出」及び「移動」の合計が、「全体」の合計と異なる場合があります。

### (3) PRTRデータでこんなことがわかる

物質別や排出先別、地域別などの項目ごとに集計されたPRTRデータからは、次のようなことが分かります。

- 全国の事業者が大気、公共用水域、事業所内の土壌への排出及び事業所内で埋立処分している対象化学物質とその量
- 全国の事業者が廃棄物としてや下水道への放出によって事業所の外へ移動している対象化学物質とその量
- 全国の届出の対象とならない事業所や家庭、自動車などから排出される対象化学物質とその量
- 対象化学物質別の排出量・移動量
- 業種別の排出量・移動量
- 都道府県別の排出量・移動量 など



PRTRデータは、事業者からの届出と国の推計に基づいた、化学物質別の排出先と排出量の情報です。そのデータを排出量の大きい順番に並べたり、排出先（大気・公共用水域・事業所内土壌・事業所内埋立）別に集計したり、地域別や業種別に区分してみることで、その化学物質の排出状況にどのような特徴があるのかを知ることができます。

しかし、データの加工のしかたによっては誤解を招くものもあり、読み手にも注意が必要です。例えば、グラフ化すると分かりやすいという印象を受けますが、つい排出量の大小にだけ関心が向き、量が少なくても有害性が大きい物質などを見落としがちです。排出量の大きさがそのまま環境や人の健康への影響となるわけではありません。また、基になるデータそのものも届出や推計された数値であることから、データが絶対的な値を示しているとは限りません。

### (4) PRTRデータの取扱い上の留意点

PRTRデータを見たり、活用したりする上で留意すべき点は次のとおりです。

#### 1) 届出排出量・移動量の限界

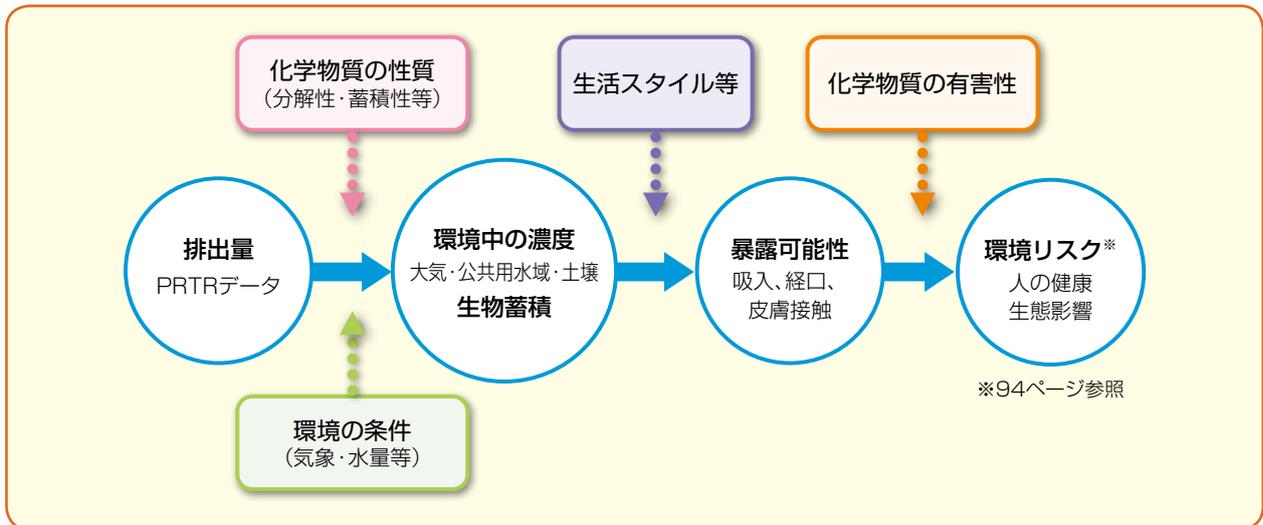
- 一定の要件を満たした事業者が届出を行うため、全国すべての事業者からの排出量等を網羅しているわけではありません。
- 事業者が届け出た排出量等は、必ずしもすべてが実際に測定した値に基づくものではないことから（12ページ参照）、データの精度には限界があります。

#### 2) 届出外排出量の限界

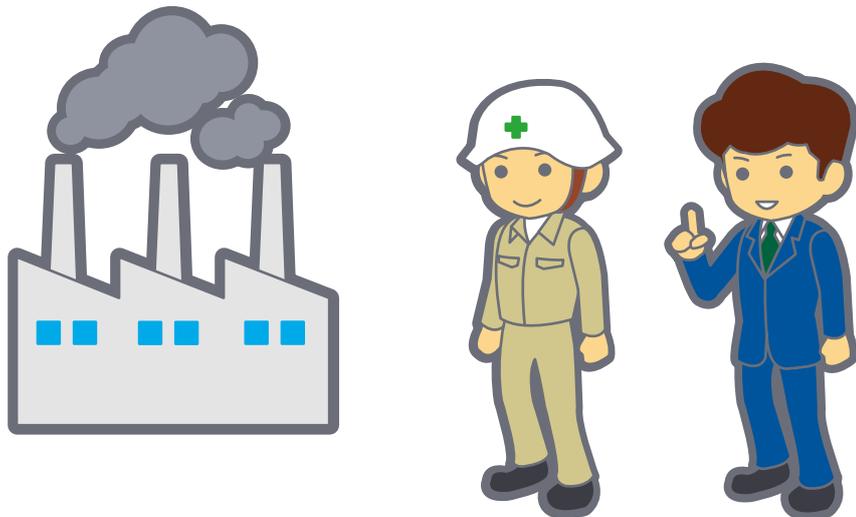
- 届出外排出量については、想定される主要な排出源を対象に国が推計を行っていますが、推計を行った時点で利用可能な信頼できる知見が存在する排出源のみが対象となっており、すべての排出源を網羅したもとはなっていません。
- 届出外排出量については、利用可能な信頼できる知見に基づき推計を行っているものの、あくまで推計であり、データの精度には限界があります。また、排出源の種類によっても推計方法が異なるため、精度に開きがあります。

3) 公表データによるリスク評価<sup>※1</sup>の限界

- 公表されるPRTRデータはあくまで排出量・移動量であり、環境中の濃度や、人や動植物が実際にさらされる化学物質の量（暴露量）ではありません。また、化学物質が人の健康や動植物に影響を及ぼすおそれ（リスク）の大小を直接表すものでもありません。
- 化学物質による環境や人への影響については、PRTRデータに加え、それが環境中にどのように分布しているのか（環境中の濃度）、実際に人や生物にどれくらい取り込まれるのか（暴露可能性）、化学物質の有害性の程度、といったさまざまな要因と併せて分析する必要があります。この過程を模式的に示すと次の図のようになります。



- PRTR制度で公表される排出量・移動量のみで人の健康や動植物への影響を検討することはできませんが、排出量の多い物質や地域の特定等、リスク評価あるいはそのための**暴露評価**<sup>※2</sup>の際の着目点が把握できます。
- なお、ダイオキシン類については、届出量の単位がmg（ミリグラム：1/1000グラム）と、他の物質と比べて極端に小さいため、図表中でも単位を区別して表しています。また、ダイオキシンにはいくつもの種類があり、それぞれに毒性が異なるため、毒性の大きさを統一した量（TEQ）に変換されて届出がされます。（詳細は32ページ参照）



※1 リスク評価とは、人の健康や動植物への影響などを科学的に予測するために、化学物質の有害性と暴露の程度を評価することをいいます。

※2 暴露評価とは、人が皮膚や口、肺などを通じて体内に取り込む化学物質の量を推定し、評価することをいいます。

## 2 平成21年度PRTRデータの集計結果

### (1) 平成21年度PRTRデータの概要

平成23年2月に公表されたPRTRデータの結果は、

- ① 全国の事業者から平成22年（2010年）4月1日から6月30日までに届出のあった、平成21年（2009年）4月から翌22年（2010年）3月までの1年間の化学物質の排出量・移動量
- ② 届出の対象にならなかった事業所や家庭、自動車等の移動体などからの国が推計した化学物質の排出量を集計したものです。



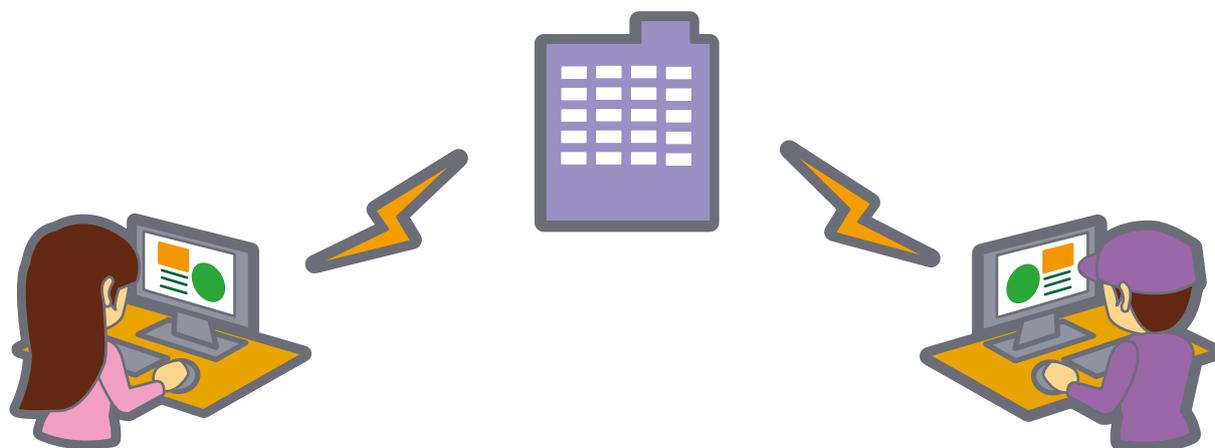
#### 届出のあった物質と事業者

PRTR制度の届出対象である第一種指定化学物質（354物質）のうち、事業者から排出量・移動量について届出があった物質は326物質でした。

事業者から全国38,141事業所の届出があり、1事業所あたりの平均届出物質数は5.7物質でした。

#### 国が推計を行った物質

届出を行った事業者以外からの排出は、届出の対象とならない事業者からの排出や、家庭で使用される防虫剤や塗料、洗剤などの排出、自動車等の移動体から排出される268物質を推計しました。



注) ここで紹介する平成21年度PRTRデータは、平成23年1月末時点で把握していたものです。その後、届出値の修正等により、データが変更となる可能性があります。

## (2) 平成21年度PRTRデータをグラフや表で見る

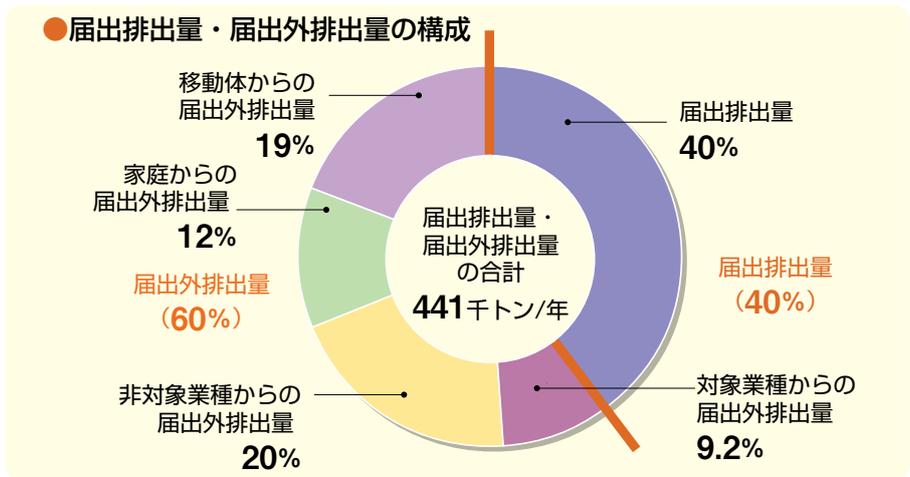
### ① 全国の届出排出量・届出外排出量

#### [ データの項目 ]

事業者から届け出られた排出量の326物質と、届出の対象とはならない事業者や家庭、自動車などからの排出量として国が推計した268物質について、それぞれの物質毎に排出量を足し合わせ、ある物質が全国で1年間に環境中に排出された総量を計算します。

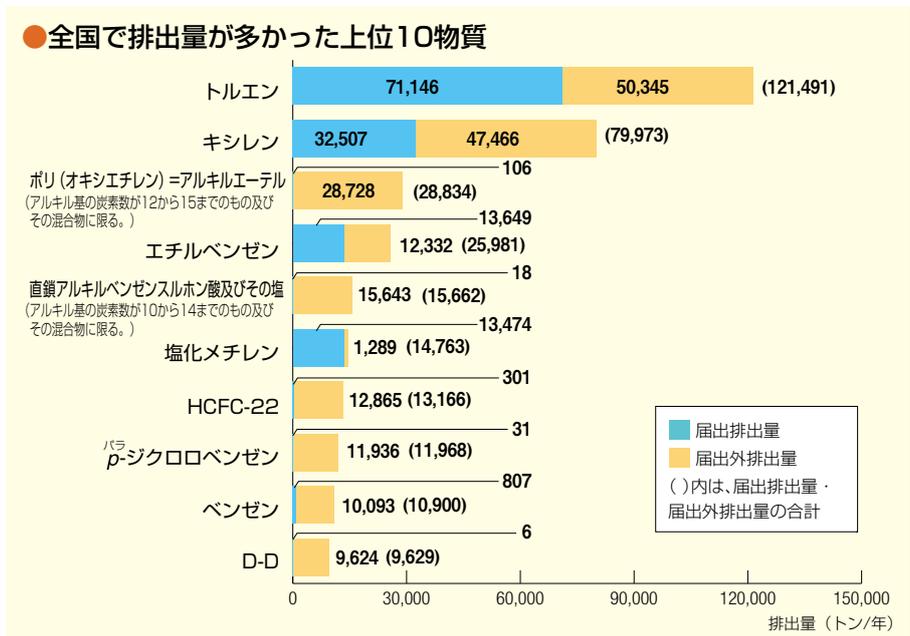
#### [ 集計・加工例 ]

総届出排出量・総届出外排出量の構成をグラフで示してみました。



#### [ 集計・加工例 ]

届出排出量と届出外排出量の総排出量が多い上位10物質をグラフで示してみました。



#### [ データを見る上で留意すること ]

排出量の多い物質ほど人の健康や動植物の生息もしくは生育への影響も大きいと考えがちですが、ある化学物質がどの程度の影響を及ぼすおそれがあるかについては、排出量の大小だけでは判断できません。

人の健康や環境への影響については、①化学物質の有害性の程度、②その化学物質が環境中にどのように分布しているのか(環境中の濃度)、③環境中から人や動植物にどれくらい取り込まれるのか(暴露量)などの情報を総合的に検討する必要があります。

## [ 関連情報 ]

排出量の多かった上位5物質の主な用途と有害性<sup>※3</sup>は次のとおりです。

排出量	物質名	主な用途	長時間(反復)暴露による人の健康や動植物の生息もしくは生育への影響
1位	トルエン	多種多様な化学物質を合成する原料、油性塗料や印刷インキ、油性接着剤などの溶剤、ガソリンの成分(排ガスに含まれる)	トルエンを長期間にわたって体内に取り込んだ結果、視野狭さく、眼のふるえ、運動障害、記憶障害などの神経系の障害のほか、腎臓、肝臓や血液への障害が報告されています。また、トルエンはシックハウス症候群との関連性が疑われていることから、室内空気濃度の指針値が定められています。また、水道水質管理目標値や水質要監視項目の指針値が定められています。現時点では環境中の水生生物へ悪影響を及ぼすことはない判断されています。
2位	キシレン	化学物質の合成原料、油性塗料や接着剤、印刷インキ、シンナー、農薬の溶剤、灯油や軽油、ガソリンの成分	高濃度のキシレンは、眼やのどなどに対する刺激性や、中枢神経へ影響を与えることが報告されています。シックハウス症候群との関連性が疑われていることから、室内空気濃度の指針値が定められています。また、水質要監視項目の指針値が定められています。現時点では環境中の水生生物へ悪影響を及ぼすことはない判断されています。
3位	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	台所用洗剤、洗濯用洗剤、工業用洗剤、化粧品のクリームやローションの乳化剤、農薬の補助剤、医薬品の乳化剤や分散剤	人の皮膚に対して刺激性はないが、あってもごく弱い一時的な刺激性がありますが、湿疹患者に対しては皮膚への感作性を示す可能性があります。現時点では、食物や飲み物を通じて口から取り込んだ場合について、人の健康に悪影響を及ぼすことはないと考えられていますが、皮膚からの経路については、情報の収集が必要であるとされています。
4位	エチルベンゼン	スチレンの原料、油性塗料や接着剤、インキの溶剤、混合キシレンの成分	エチルベンゼンは、シックハウス症候群との関連性が疑われていることから、室内空気濃度の指針値が定められています。現時点では環境中の水生生物へ悪影響を及ぼすことはない判断されています。
5位	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)	家庭用洗濯洗剤(約8割)、クリーニングや厨房、車両洗浄などの業務用洗剤(2割弱)	20%以上の濃度で直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩(以下「LAS」と表記します)を溶かした液は皮膚刺激性があると考えられていますが、実際の洗剤使用時に人の皮膚にふれるLAS濃度はこれよりも数百倍から1,000倍近く低く、LASを含んだ洗剤は適切に使えば、皮膚への影響はほとんどないと考えられます。ラットに60%の濃度のLASを生涯にわたって、餌に混ぜて与えた実験では、体重1kg当たり1日300mgを与えても、有害性の影響はみられないことが報告されています。なお、陰イオン界面活性剤として、発泡を防止する観点から水道水質基準が定められています。水生生物に対して一定以上の毒性を示します。

※3 化学物質一般の有害性については94、95ページをご参照ください。

また、個別の対象物質の有害性については、以下のホームページが参考となります。

「PRTR法指定化学物質データ検索」<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/db/db.php3>

「対象化学物質情報」[http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target\\_chemi.html](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target_chemi.html)

「化学物質ファクトシート」<http://www.env.go.jp/chemi/communication/factsheet.html>

## ② 都道府県別に見る

## [ データの項目 ]

下表は、平成21年度データの都道府県別の届出排出量及び届出外排出量の概要です。この表では、対象事業所からの届出数とその排出量、国が推計を行った排出量、届出分と推計分を合わせた排出量の合計、日本全国の排出量に占める各都道府県の割合などが示されています。

## ● 平成21年度の都道府県別届出排出量及び届出外排出量

都道府県	届出数	届出排出量 (kg/年)	届出外排出量(kg/年)				排出量合計 (kg/年)*	割合	
			対象業種	非対象業種	家庭	移動体*			
北海道	1,946	2,296,831	1,380,128	5,866,847	1,457,337	3,997,704	12,702,015	14,998,846	3.40%
青森県	469	675,025	336,186	2,223,225	975,053	1,164,682	4,699,146	5,374,172	1.22%
岩手県	531	2,258,829	334,215	1,285,176	840,645	1,350,612	3,810,648	6,069,476	1.38%
宮城県	815	1,558,648	572,722	1,234,569	904,254	1,660,726	4,372,272	5,930,920	1.34%
秋田県	497	3,733,765	356,645	859,579	721,791	928,220	2,866,236	6,600,001	1.50%
山形県	582	751,353	404,851	940,393	546,414	1,053,917	2,945,574	3,696,927	0.84%
福島県	1,043	5,377,424	902,812	1,283,932	1,135,716	1,612,862	4,935,323	10,312,746	2.34%
茨城県	1,131	7,243,859	1,202,130	3,473,202	1,847,918	2,666,213	9,189,463	16,433,322	3.73%
栃木県	727	5,325,796	746,523	1,452,945	1,058,850	1,994,290	5,252,608	10,578,404	2.40%
群馬県	802	4,287,471	853,103	2,824,834	1,252,813	1,911,818	6,842,568	11,130,039	2.52%
埼玉県	1,627	8,730,851	2,375,957	2,142,205	2,717,604	3,518,028	10,753,794	19,484,645	4.42%
千葉県	1,379	6,468,124	1,195,078	4,347,292	2,680,189	3,431,383	11,653,942	18,122,066	4.11%
東京都	1,382	2,037,850	3,697,134	7,759,606	2,069,131	4,239,483	17,765,354	19,803,204	4.49%
神奈川県	1,583	6,363,530	1,996,719	3,740,805	1,772,179	3,493,261	11,002,964	17,366,494	3.94%
新潟県	1,020	3,339,255	865,086	1,234,064	1,308,698	1,896,819	5,304,667	8,643,922	1.96%
富山県	556	1,887,670	401,738	1,488,979	520,328	815,643	3,226,688	5,114,358	1.16%
石川県	499	2,430,783	507,408	1,393,776	612,137	879,259	3,392,580	5,823,364	1.32%
福井県	410	2,236,173	404,897	1,112,280	395,656	798,867	2,711,700	4,947,873	1.12%
山梨県	348	1,398,095	387,295	457,460	483,072	1,040,306	2,368,133	3,766,228	0.85%
長野県	1,285	1,689,623	752,645	950,089	936,623	2,270,351	4,909,709	6,599,332	1.50%
岐阜県	947	6,237,695	875,356	812,553	1,019,975	1,868,941	4,576,824	10,814,518	2.45%
静岡県	1,519	10,039,151	1,559,473	1,841,163	2,168,376	2,752,878	8,321,891	18,361,042	4.16%
愛知県	2,258	11,998,990	3,146,081	3,801,949	3,350,825	3,901,195	14,200,051	26,199,041	5.94%
三重県	841	5,786,009	601,496	962,793	1,089,814	1,911,075	4,565,177	10,351,186	2.35%
滋賀県	641	4,318,563	367,345	378,809	488,286	1,370,691	2,605,131	6,923,695	1.57%
京都府	642	2,676,078	884,855	689,839	768,899	1,672,317	4,015,910	6,691,988	1.52%
大阪府	1,816	4,804,677	3,398,099	3,174,690	2,260,816	3,381,857	12,215,462	17,020,139	3.86%
兵庫県	1,693	7,294,375	1,697,607	2,056,307	1,504,219	2,819,745	8,077,878	15,372,252	3.49%
奈良県	330	776,536	383,325	359,596	619,102	1,171,269	2,533,292	3,309,828	0.75%
和歌山県	330	1,878,690	325,016	1,222,281	907,096	897,197	3,351,590	5,230,281	1.19%
鳥取県	284	537,740	140,710	519,002	350,446	651,001	1,661,159	2,198,899	0.50%
島根県	290	1,825,146	222,495	499,718	532,116	765,047	2,019,376	3,844,522	0.87%
岡山県	895	4,741,461	573,665	1,027,823	1,098,487	1,566,382	4,266,357	9,007,817	2.04%
広島県	961	9,342,211	958,796	1,680,757	1,349,235	2,066,950	6,055,739	15,397,950	3.49%
山口県	586	4,644,613	395,821	3,111,485	806,419	1,274,977	5,588,702	10,233,315	2.32%
徳島県	315	514,084	375,247	939,775	689,307	686,531	2,690,861	3,204,945	0.73%
香川県	434	5,283,502	265,520	587,871	698,597	857,340	2,409,328	7,692,831	1.74%
愛媛県	497	4,960,438	433,023	1,410,748	1,001,777	1,153,518	3,999,065	8,959,503	2.03%
高知県	204	466,842	204,895	1,024,657	598,079	661,361	2,488,991	2,955,833	0.67%
福岡県	1,312	5,043,075	1,203,345	2,994,132	2,002,492	2,630,397	8,830,365	13,873,440	3.15%
佐賀県	322	1,741,936	239,439	866,530	543,007	910,278	2,559,253	4,301,188	0.98%
長崎県	335	3,170,322	523,169	1,690,149	877,244	1,138,603	4,229,164	7,399,486	1.68%
熊本県	591	1,995,943	501,319	2,744,795	971,631	1,506,018	5,723,762	7,719,705	1.75%
大分県	410	1,227,930	306,145	899,021	847,915	1,126,056	3,179,137	4,407,066	1.00%
宮崎県	351	4,019,702	320,639	2,071,555	712,901	1,003,612	4,108,707	8,128,410	1.84%
鹿児島県	483	401,029	405,555	3,184,041	1,131,422	1,343,963	6,064,981	6,466,010	1.47%
沖縄県	222	292,200	409,606	733,765	709,860	883,769	2,737,000	3,029,200	0.69%
合計**	38,141	176,109,889	40,391,317	87,357,060	53,334,751	83,820,315	264,903,442	441,013,331	100%
割合(%)		39.93%	9.16%	19.81%	12.09%	19.01%	60.07%	100%	

\*公表されるPRTRデータのうち、届出事業所が排出した量の合計は、各事業所から届け出られたデータ（ダイオキシン類を除き小数点第1位まで）の合計について小数点第1位で四捨五入し、整数で表示したものです。このため公表される集計表の排出量などの各欄を縦・横方向に合計した数値とは異なる場合があります。

\*移動体については、都道府県に配分できないものがあるため都道府県の合計と合計欄の数値が異なります。

(注)上の平成21年度データは、平成23年1月末日時点で把握していたものです。

[ データの項目 ]

全国の届出排出量と届出外排出量の合計を都道府県別に集計しました。

[ 集計・加工例 ]

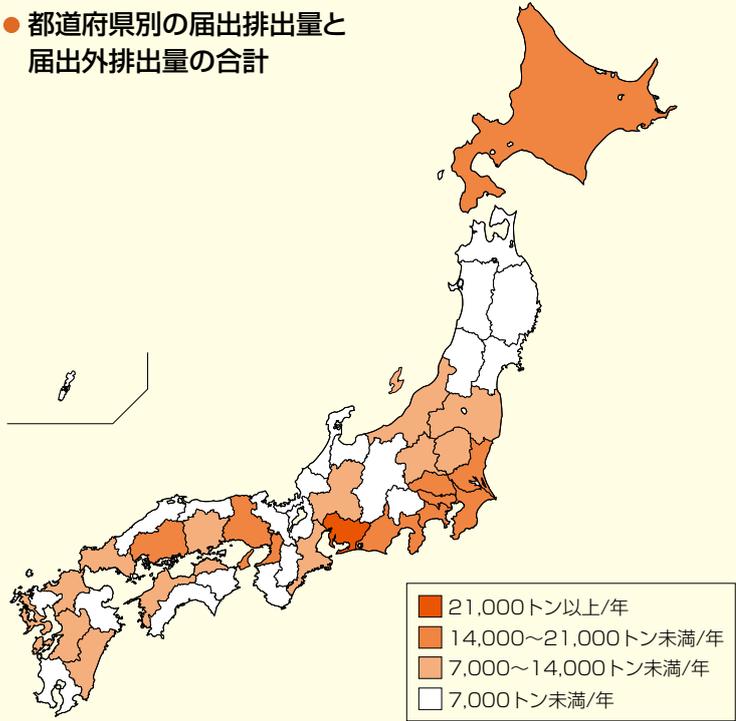
排出量の合計をそれぞれ4段階に色分けし、日本地図上に示してみました。

届出排出量と届出外排出量の合計は44万1千トンで、このうち届出排出量は17万6千トン、届出外排出量は26万5千トンとなっています。届出外排出量の内訳は、届出対象外が4万トン、非対象業種が8万7千トン、家庭が5万3千トン、自動車などの移動体が8万4千トンです。

使用データ



● 都道府県別の届出排出量と届出外排出量の合計



[ データの項目 ]

全国で環境への排出量が4番目に多いエチルベンゼンを取り上げ、都道府県別の排出量を集計しました。

[ 集計・加工例 ]

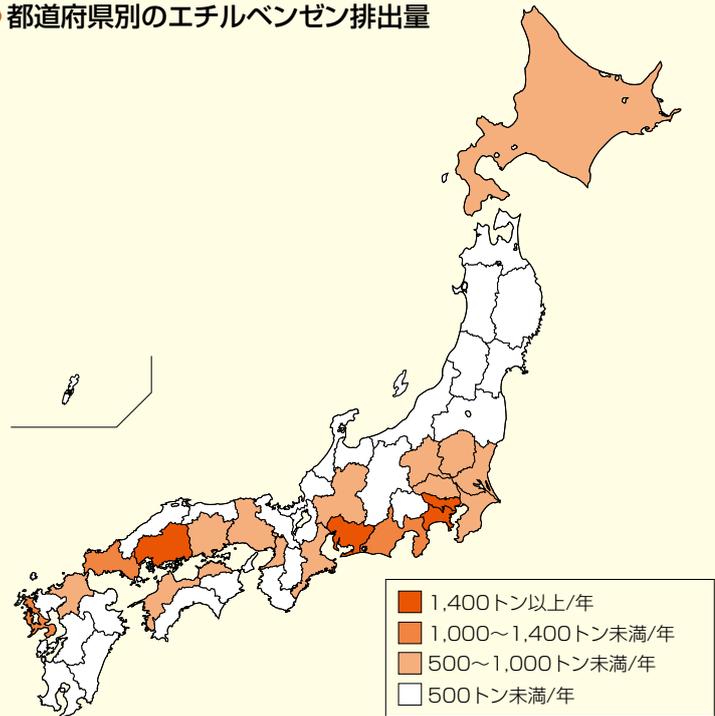
排出量の合計をそれぞれ4段階に色分けし、日本地図上に示してみました。

エチルベンゼンの排出量が多い都道府県は、愛知県、東京都、広島県、神奈川県などでした。エチルベンゼンは、プラスチックや発泡スチロールの原料となるスチレンモノマーの原料です。また、油性塗料や接着剤、インキなどの溶剤として広く使用されている混合キシレンの中にも含まれます。対象事業所の主な排出源は、輸送用機械器具製造業や化学工業などです。また、届出の対象とならない事業所や、家庭、自動車などからも多く排出されています。

使用データ



● 都道府県別のエチルベンゼン排出量



## ③ 排出先別割合

## [ データの項目 ]

事業者は、大気、公共用水域（河川、海など）、事業所敷地内の土壌、事業所敷地内の埋立処分のどこに化学物質を排出したかについても届け出ます。

ここでは、全国の事業所から報告された合計17万6千トンの化学物質の排出量を、大気、公共用水域、事業所内土壌、事業所内埋立処分の4つの排出先に分けて集計しました。

## [ 集計・加工例 ]

排出先別の排出量の割合をみると、大気への排出が約90%で大部分を占めていることが分かります。

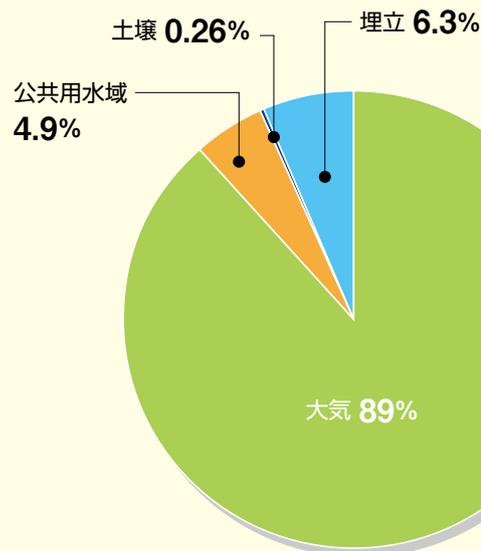
## ● 排出先別届出排出量

排出先	大気	公共用水域	土壌	埋立	合計
排出量(トン/年)	155,907	8,615	463	11,126	176,110

使用データ



## ● 排出先別割合（総排出量17万6千トン）



## [ データを見る上で留意すること ]

大気や水域、土壌に排出された化学物質のなかには、呼吸や飲食、皮膚接触などを通して人の身体に取り込まれ、健康に有害な影響を及ぼすおそれのあるものもあります。このため、どんな物質がどこへ排出されているかは重要な情報です。

## 土壌への排出と埋立の違い

「土壌」への排出は、漏洩や地下浸透などによって環境中へ排出した量を指します。

「埋立」は、対象事業者の事業所から対象物質を含む廃棄物が発生する場合に、事業者が同一の事業所内の埋立地へ埋め立てた量を指します。なお、産業廃棄物処理業者に廃棄物処分を委ねた場合は、「当該事業所の外への移動量」となります。

### ④ 大気・水・土壌に多く排出されている物質

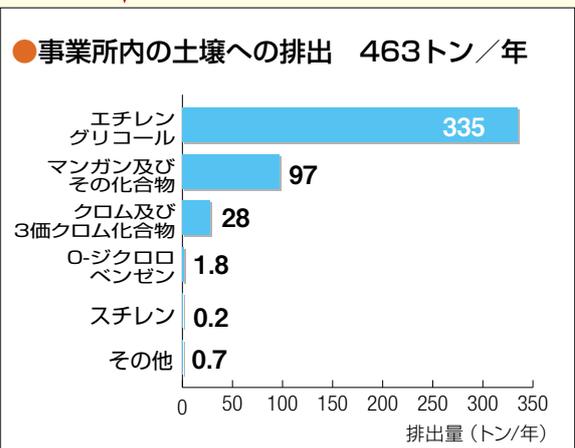
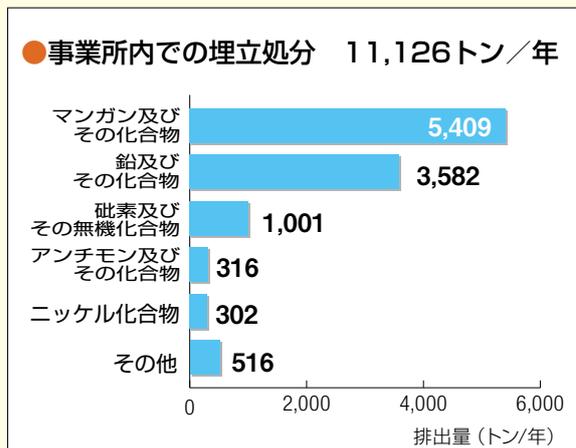
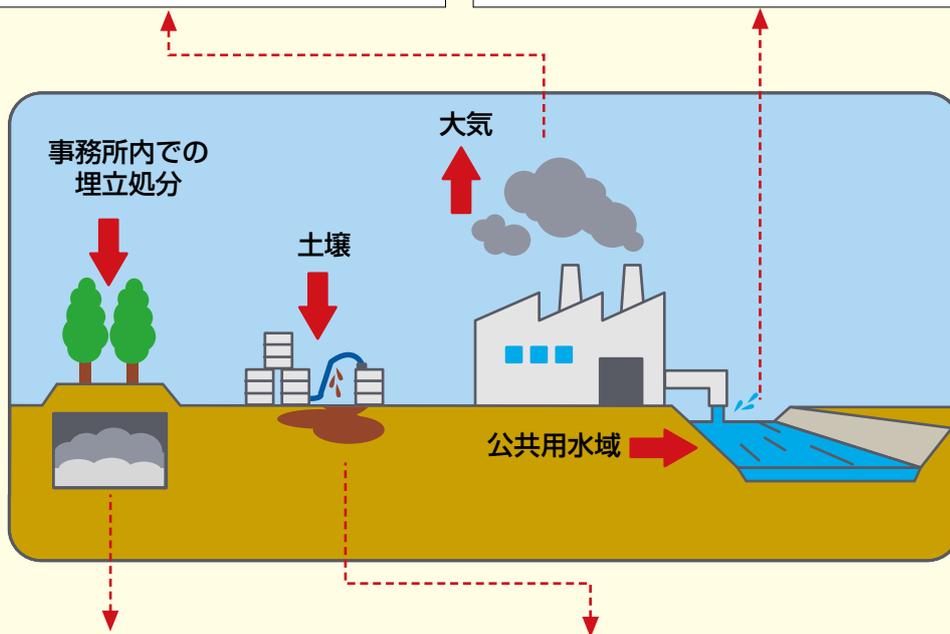
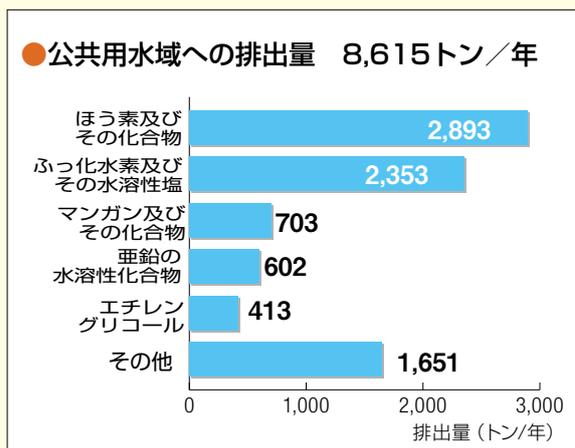
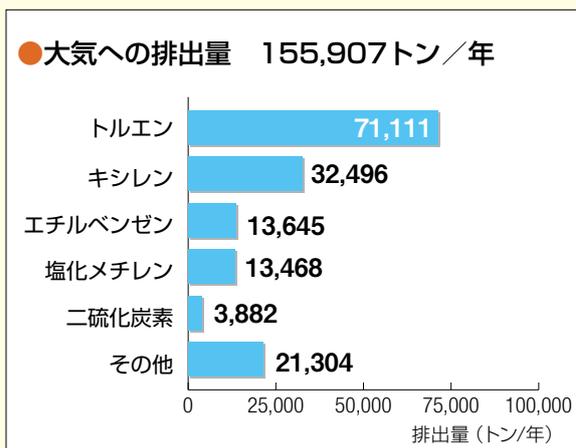
[ データの項目 ]

全国の事業所から報告された化学物質の物質名と排出量を、排出先別に集計しました。

[ 集計・加工例 ]

排出先別に排出量の多い上位5物質を棒グラフで示してみます。なお、グラフ毎に横軸の単位が異なることに留意しましょう。

使用データ



## ⑤ 排出量の多い業種

## [ データの項目 ]

事業者からの届出には、その事業者が属する業種（例えば、化学工業、プラスチック製品製造業など）が記入してあります。ここでは、届出データのうち同じ業種に属する事業者の排出量を合計し、業種別の総排出量を算出しました。

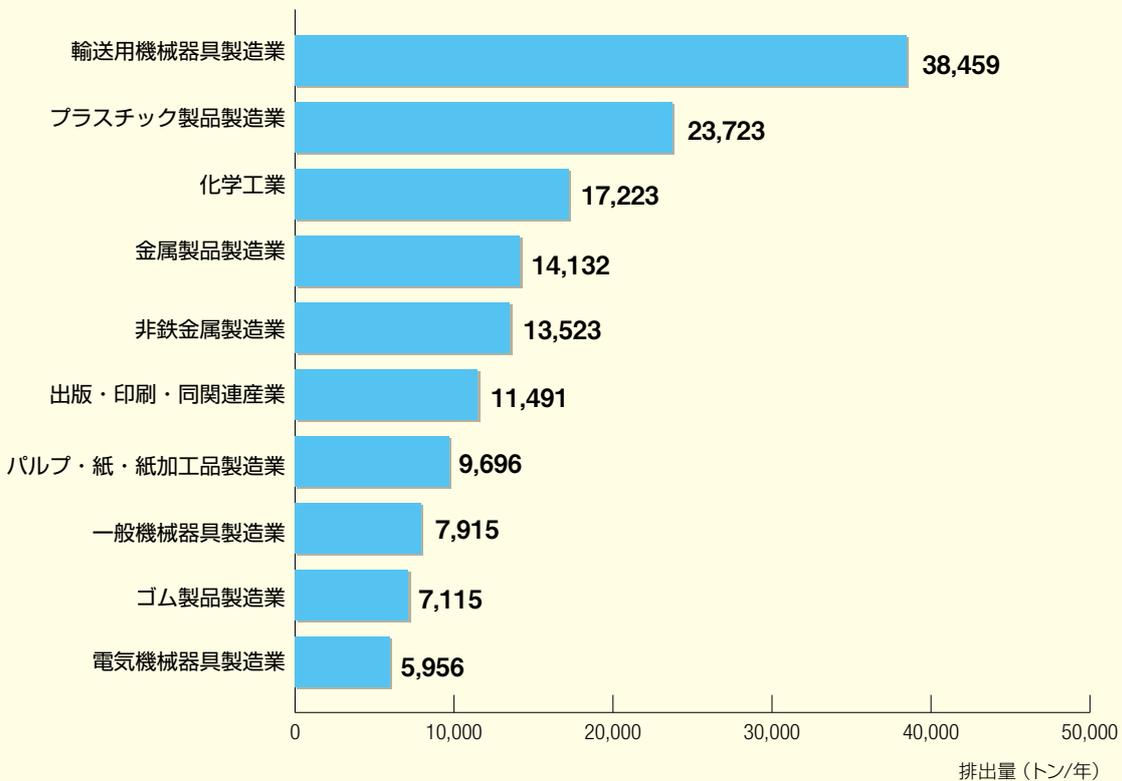
## [ 集計・加工例 ]

棒グラフにして総排出量の多い順番に10業種を示してみました。

使用データ



## ● 排出量の多い上位10業種



※各業種の詳しい解説は、PRTR排出量等算出マニュアル第4.1版「4-1-2 対象業種の概要」  
[http://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/sansyutsu/3\\_4\\_1.pdf](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/sansyutsu/3_4_1.pdf)を参照ください。

## [ データを見る上で留意すること ]

このデータは、異なる物質の排出量を単純に足し合わせたもので、その業種から排出される化学物質が環境にどのような影響を与えているのかを具体的に示す情報ではありません。ある業種がどの化学物質を優先的に削減した方がよいかといったことを知るためには、物質ごとや大気、水、土壌などの媒体ごとに見る必要があります。同じように「排出量の多い上位10事業所」といった集計も、物質ごとに詳細に見ていくことが必要です。

[ データの項目 ]

次に、同じ業種に属する事業所の排出量を物質ごとに集計し、業種によって排出される物質の種類や量にどのような違いがあるのかを見てみましょう。

業種別に集計することで、ある物質の削減に優先的に取り組む必要があるのはどの業種かといったことを判断する手がかりを得ることができます。

[ 集計・加工例 ]

主な業種として化学系、金属系、機械系に分けて、それぞれ排出量の多い物質順に円グラフに示してみました。円グラフの大きさは排出量の大小を表しています。

使用データ

届出

化学系製造業

- 化学工業
- 石油製品・石炭製品製造業
- プラスチック製品製造業
- ゴム製品製造業

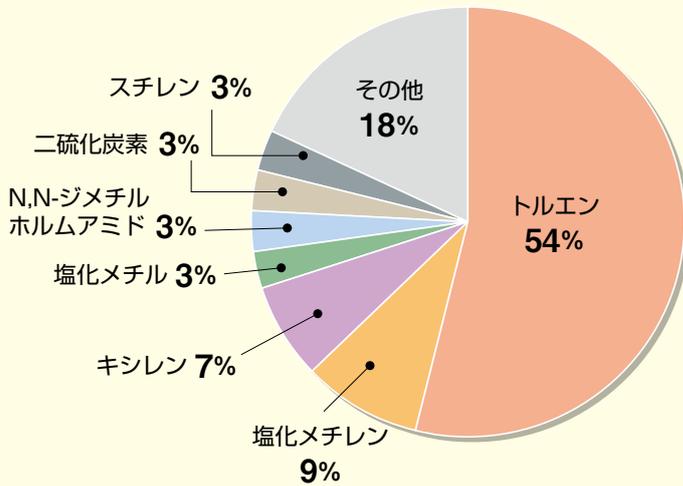
金属系製造業

- 鉄鋼業
- 非鉄金属製造業
- 金属製品製造業

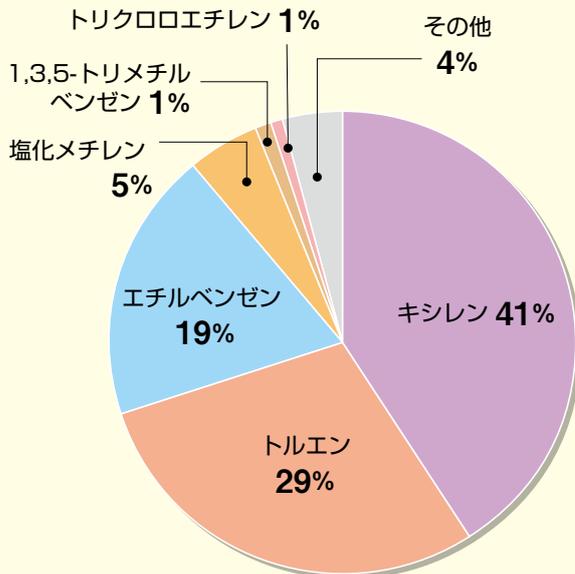
機械系製造業

- 一般機械器具製造業
- 電気機械器具製造業
- 輸送用機械器具製造業
- 精密機械器具製造業

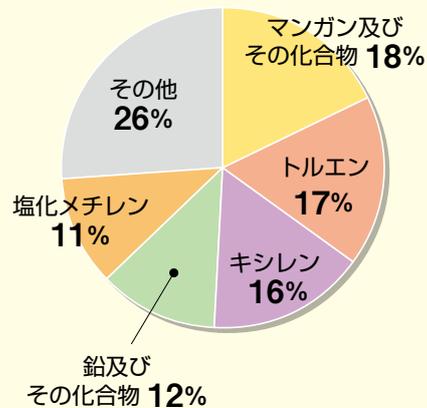
化学系製造業  
排出量合計：4万9千トン／年



機械系製造業  
排出量合計：5万3千トン／年



金属系製造業  
排出量合計：3万1千トン／年



## ⑥ 家庭から排出される物質

## [ データの項目 ]

事業所からの報告とは別に、国では届出対象事業所以外からの排出量を推計しています。ここでは、家庭から排出される物質の排出量を集計してみます。

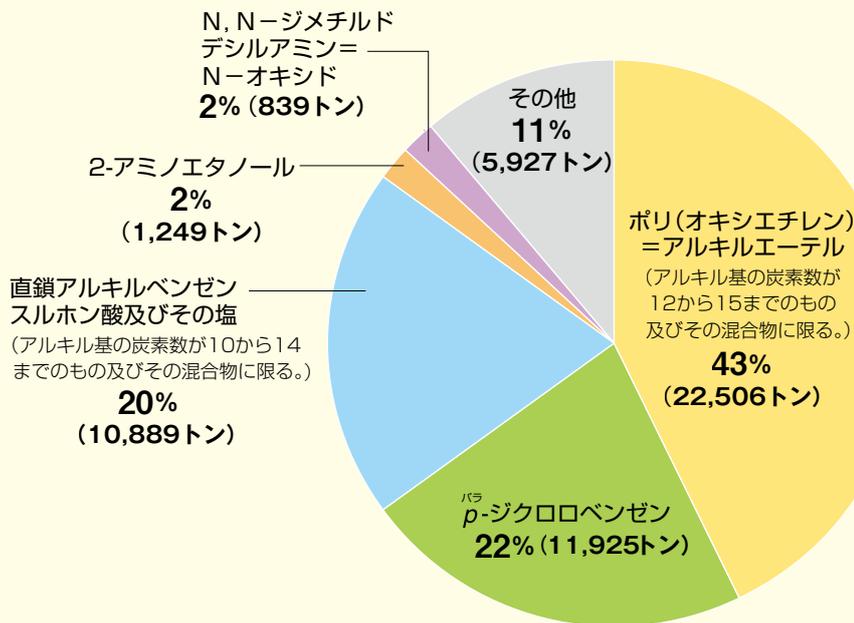
## [ 集計・加工例 ]

国が推計したデータのうち、家庭から排出される上位5物質の割合をグラフで示してみました。

使用データ

家庭

## ●家庭から排出される物質の割合 排出量合計：5万3千トン／年



排出量の多い上位5物質の主な用途は次のとおりです。

ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテルは、家庭の台所用洗剤や洗濯用洗剤などに使われています。また、化粧品のクリームやローションなどにも使用されています。

パラ-p-ジクロロベンゼンは、家庭で使用される衣類の防虫剤やトイレなどの防臭剤が主な排出源となっています。

直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩は、一般にはLASといわれており、そのほとんどが家庭の洗濯用洗剤として使われています。

2-アミノエタノールは、家庭用や業務用の洗剤や洗浄剤の中和剤等として使われています。

N, N-ジメチルドデシルアミン=N-オキシドは、主に台所用洗剤の成分として使われています。また、業務用洗浄剤、シャンプーや化粧品・医薬品にも使われています。

## ⑦ 身の回りの気になる物質

発がん性があると評価されている物質や自動車などから排出されている物質など、身の回りの気になる化学物質の排出量を見てみましょう。

### a) 発がん性があると評価されている物質

#### [ データの項目 ]

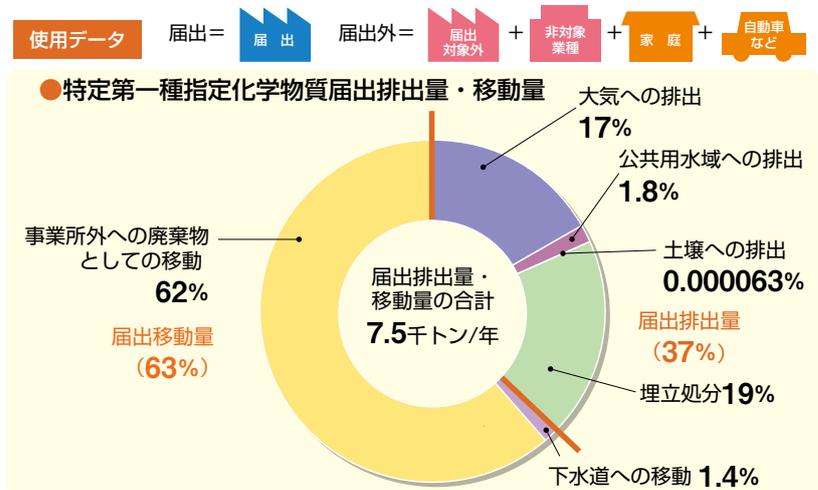
平成21年度PRTRデータの中で、発がん性があると評価されている物質は12物質あります。

#### 特定第一種指定化学物質<sup>\*4</sup>

- 石綿
- エチレンオキシド
- カドミウム及びその化合物
- 6価クロム化合物
- 塩化ビニル
- ダイオキシン類
- ニッケル化合物
- 砒素及びその無機化合物
- ベリリウム及びその化合物
- ベンジリジン=トリクロリド
- ベンゼン
- メトキサレン

#### [ 集計・加工例 ]

特定第一種指定化学物質の総届出排出量・移動量に占める、排出先別の排出量・移動量の割合をグラフで示してみました。

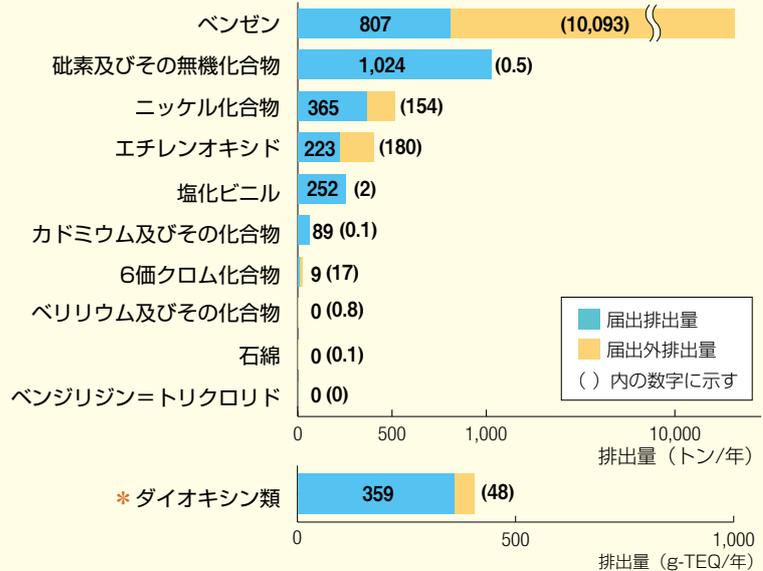


#### [ 集計・加工例 ]

特定第一種指定化学物質の排出量を集計し、排出量の多い順番にグラフで示してみました。なお、ダイオキシン類は他の物質と排出量の単位が異なるため、グラフを別にしてみました。

排出量が最も多かった物質はベンゼンでした。ベンゼンのほとんどが主に自動車やオートバイなどの排気ガスに含まれて排出されています。

#### ● 発がん性があると評価されている物質



※4 化管法政令改正前の特定第一種指定化学物質。特定第一種指定化学物質については、8ページをご参照ください。

※5 異性体とは、分子式は同じで異なった物理的・科学的性質を持つ化合物をさします。これは分子内における原子の配列方法が異なるために起こります。

b) 自動車などから排出される物質

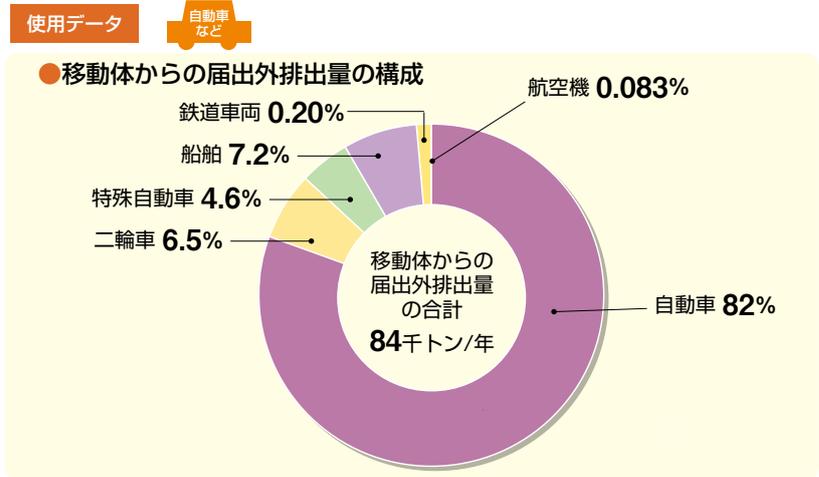
[データの項目]

移動体からの排出量の構成と、そのうち自動車などから排出される物質にはどのようなものがあるのか、見てみましょう。



[集計・加工例]

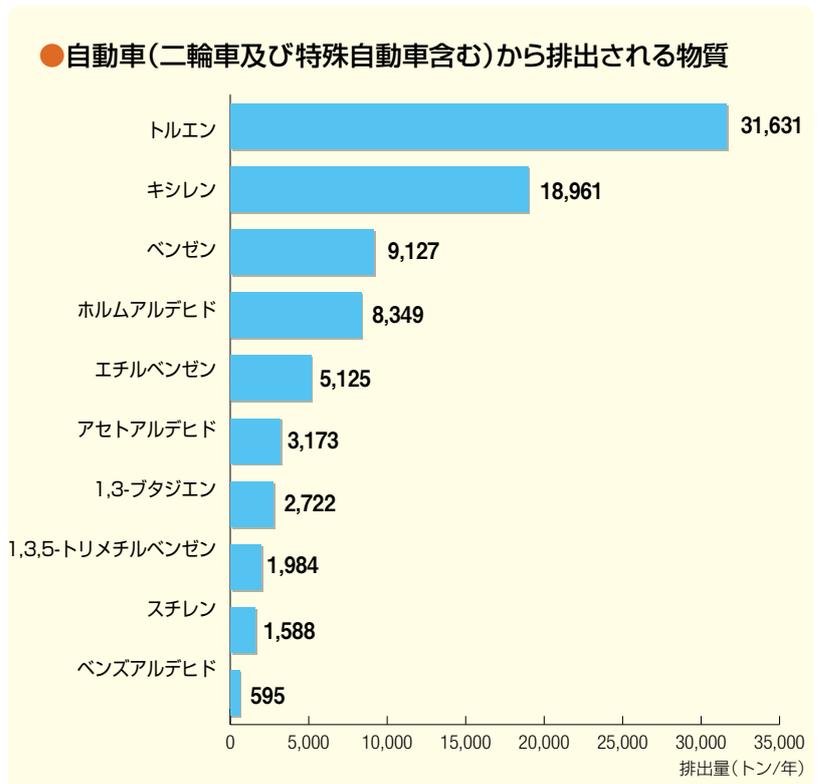
移動体からの排出量に占める、各移動体の種類別の割合をグラフで示してみました。



[集計・加工例]

国による推計データから自動車と二輪車及び特殊自動車（建設機械、農業機械、産業機械）のデータを排出量の多い順に上位10物質をグラフで示してみました。

自動車や二輪車及び特殊自動車から多く排出される物質は、事業所からの排出量の多いトルエンやキシレンでした。また、シックハウス症候群の原因物質の一つといわれるホルムアルデヒドは、ディーゼル車からの排出が多いとされています。



\*ダイオキシン類全体の毒性の強さを表す毒性等量 (TEQ)

ダイオキシン類は、PCDD (ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン)、PCDF (ポリ塩化ジベンゾフラン) にコプラナー-PCBを加えた総称です。また、それぞれの異性体<sup>※5</sup>ごとに毒性の強さが異なっており、PCDDのうち2と3と7と8の位置に塩素の付いたもの(2,3,7,8-TCDD)がダイオキシン類の仲間の中で最も毒性が強いことが知られています。そのため、ダイオキシン類としての全体の毒性を評価するためには、合計した影響を考える必要があります。

そこで、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDの毒性を1として他のダイオキシン類の仲間の毒性の強さを換算した係数が用いられています。多くのダイオキシン類の量や濃度のデータは、この毒性等価係数 (TEF: Toxic Equivalency Factor) を用いてダイオキシン類の毒性を足し合わせた値 (通常、毒性等量 (TEQ: Toxic Equivalent) という単位で表現) が用いられています。

## ⑧ 移動量

### [ データの項目 ]

事業所は、大気や公共用水域、土壌などへの排出量とは別に、「移動量」も届け出ることとされています。

移動量には、

- a) 対象事業者の事業所から発生した対象化学物質を含む廃棄物を、廃棄物処理業者に処分を委託して、当該事業所の外へ移動した量
- b) 事業所内での工程からの排水や排水処理施設・装置からの排出などを、**下水道\***に放出した量

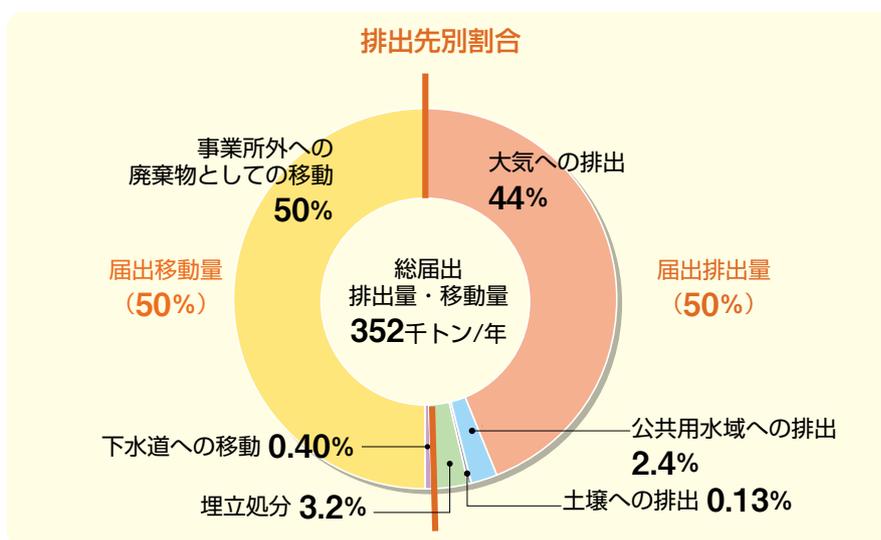
の2つが該当します。

### [ 集計・加工例 ]

総届出排出量・移動量に占める、廃棄物としての移動と下水道への移動の割合をグラフで示してみました。



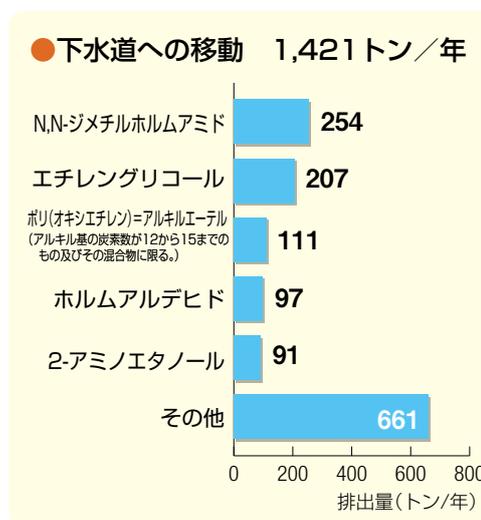
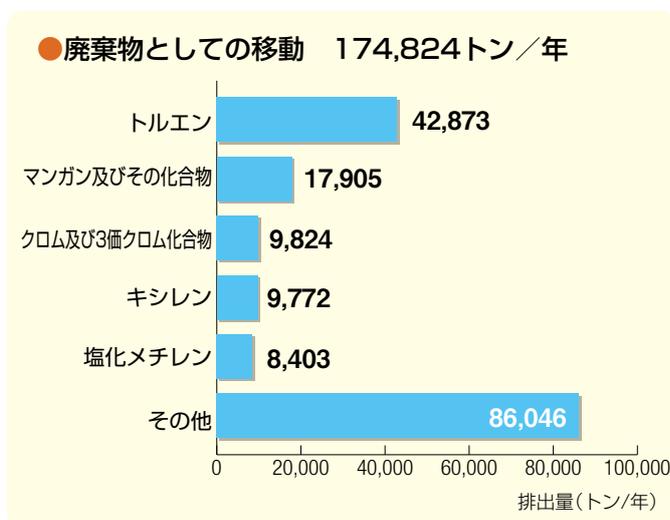
使用データ



届出移動量の合計は、約17万6千トンで、総届出排出量・移動量の合計の50%を占めています。うち、ほとんどが事業所外への廃棄物としての移動（約17万5千トン）となっており、下水道への移動は約1千400トンです。

### [ 集計・加工例 ]

廃棄物として移動される量と下水道への移動量についてそれぞれ上位5物質をグラフで示してみました。なお、グラフ毎に横軸の単位が異なることに留意しましょう。



※6 下水道とは、下水道法で、「下水を排除するために設けられる排水管、排水渠その他の排水施設など」と定められており、家庭や工場などで汚れた水を、下水管渠を通じて処理場に集め、浄化して自然に戻す施設です。

## 3 平成15～21年度PRTRデータの集計結果

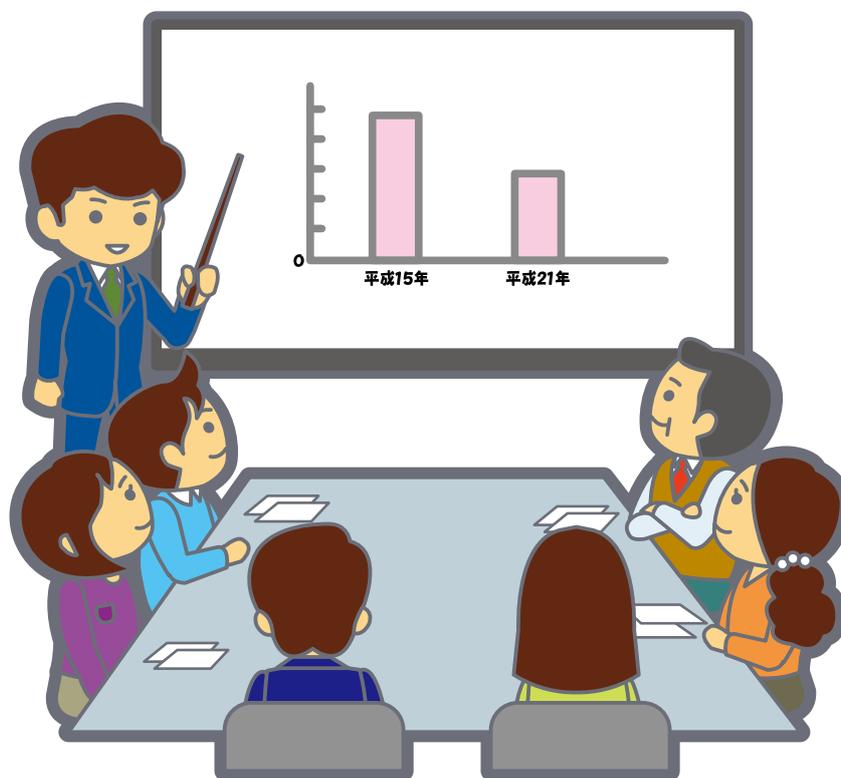
### (1) 平成15～21年度PRTRデータをグラフや表で見る

PRTRデータの集計結果は毎年公表されるため、ある物質の排出量など自分の関心のある項目に注目し、何年にもわたって継続的にデータを見ることは、増減の傾向を知り、削減の取組の成果が上がっているかどうかを確認するのに有効です。

ここでは、届出事業者数、全国の排出量、届出排出量・移動量上位3物質、排出先別上位3物質の平成15年から平成21年度までの変化をグラフで示しました。

特徴的な傾向を見てみると、平成21年度に事業者から届出のあった届出排出量のうち、特に大気への排出量は、平成15年度と比較して約38%減少しています。その理由の一つとして、PRTR制度により事業者、市民、行政の協力のもと、自主的な取組が行われたことが考えられます。

このように、PRTR制度は、化学物質による環境リスクを削減することに効果を上げていることが分かります。



#### ① 届出事業所数の変遷

平成21年度に事業者から届出のあった全国の事業所の総数は38,141事業所で、前年度より約1,440事業所減っています。全国の届出状況は次のとおりです。

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
届出事業所数	41,114	40,446	40,954	41,141	40,935	39,583	38,141
届出物質種類数	334	334	330	327	326	326	326

## ② 全国の排出量

### [ データの項目 ]

平成15～21年度の届出排出量と届出移動量を見てみましょう。

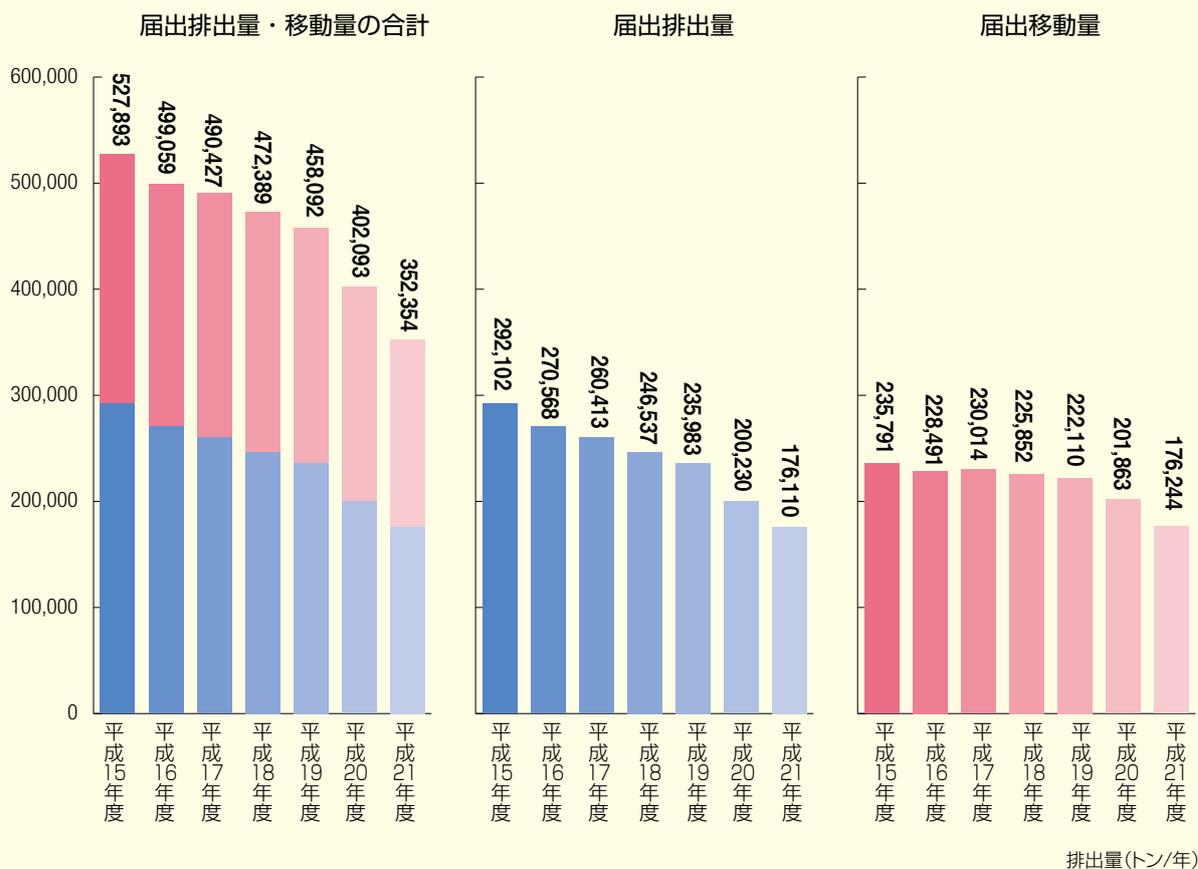
### [ 集計・加工例 ]

平成15～21年度の届出排出量と届出移動量を足した総排出量を棒グラフで示してみました。内訳は、表に示しています。

使用データ



### ●平成15～21年度までの届出排出量・移動量

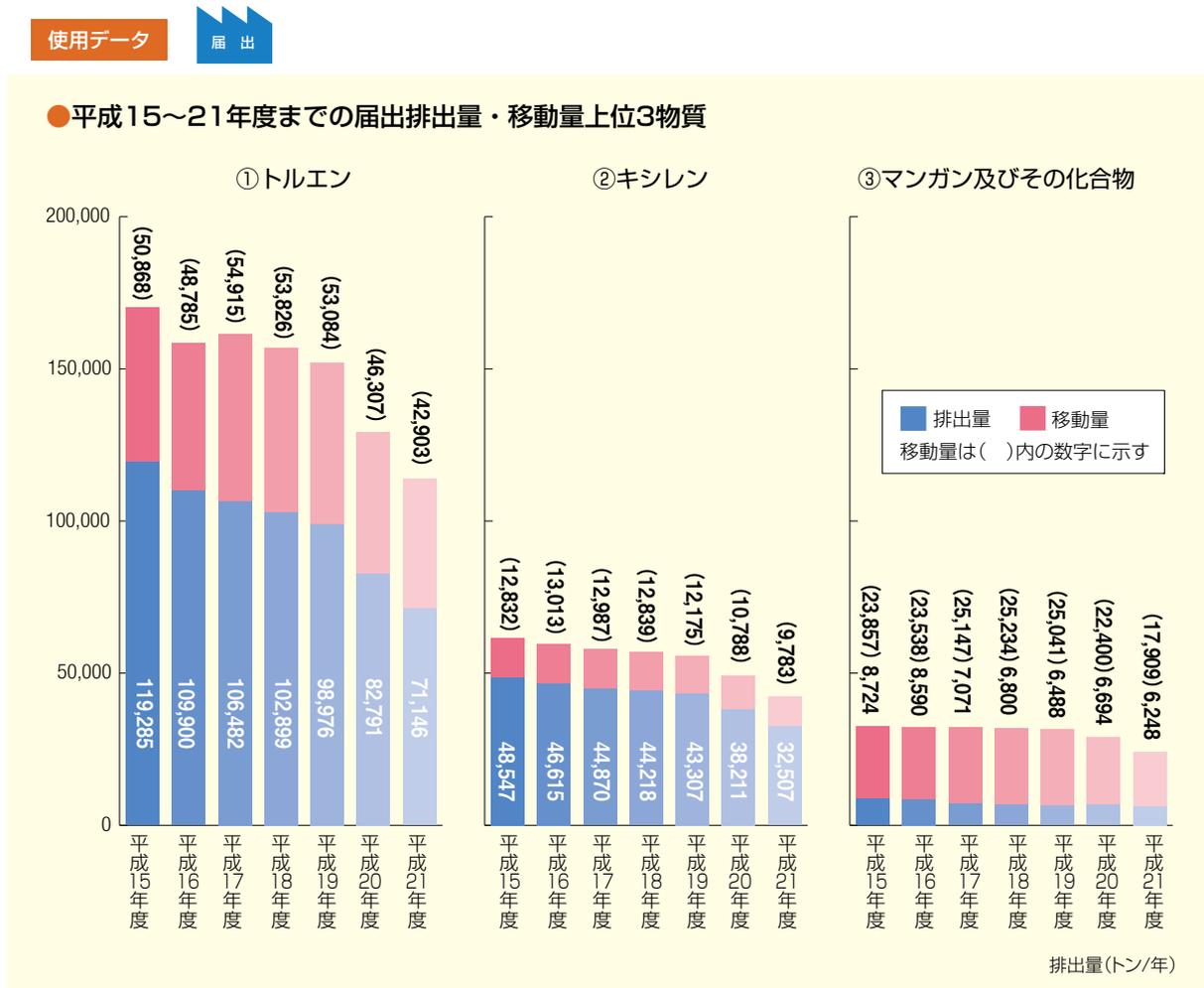


排出先		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
排出量 (トン/年)	大気	251,915	234,562	227,236	218,274	211,192	180,191	155,907
	公共用水域	12,647	11,243	10,767	10,191	9,996	9,594	8,615
	土壌	250	252	234	166	344	381	463
	埋立	27,290	24,511	22,175	17,906	14,451	10,064	11,126
	合計	292,102	270,568	260,413	246,537	235,983	200,230	176,110
移動量 (トン/年)	廃棄物移動	232,691	225,644	227,481	223,672	220,350	200,405	174,824
	下水道への移動	3,100	2,847	2,534	2,180	1,760	1,457	1,421
	合計	235,791	228,491	230,014	225,852	222,110	201,863	176,244
排出量・移動量合計(トン/年)		527,893	499,059	490,427	472,389	458,092	402,093	352,354

平成21年度に事業者から届出のあった届出排出量・移動量の総計は、約35万2千トンでした。届出排出量・移動量ともに前年度より減少しています。

[ 集計・加工例 ]

平成21年度の届出排出量と届出移動量を足した合計が多かった上位3物質を過去6年分のデータとあわせて棒グラフで示してみました。



届出排出量・移動量の総量は、減少傾向にあります。上位3物質の構成と順位は、平成20年度と同じです。

排出量が多かったトルエンやキシレンは、製造業全般で主に油性塗料や接着剤などの溶剤として使われています。これらの2物質は、揮発性が高い液体という点が共通しています。マンガン及びその化合物は、主に鉄鋼業や非鉄金属製造業、化学工業などから排出されており、そのほとんどが廃棄物として事業所から移動されたり、埋立処分されたりしています。

③ 大気・水・土壤に多く排出されている物質

[ データの項目 ]

平成15～21年度の排出先別（大気、公共用水域、事業所敷地内の土壤、事業所敷地内の埋立処分）の届出排出量を見てみましょう。

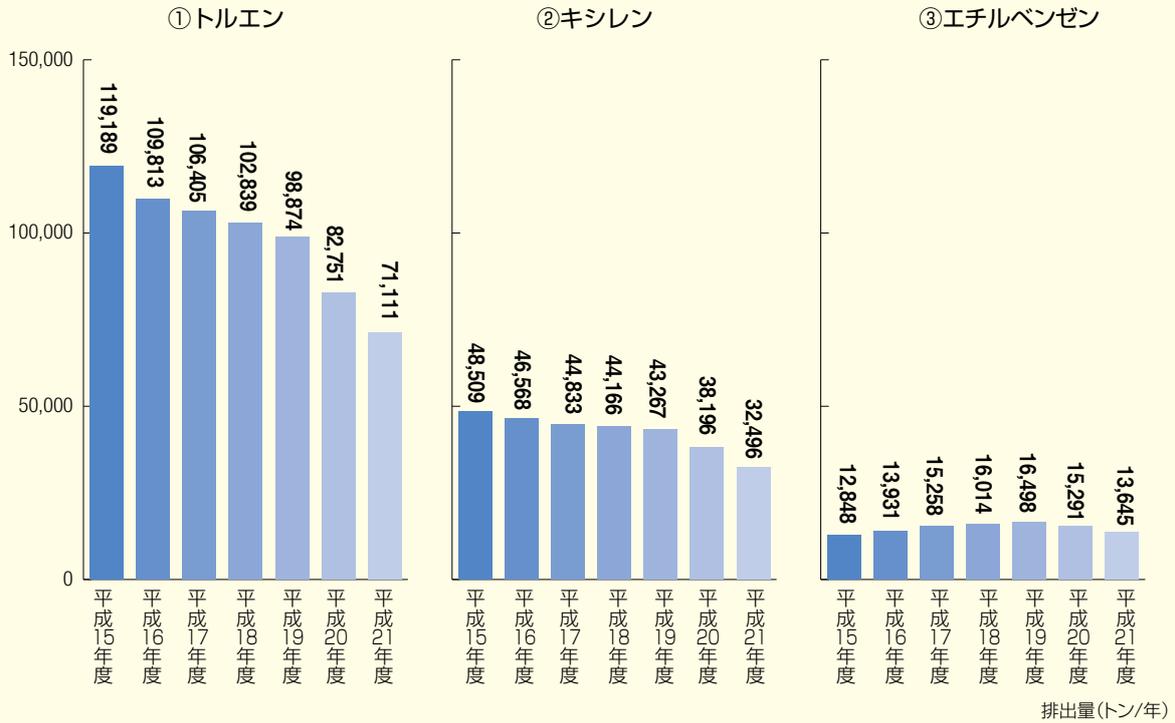
[ 集計・加工例 ]

平成21年度の排出先別に排出量の多い上位3物質を過去6年分のデータとあわせて棒グラフで示してみます。なお、グラフ毎に縦軸の単位が異なることに留意しましょう。

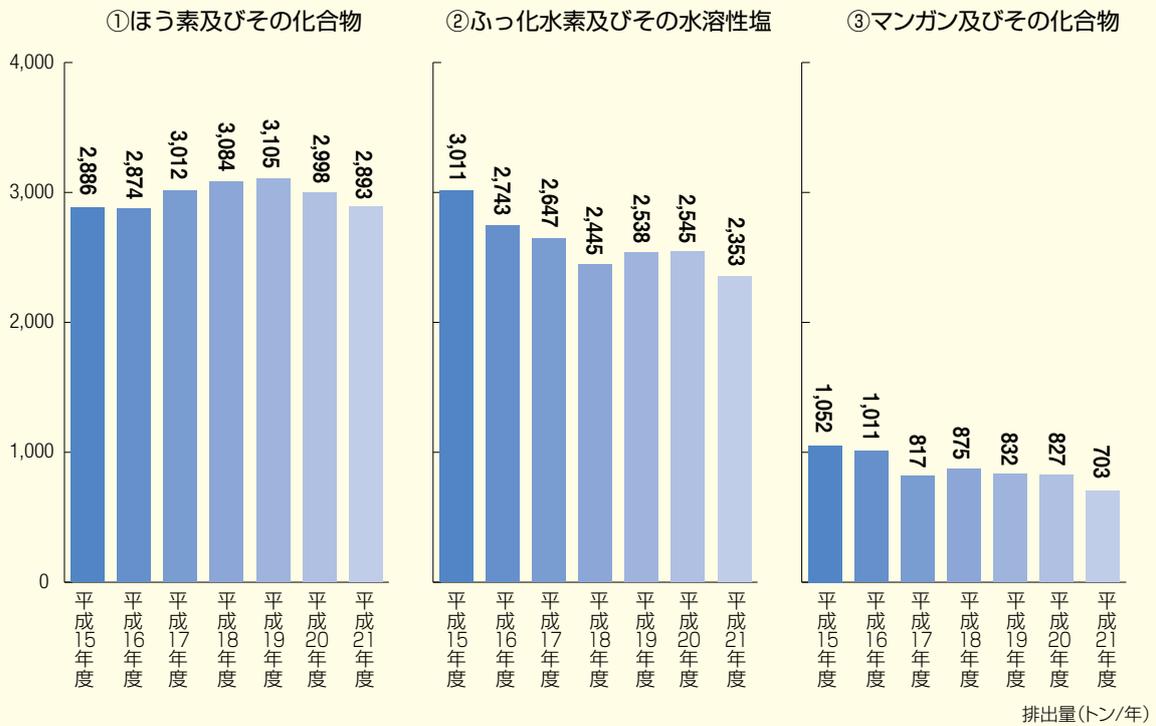
使用データ

届出

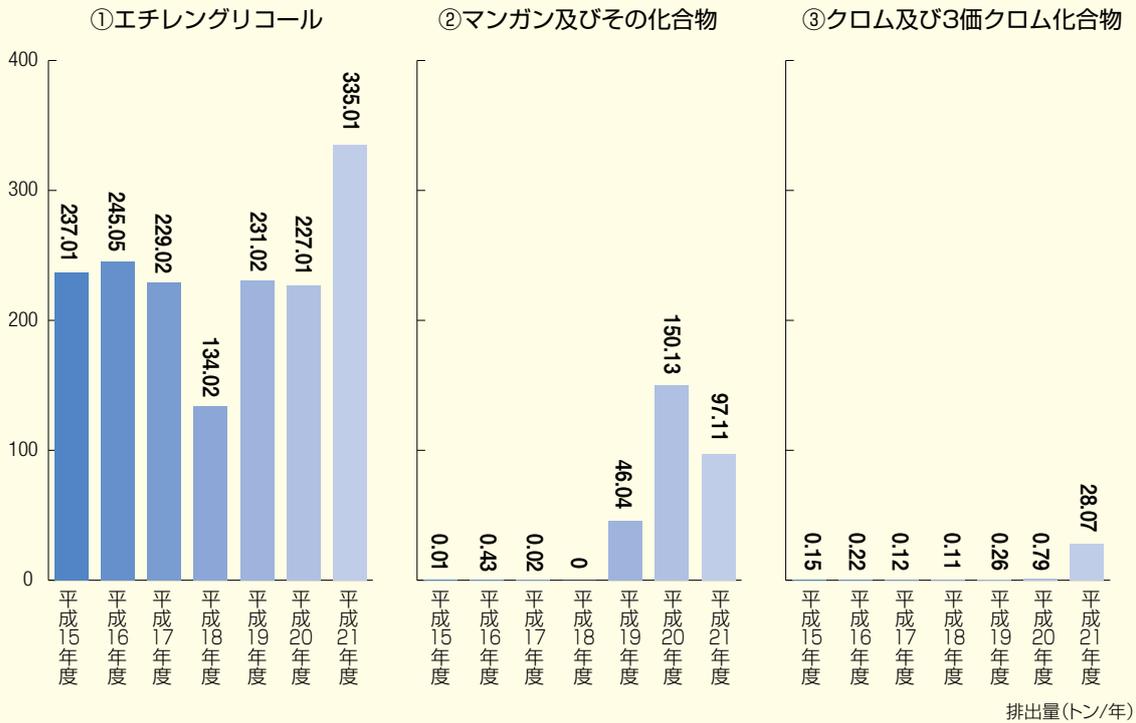
●大気への届出排出量上位3物質



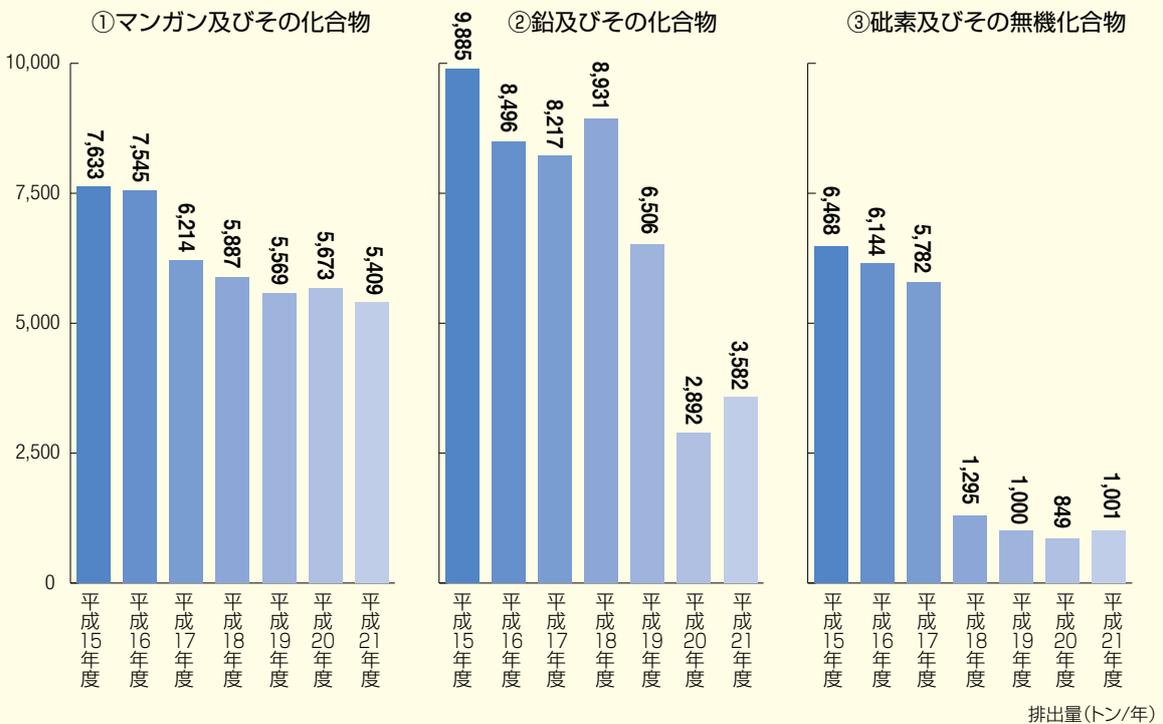
●公共用水域への届出排出量上位3物質



●事業所内の土壌への届出排出量上位3物質



●事業所内の埋立処分の届出排出量上位3物質



## ④ 移動量

### [ データの項目 ]

平成15～21年度の廃棄物に含まれて移動される物質と下水道へ移動される物質にはどのようなものがあるのか見てみましょう。

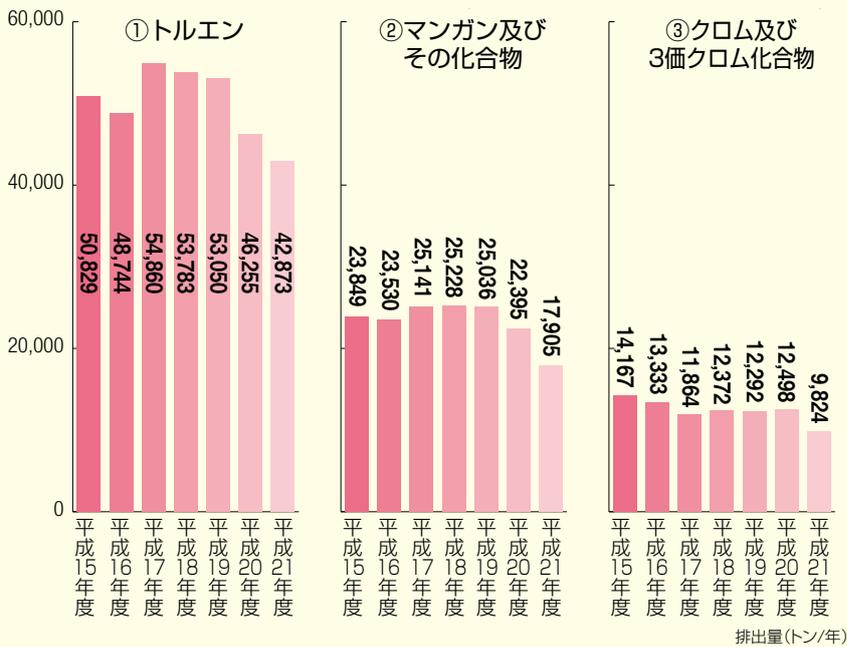
### [ 集計・加工例 ]

平成21年度の廃棄物としての移動量と下水道への移動量のそれぞれ上位3物質を過去6年分のデータとあわせて棒グラフで示してみました。なお、グラフ毎に横軸の単位が異なることに留意しましょう。

使用データ

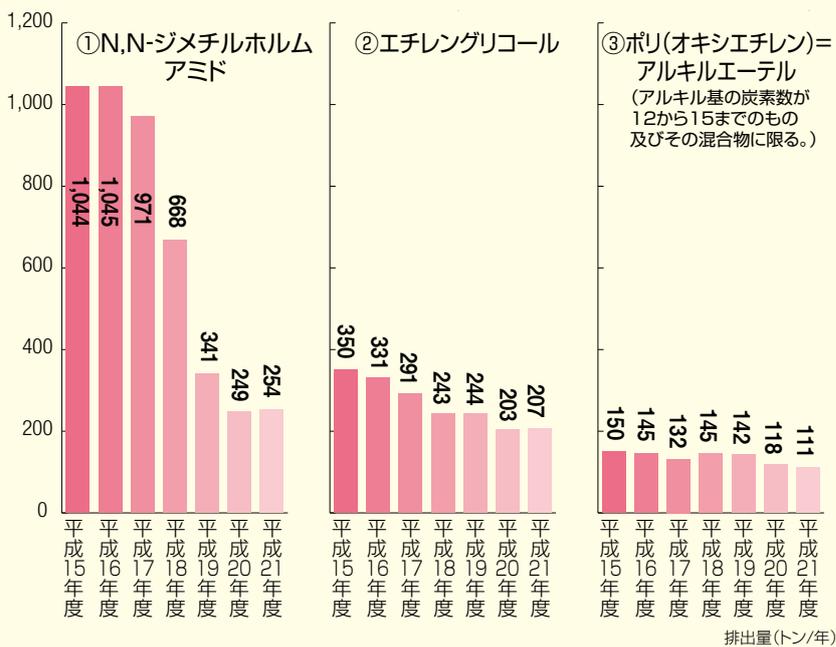


### ●事業所外への廃棄物としての届出移動量上位3物質



廃棄物としての届出移動量上位3物質の構成は、平成20年度と同じです。2番目に多いマンガンは、合金の原料や鉄鋼製品を製造するときの添加剤などとして使用されています。また、マンガンの化合物としては、乾電池や酸化剤に使われる二酸化マンガンを飲料水の処理などに使われる過マンガン酸カリウムなどがあります。3番目のクロム及び3価クロム化合物は、合金の成分として特殊鋼や非鉄金属などに使用されています。

### ●下水道への届出移動量上位3物質



下水道への届出移動量上位3物質の構成は平成20年度と同じです。排出量が最も多いN,N-ジメチルホルムアミドは、合成繊維や合成皮革、医薬品、農業、特殊インキなどを作るときに溶剤として使用されています。また、2番目に多いエチレングリコールは、ポリエステル繊維やペットボトルを作るPET(ポリエチレンテレフタレート)の原料として使用されています。

## 4 ホームページ上でPRTRデータを見る

環境省のホームページからPRTRデータやその集計結果を入手することができます。

### 環境省「PRTR集計・公表システム」

環境省のPRTR集計・公表システムでは、集計結果の閲覧や検索、集計データのファイルをダウンロードすることができます。この「PRTR集計・公表システム (PRTRインフォメーション広場内)」を利用するには、2通りの方法があります。

#### [1] 検索エンジン (Yahoo!, Googleなど) から検索する

検索欄に「PRTR」と入力し、検索結果一覧の中から

**PRTRインフォメーション広場>集計結果・データ** をクリックしてください。

#### PRTRインフォメーション広場トップページ

HP <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>



#### 集計結果・データを見る

HP <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/index.html>



#### [2] 環境省のホームページから探す

環境省のトップページから次に示す手順に沿って進んでください。

HP <http://www.env.go.jp/>

1 「保健・化学物質対策」の「化学物質 (PRTR等)」をクリックします。



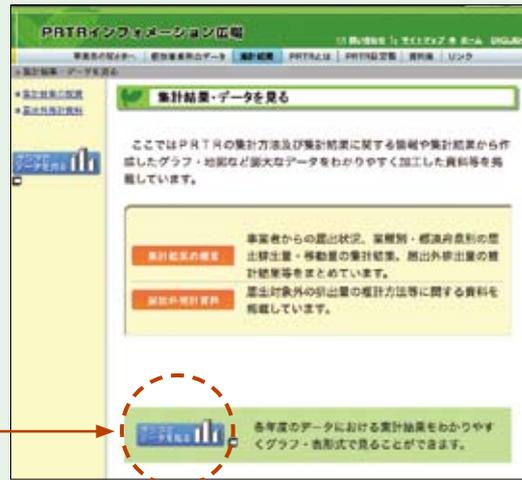
2 「化学物質対策」の中の「環境リスクの低減」をクリックします。



3 「PRTR:化管法ホームページ(PRTRインフォメーション広場)」の「集計結果・データを見る」をクリックします。



4 「集計結果・データを見る」のページが表示されます。「グラフでデータを見る」をクリックします。



「グラフでデータを見る」のページが表示されます。ここで「集計・公表システム」を利用できます。



HP <http://www2.env.go.jp/chemi/prtr/prtrinfor/index.html>

では、関心のある物質や業種について、  
都道府県比較のグラフ・地図をしてみましょう。

1 目次画面

「全体像」「環境への排出」  
「下水や廃棄物としての移動」「届出外推計結果」から、  
見たいグラフを選びます。  
ここでは例として、「環境への排出」  
を選択します。



2 「主な図表」の画面になります。

「上」や「リ」等のアイコン  
をクリックすると、さまざまな  
グラフが表示されます。



(出力例)  
排出量上位10物質とその排出量

排出量上位10物質とその排出量

届出媒体 (平成21年度)

化学物質	物質名	排出量(t/a)
○	トルエン	21,146
○	キシレン	22,907
○	エチルベンゼン	13,649
○	メチルメチル	13,474
○	マンガン及びその化合物	6,248
○	二酸化炭素	3,959
○	亜硫酸の化合物	3,810
○	トリクロロエチレン	3,325
○	硫黄酸及びその化合物	2,080
○	水、ナトリウムホルムアルデヒド	2,621

**3** 「集計表から調べる」をクリックすると、法令に基づいた集計表からデータを検索することができます。



**4** 1. 排出年度  
2. 業種  
3. 化学物質  
について、それぞれ希望するものが選べます。



**5** 最後に、  
●大気への排出量  
●公共用水域への排出量  
●土壌への排出量  
●当該事業所敷地内での埋立  
●排出量合計  
の5項目から見たい項目を選択し、   をクリックしましょう

以下のように、さまざまなグラフや地図を表示させることができます。



グラフでは、排出量の大きさが実数で示されているため、排出量の大小関係がわかります。



都道府県地図では、排出量の大きさが色でランク分けされているため、自分の住む都道府県が全国でどの位の位置にあるのがわかります。

年度比較表では、排出量の増減がわかります。

## 環境省「PRTRデータ地図上表示システム」

「PRTRデータ地図上表示システム」で個別事業所を地図から探したり、個別事業所のデータをグラフや図で見たりできるようになりました。

この「PRTRデータ地図上表示システム」を利用するには

PRTRインフォメーション広場>個別事業所のデータ をクリックして次に示す手順で進んでください。

HP <http://www2.env.go.jp/chemi/prtr/prtrmap/>

## 1 目次画面

「地域から選ぶ」「事業所を検索する」から、検索したい方法を選びます。  
「地域から選ぶ」を選択した場合を、2-1～2-4に示します。  
「事業所を検索する」を選択した場合を、3-1～3-2に示します。



## 2-1 1の画面で「地域から選ぶ」

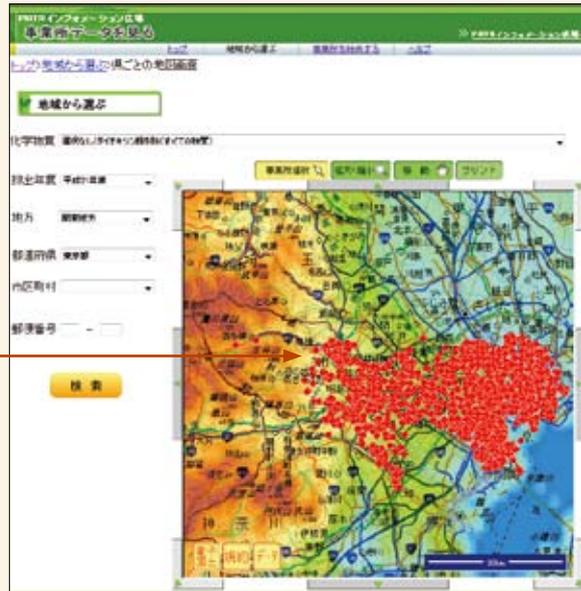
を選択すると、検索条件と日本地図が表示されます。

- 1.化学物質
- 2.排出年度
- 3.地方
- 4.都道府県
- 5.市区町村
- 6.郵便番号

について、それぞれ希望するものを選び、「検索」をクリックします。  
また、地図上で県名をクリックして選ぶこともできます。  
ここでは例として、東京都を選択して検索します。



**2-2** 「県ごとの地図画面」になります。  
 地図上で見たい事業所の●をクリックすると、地図が拡大されます。もう1度●をクリックすると、その事業所の排出先別の排出量・移動量を示す図が表示されます(5の画面)。



**2-3** 2-2の地図を拡大・縮小して、見たい事業所を探ることができます。



**2-4** 地図の周囲にある▲をクリックすると、地図を移動させて見たい事業所を探ることができます。



**3-1** 1の画面で「事業所を検索する」を選択すると、検索条件が表示されます。

- 1. 排出年度
- 2. 都道府県
- 3. 市区町村
- 4. 郵便番号
- 5. 事業所名
- 6. 物質
- 7. 排出・移動先
- 8. 排出条件
- 9. 業種

について、それぞれ希望するものを選び、「検索」をクリックします。



**3-2** 「事業所名」「所在地」「業種」「全排出量・移動量」の一覧が表示されます。

見たい事業所の「所在地」を選択すると事業所周辺の地図が表示されます(4の画面)。「事業所名」をクリックすると、その事業所の排出先別の排出・移動量を示す図が表示されます(5の画面)。



**4** 事業所周辺の地図です。事業所の●をクリックすると、排出先別に排出・移動量を示す図が表示されます。



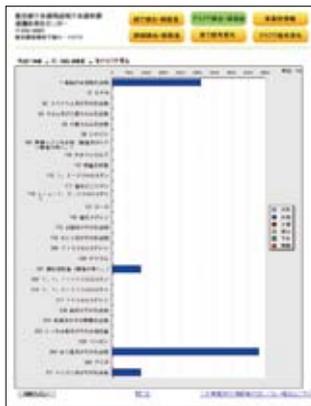
**5 「絵で排出・移動量」の画面**です。  
最後に、

- グラフで排出・移動量
- 事業所情報
- 詳細排出・移動量
- 表で経年変化
- グラフで経年変化

の5項目から見たい項目をクリックしましょう。



以下のように、さまざまなグラフや表を表示させることができます。



「グラフで排出・移動量」では、物質別・排出先別に、排出・移動量の大小関係がわかります。

「事業所情報」では、事業者名、事業所名、事業所の所在地や従業員数など、事業所に関連する情報がわかります。

「詳細排出・移動量」では、物質別・排出先別に、排出・移動量を数値でみるすることができます。

「表で経年変化」では、物質別・排出先別に、排出・移動量の平成13年度からの経年変化がわかります。



「グラフで経年変化」では、物質別に、排出・移動量の平成13年度からの経年変化がわかります。

## 5 個別事業所のPRTRデータを入手する

化学物質の環境中への排出状況に関する理解をより深めるため、個別事業所ごとのPRTRデータをホームページ上で容易に入手することができます。また、所定の手続きを経て、当該データについて国へ開示請求を行うことも可能です。

### (1) 個別事業所のPRTRデータ

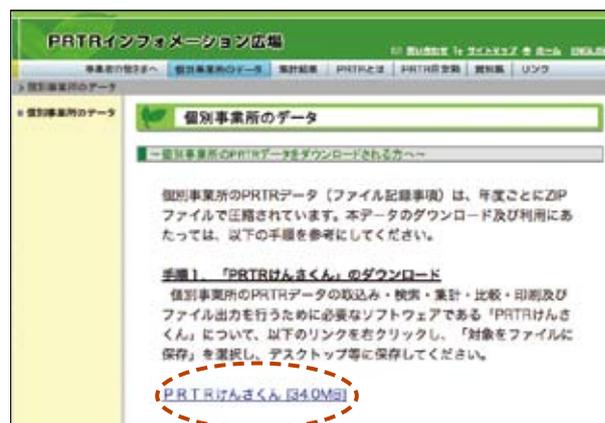
個別事業所のPRTRデータを公表していますので、届出された全国・全事業所の化学物質の排出量・移動量を、環境省のホームページ「PRTRインフォメーション広場」で入手することができます。詳しくは、以下をご参照ください。

なお、これまでのように開示請求をされる場合は、51ページをご参照ください。

### (2) 個別事業所のデータと「PRTRけんさくくん」の利用について

個別事業所のデータは、「PRTRインフォメーション広場」>「個別事業所のデータ」で入手できます。

ここで得られるデータは、「本紙ファイル（本紙.txt）」「別紙ファイル（別紙.txt）」、「他業種ファイル（他業種.txt）」の3種類に分かれており、データを利用する際は、これらのファイルを1つに統合する作業が必要となります。「PRTRけんさくくん」では、この作業をサポートし、PRTRデータの再集計や分析が容易にできます。



HP <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/index.html>

PRTR  
けんさくくんの  
機能

機能	説明
1. ファイルの取込み	PRTRデータ(電子ファイル)を取込む機能
2. データの検索・抽出	データ一覧画面に表示されるデータについて検索・抽出する機能
3. データの集計	データを全国・都道府県・市区町村毎に集計し、一覧表示またはグラフ表示する機能
4. データの比較	違う年度のデータを比較する機能
5. データの印刷	データを印刷する機能
6. ファイルの出力	取込んだファイルをデータベースソフトや表計算ソフトで扱いやすいファイルに変換して出力する機能

- 電子ファイル中の「PRTRけんさくくん」の所在  
「PRTRけんさくくん」→「PRTRDAS」→「PRTR Data Analyze System」の中にあります。

## 個別の事業所からの化学物質の排出・移動量について 「PRTRけんさくくん」で調べてみよう

PRTRけんさくくんを使うと、例えば自分が住んでいる地域の事業所ごとのPRTRデータを簡単に調べることができます。

### 『PRTRけんさくくんの使い方』ガイド

「PRTRけんさくくん」と「PRTRデータ」を49ページの記述に従いダウンロードし、「PRTRけんさくくん」を使えるような状態にしてください（詳細な方法については、<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/index.html>を参照してください。）。

- 1 prtrdas.exeをダブルクリックして「PRTRけんさくくん」を立ち上げます。
- 2 調べたい年度の「PRTRデータ」を以下の手順で「PRTRけんさくくん」に取り込みます。  
[ファイル取込] → [基本ファイルの取込み] → [参照] → 調べたい年度の「本紙.txt」「別紙.txt」「他業種.txt」の3つのファイルを同時に選択 → [開く] → [取込み開始] → 「ファイル取込み処理を実行中」が表示され「PRTRけんさくくん」にPRTRデータが取り込まれます。

### 自分が住んでいる市区町村における個別事業所のPRTRデータ

- 1 「PRTRけんさくくん」のメイン画面 → 2 [検索・抽出] →
- 3 文字列・数値で検索 - 事業所所在地 → 4 リストから入力 →
- 5 都道府県を選択 → 6 市区町村を選択 → 7 [OK] → 8 新規検索
- 9 調べたい市区町村の 個別事業所データ が表示されます。

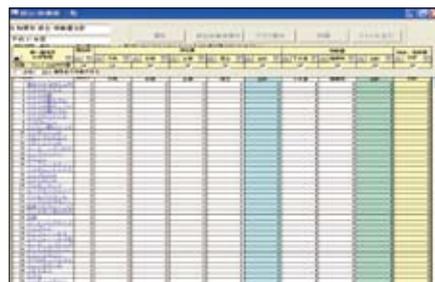
※ツールバーの「表示」から「物質ごと一覧」を選択すると、個別事業所の物質ごとの排出量・移動量を表示することができます。



### さらに調べてみましょう

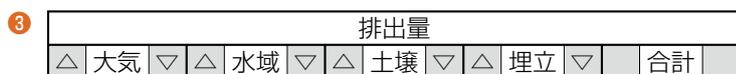
### 自分が住んでいる市区町村における化学物質別の排出・移動量

- 1 「PRTRけんさくくん」のメイン画面 → 2 排出量集計 →
- 3 集計する範囲 - 〇市区町村別に集計 を選択 → 4 都道府県を選択
- 5 市区町村を選択 → 6 [OK] →
- 7 集計する項目 - 〇第一種指定化学物質別 を選択 →
- 8 全てチェック → 9 [OK] → 10 集計開始 (S)
- 11 自分が住んでいる市区町村における化学物質の 排出・移動量 の一覧が表示されます。

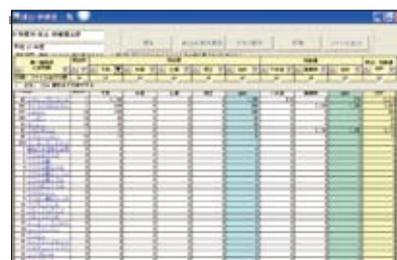


### 「排出・移動量の順番を並べ替える場合

- 1 排出・移動量一覧の表示画面 → 2 大気への排出量が多い順に並べる



→ クリックすると、▽が黒く(▼)なり、排出量が降順になります。



### (3) 環境省「PRTRデータ地図上表示システム」の利用について

環境省「PRTRデータ地図上表示システム」で個別事業所のPRTRデータやその経年変化を見ることができます。

また、それらのデータを**CSV方式**<sup>\*7</sup>のファイルでダウンロードできます。

「PRTRデータ地図上表示システム」の機能や利用方法は45～48ページをご覧ください。

「詳細排出・移動量」をクリック

「CSVダウンロード」をクリック

※7 CSV方式とは、項目の間をカンマで区切ったテキスト形式のファイルのことです。

### (4) 開示請求

#### 1) 開示されるデータ

事業者から届けられた個別事業所ごとの情報は、開示請求をすることによっても、個人情報等を除く次の情報を入手することができます。

- ① 事業者、事業所に関する情報（名称、所在地等）
- ② 事業所における第一種指定化学物質の排出量・移動量に関する情報
  - 第一種指定化学物質の名称
  - 大気への排出量、公共用水域への排出量、事業所における土壌への排出量、事業所における埋立処分量及び排出先の名称
  - 下水道への移動量
  - 事業所外への移動量

開示されるデータは、電子媒体（光ディスク（CD-R）又はフレキシブルディスク（FD））による交付、用紙による交付のうち、いずれかの方法を選択することができます。

電子媒体により交付される事業所データの電子ファイルは、CSV方式<sup>\*7</sup>で提供され、データベースソフトや表計算ソフトの多くで読み書きができ、開示請求者が独自に表を作成したり、集計・分析等を行うことが可能です。

また、電子ファイルにはPRTRデータ分析システム「PRTRけんさくくん」が納められており、集計・分析等が簡単に行えます。「PRTRけんさくくん」の利用については、49ページをご参照ください。

国による集計結果の公表日以降であれば、誰でも個別の事業所が届け出た排出量等のデータについて、国に対して開示請求をすることができます。請求先は、環境省、経済産業省及び事業者の営業活動を管轄する省庁です。

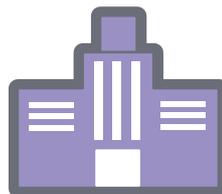
## (5) 開示請求の窓口

環境省及び経済産業省の窓口では、全国すべての事業者からの届出について開示請求を受け付けるほか、開示にあたっての事前照会（開示を希望する事業所等を特定するための事前の手続き）や開示手続全般の問い合わせにも対応しています。

それ以外の事業所管省庁（財務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、防衛省）では、その省庁が所管している事業者からの届出分について、開示請求を受け付けています。

各省庁に設置されているPRTR開示窓口は、以下のとおりです。

省庁名	問い合わせ部署	住所／電話／E-mail	対象となる業種
財務省	理財局総務課たばこ塩事業室	〒100-8940 東京都千代田区霞が関3-1-1 電話:03-3581-4111(内線2259) FAX:03-5251-2239	たばこ塩製造業など
文部科学省	研究開発局環境エネルギー課	〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 電話:03-5253-4111(内線4535) FAX:03-6734-4162	高等教育機関など
厚生労働省	医薬食品局審査管理課 化学物質安全対策室	〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話:03-5253-1111(内線2426) FAX:03-3593-8913	医薬品製造業など
農林水産省	消費・安全局農産安全管理課 農薬対策室	〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(内線4500) FAX:03-3501-3774	農業製造業など
経済産業省	製造産業局化学物質管理課 化学物質リスク評価室	〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1 電話:03-3501-1511(内線3691~3695) FAX:03-3580-6347	全業種
国土交通省	総合政策局環境政策課	〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 電話:03-5253-8111(内線24335) FAX:03-5253-1550	下水道、自動車 整備業など
環境省	環境保健部環境安全課全業種	〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話:03-3581-3351(内線6358) FAX:03-3580-3596 Eメール:ehs@env.go.jp	全業種
防衛省	大臣官房文書課環境対策室	〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5-1 電話:03-3268-3111(内線20902) FAX:03-5229-2134	駐屯地など



## (6) 請求の方法

開示請求には、開示請求者の氏名及び住所、開示請求しようとする事業所の名称及び所在地、その他の開示を希望する事業所を特定できる事項が必要です。

また、特定の事業所に限定せず、ある年度に届出のあったすべての事業所のデータを請求することもできます。その場合は、必要な事項を「ファイル記録事項開示請求書」（93ページ参照）

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/kaiji2.html>に記入し、

① 開示窓口へ直接提出する、② 郵送により提出する、③ インターネットを利用し提出するという、3つの方法のうちいずれかを選択します。

提出方法(国民)	開示方法(環境省)
①開示窓口へ直接提出する	CD-R等の開示媒体をお渡しします。
②郵送により提出する	CD-R等の開示媒体を郵送しますので、切手を貼付した返信用封筒(A4以下でCD-RやFDが入る大きさのもの)が必要となります。切手代は、CD-R1枚の場合、140円(定形外封筒)です。
③インターネットを利用し提出する (環境省ホームページの「各種の窓口・案内」 (電子申請・届出窓口)から行う。)	

## (7) 開示請求の手数料

開示請求には、所定の手数料が必要です。手数料は、開示を受ける媒体及びデータの量(容量)によって決まります。手数料は、開示請求書に収入印紙を貼付して納付します。なお、インターネットにより開示請求する場合には、電子納付します。

内 容	開示媒体	数料算出方法
事業所を 検索して開示	用紙(A4)	紙1枚につき20円
	フレキシブルディスク(FD)	FD1枚につき80円+0.5MB(メガバイト)までごとに260円
	光ディスク(CD-R)	CD-R1枚につき200円+0.5MBまでごとに260円
年度の全データを 開示	光ディスク(CD-R)	CD-R1枚につき200円+200MBまでごとに900円

平成21年度の全国・全事業所のデータのみを1枚のCD-Rに収録したものは「1,100円」、過年度修正版と平成21年度の各々の全国・全事業所のデータを併せて1枚のCD-Rに収録したものは「2,000円」となります。

開示請求に関する詳しい情報は、環境省のホームページ「PRTRインフォメーション広場」の「開示を請求される方へ」をご参照ください。

HP <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/kaiji/kaiji2.html>



# IV

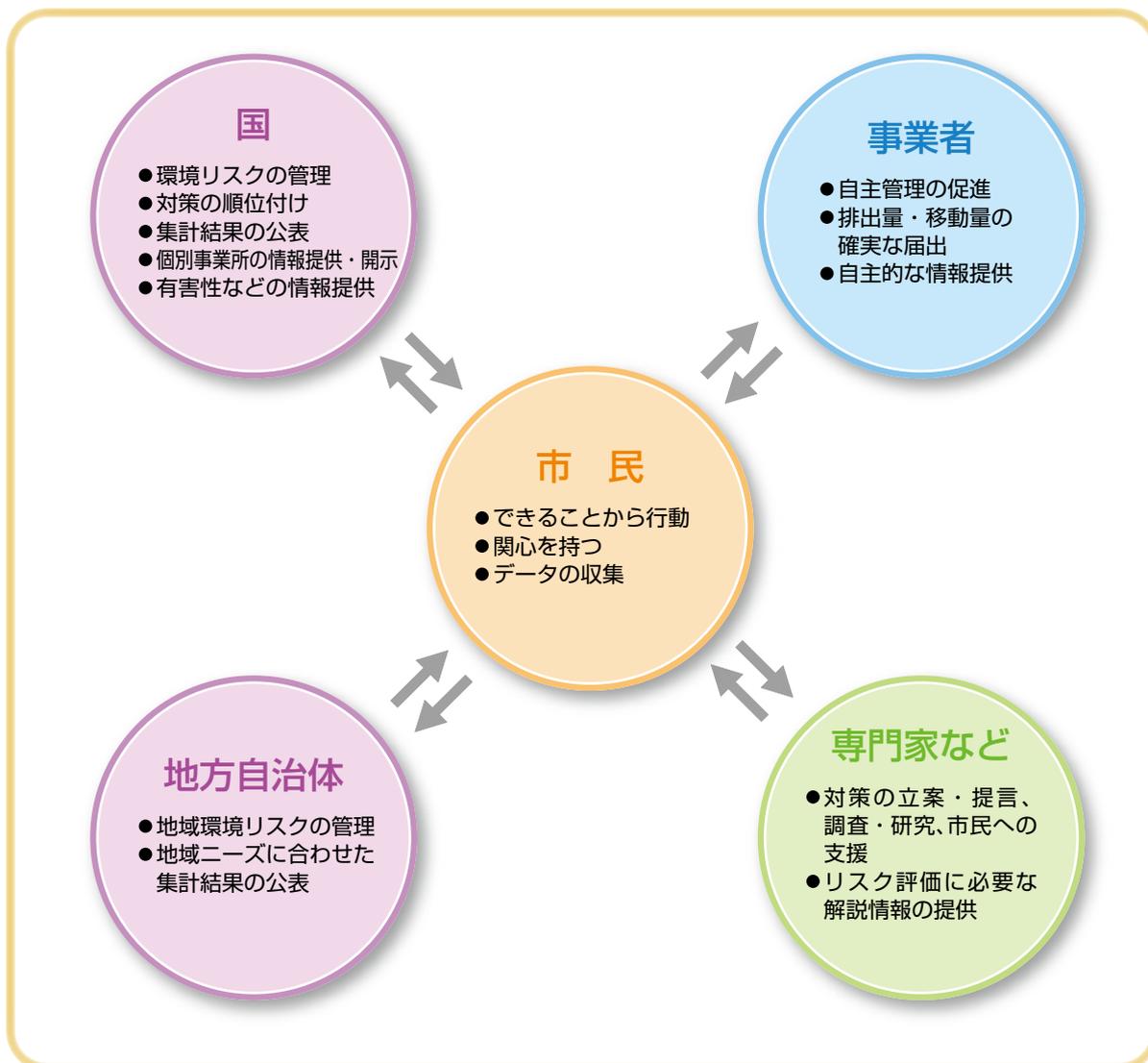
## 化学物質による 環境リスク低減のために

1	市民・事業者・行政のそれぞれの役割	56
2	リスクコミュニケーション	57
	(1) リスクコミュニケーションとは	57
	(2) 近隣の工場とリスクコミュニケーションしたいときは	58
	コラム1： リスクコミュニケーションを支援するしくみ 「化学物質に関する冊子」	59
	コラム2： リスクコミュニケーションを支援するしくみ 「化学物質アドバイザー」	60
	コラム3： リスクコミュニケーションを支援するしくみ 「GHS」	61
3	PRTRデータの活用例	62
	(1) NGO・NPOの取組	62
	(2) 地方自治体の取組	63
	(3) 企業の取組	65

# 1 市民・事業者・行政のそれぞれの役割

PRTR制度は、個々の物質を規制するのではなく、化学物質の排出に関する情報を公表することにより、地域全体で化学物質による環境リスクを減らしていくことを目指した仕組みです。この制度では、国や地方自治体などの行政と事業者、そして市民や専門家などが、それぞれの役割を果たしていかなければ、公表された情報は活かされません。PRTR制度におけるそれぞれの役割を下図に示します。

## ●PRTR制度におけるそれぞれの役割



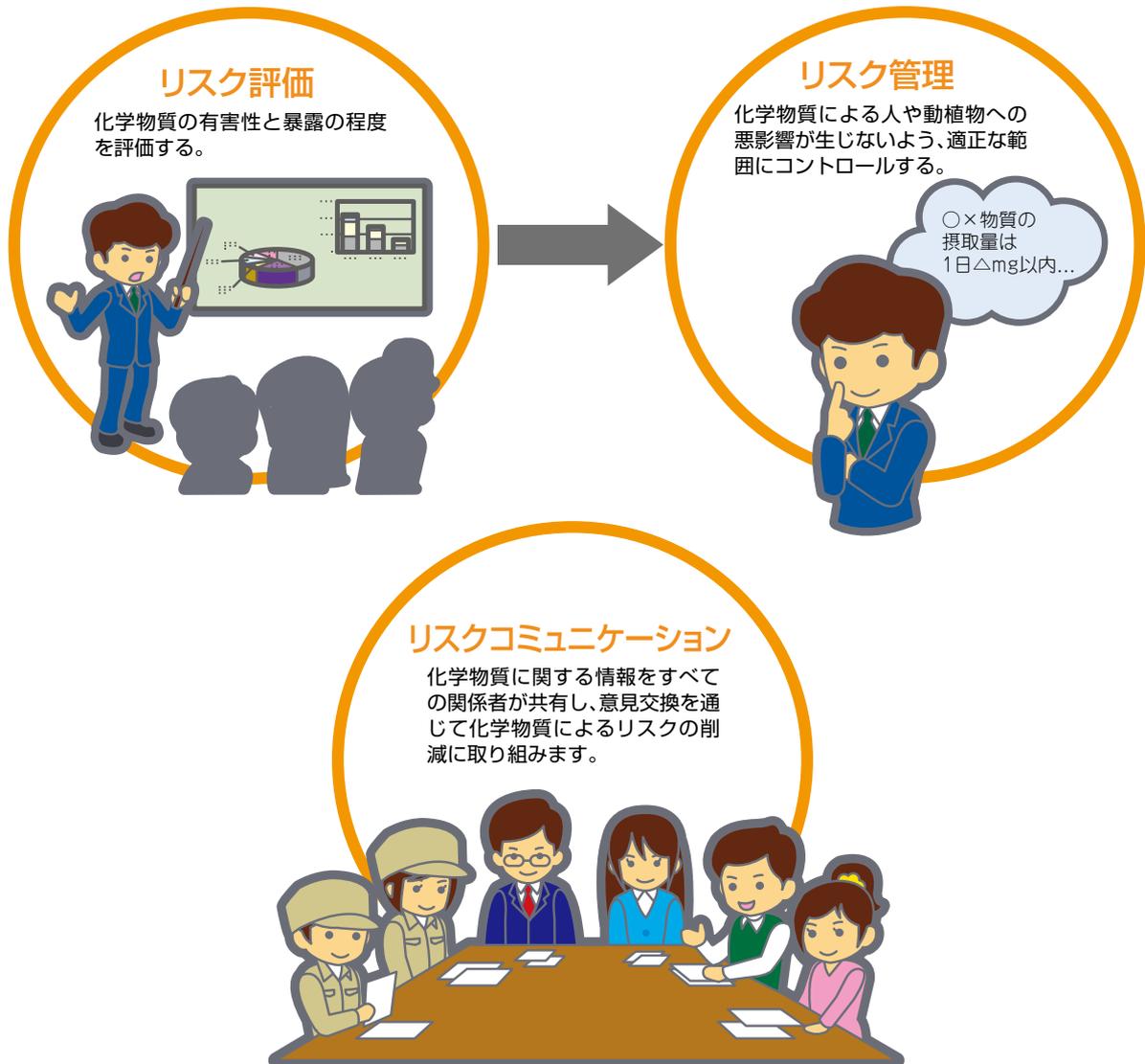
市民は、まず身の回りの化学物質に少しでも関心を持ち、公表されたデータを見るのが期待されます。PRTR制度で情報が公表されるようになって、私たちが関心を持ってそれを見なければ制度を活かすことができません。毎年一人でも多くの市民がPRTRデータに目を通し、それをきっかけに自らの暮らしを見直したり、事業者や行政とコミュニケーションを図ったりすることが、社会全体で化学物質による環境リスクを減らしていく取組につながります。

## 2 リスクコミュニケーション

PRTR制度による「化学物質に関する情報」を市民、事業者、行政が共有し対話することにより、化学物質による環境リスクを減らしていくことが期待されています。一人一人が生活を見直し、少しでも化学物質の使用や排出を削減するように心がけることと併せて、地域全体で化学物質による環境リスクを減らす取組を進めるためには、市民、事業者、行政の間でコミュニケーションを図ることが欠かせません。

### (1) リスクコミュニケーションとは

化学物質による人や動植物への影響を把握するには、科学的な知見が必要です。影響の度合いがわかったら、次は化学物質の量が人や動植物に悪影響を及ぼすレベルにならないよう、適切に管理することが必要になります。より合理的にリスクを管理し削減するためには、市民、事業者、行政が化学物質に関する情報を共有し、意見交換を通じて意思疎通を図ることが必要です。これを「リスクコミュニケーション」と呼んでいます。市民や事業者、行政がそれぞれ自分たちの都合だけを主張しては、化学物質による環境リスクを削減する取組がなかなか進みません。そこで、お互いの考えていることを理解しあい、力を合わせて取組を進めようとするものです。



## (2) 近隣の工場とリスクコミュニケーションしたいときは

「近所のあの工場からどのような化学物質が出ているか、以前から不安だった」という方は、リスクコミュニケーションしたいと思われるかもしれません。また、日頃不安がなくてもリスクコミュニケーションを実施することは重要です。なぜなら、化学物質に対するイメージや考え方は人それぞれだからです。

このような状態で、万が一、工場で事故が発生してその影響が住民にも及ぶようなことがあった場合、感情的な対立が先行して、建設的な話し合いや有効な対策の推進が困難であったり遅れたりすることになりかねません。日頃から住民、事業者、行政が情報を交換し、信頼関係を築いておくことが必要です。

では、どのようにリスクコミュニケーションを始めればよいのでしょうか。

### 1) 住民からアクションを起こす

まずは事業者が化学物質についてどのような取組をしているかを知ることから始めるとよいでしょう。事業者には必ず問い合わせ窓口がありますので、そこに「PRTR届出状況について説明してほしい」「環境報告書に掲載されている情報について解説してほしい」などと要請すれば対応してもらえることが多いでしょう。個人レベルでも良いのですが、お互いに関心のあるグループ単位で要請した方が、事業者としても対応しやすいでしょう。

また、市役所等の環境担当部署に「リスクコミュニケーションしたいので仲介してほしい」と依頼すれば対応してくれる場合もあります。さらに、事業者と話し合う前に、個別事業所のデータを入手したり、他の事業所と排出量を比較したりして予習しておくとも効果的です。

最初から難しい議論をしようと思わず、まずは「分からないことを聞く」、「自分たちが何を考えているか知らせる」、また「事業者の取組を知る」ことから始めましょう。



### 2) 事業者からアクションを起こす

事業者は、地域清掃への協力、お祭り等のイベントへの協賛など、地域社会との関わりを持っていることもあります。おそらくは総務部門が担当していることと思いますので、環境安全部署の方はすでに地域住民との信頼関係がある部署のチャネルを通じてコミュニケーションを始めれば、テーマを化学物質に移しても、比較的すんなりとコミュニケーションが進められると思われれます。

また、市役所等に相談すれば、町内会長など地域住民の核となる方を紹介してくれる場合もあります。



### 3) 行政からアクションを起こす

行政は、市民と事業者が協力して、自主的にリスクコミュニケーションが推進されるよう支援することが求められます。事業者や市民に「リスクコミュニケーションの考え方」「実践方法」「得られるメリット」などを説明しリスクコミュニケーションを促すとともに、事業者や市民から「リスクコミュニケーションしたい」という手が上がったなら、積極的に協力しましょう。

コラム  
1

リスクコミュニケーションを支援するしくみ

## 「化学物質に関する冊子」

## 化学物質ファクトシート

環境省では、第一種指定化学物質について、個々の情報をわかりやすく整理し、簡素にまとめた「化学物質ファクトシート」を作成しています。ファクトシートは毎年発表されるPRTR集計結果やモニタリング結果に併せて改訂されています。

ファクトシートには、以下のような項目について、専門家以外の方にもわかりやすく整理されています。

- ① 物質名、別名、PRTR政令番号、CAS番号、構造式
- ② 用途（その化学物質がどのように使用されているか）
- ③ 排出・移動（環境中への排出量・移動量、主な排出源、主な排出先など）
- ④ 環境中での動き（環境中に排出された後の化学物質の動き、当該物質が主に存在する媒体など）
- ⑤ 健康影響（人の健康への有害性についての記載、またはPRTR対象化学物質に選ばれる理由となった毒性等について）
- ⑥ 基本的な情報の一覧表（性状、生産量、排出・移動量、PRTR対象選定理由、環境データ、適用法令等）
- ⑦ 引用・参考文献及び用途に関する参考文献のリスト

化学物質ファクトシートは、環境省のホームページ上で見ることができます。冊子の入手方法についても紹介していますので、ぜひご参照ください。

HP <http://www.env.go.jp/chemi/communication/factsheet.html>

## かんたん化学物質ガイド



環境省では、家庭や自動車等の身近なところから排出される化学物質について、市民が自らの生活と関連付けで考え、化学物質の正しい利用や廃棄など、市民一人一人ができる環境リスクの低減のための取組について考えるきっかけとなるよう、子どもにも親しみやすい小冊子「かんたん化学物質ガイド」を作成し、配布しています。

かんたん化学物質ガイドシリーズは、①生活編（総論編）、②乗り物編、③洗剤編、④殺虫剤編、⑤塗料・接着剤編が発行されています。

かんたん化学物質ガイドは、環境省のホームページ上で見ることができます。冊子の入手方法についても紹介していますので、ぜひご参照ください。

HP <http://www.env.go.jp/chemi/communication/guide/index.html>

## コラム 2

### リスクコミュニケーションを支援するしくみ

## 「化学物質アドバイザー」



化学物質やその環境リスクに関する話は、とかく専門的になりがちで、一般の市民には理解できないことも多々あります。また、事業者の中にも「化学物質は使っているが、詳しい知識が必ずしもあるわけではなく、うまく説明できない」場合もあります。そのような状態でコミュニケーションをしても、相手の説明が理解できなかつたり、場合によっては「難しい言葉ばかりを並べ立てられて言いくるめられてしまった」というようなマイナスイメージを持ってしまったりします。

そこで、環境省では化学に関する知識が少ない市民や化学物質の専門家でない事業者を知識の面から支援する仕組みとして「化学物質アドバイザー」制度を設けています。

化学物質アドバイザーの活躍場面はリスクコミュニケーションの場だけではなくありません。この他に「身の回りの化学物質について」、「界面活性剤（洗剤）について」など皆さんの生活に密着した化学物質をより理解していただけるようお手伝いをしています。もちろん、行政や事業者の内部研修会や行政が主催する各種説明会にも講師として参加し、幅広く活躍しています。



化学物質アドバイザーに関するお問い合わせ先は下記URLで確認して下さい。

**HP** <http://www.env.go.jp/chemi/communication/taiwa/index.html>

コラム  
3

リスクコミュニケーションを支援するしくみ

## 「GHS」(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)

GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)とは、化学品の危険有害性(ハザード)ごとの各国の分類基準及びラベルや安全データシートの内容を調和させ、世界的に統一したルールとして提供するというものです。

GHSで分類・表示される危険有害性としては、爆発性や引火性、急性毒性、発がん性、水生環境有害性などがあり、それぞれに危険有害性の程度に応じたシンボルマーク(絵表示)と、「危険」または「警告」という注意喚起のための表示(注意喚起語)などが決められています。さらに、ラベルには、「飲み込むと生命に危険」といった危険有害性情報、応急処置や廃棄方法といった注意書きが付けられます。

GHSは、世界的に統一された分類・表示により、化学品の危険有害性を分かりやすくすることを目的とした仕組みであり、この制度の導入により、化学品による事故などを減らすことが期待されます。また、化学品を購入する時に、人の健康や環境に配慮した製品を選択することができるようになります。

具体的には、化学品の製造業者や輸入業者などが、GHSで決められた基準に従って化学品を分類し、表示を行っていくこととなります。販売業者や消費者などは、この分類表示により、身の回りにある化学品の危険有害性をより正しく知ることができるようになります。

また、それらの表示に従って化学品を正しく取り扱うことで、誤った取り扱いによって引き起こされる事故などを防ぎ、人の健康及び環境の保護がより進むことが期待されます。

HP <http://www.env.go.jp/chemi/ghs/>

## 3 PRTRデータの活用例

### (1) NGO・NPOの取組

#### ●特定非営利活動法人 有害化学物質削減ネットワーク (略称：Tウォッチ)

HP <http://www.toxwatch.net/>

PRTRデータを市民が有効活用できるように、わかりやすく情報提供する市民のネットワークです(2002年任意団体として発足、2004年10月 NPO法人として認可)。PRTR 情報を活用して、有害化学物質削減に取り組んでおり、ホームページ上のPRTR検索データベースでは、さまざまな検索方法でPRTR届出情報の閲覧や比較をすることができます。

例) 個別の工場や会社を  
名称・業種・住所で検索 など



#### ●エコケミストリー研究会

HP <http://www.ecochemi.jp>

1990年に「化学物質と環境との調和」という目標を掲げて設立され、幅広い立場の人が化学物質に関する最新情報を共有し、意見交換できる場を提供しています。ホームページ上のPRTR情報には、リスクの高い地域や物質が分かる「市区町村別の毒性重み付け排出量」とその順位や原因物質、自主管理の目標となる「環境管理参考濃度」、対象化学物質の「用途や毒性・物性」などが分かりやすく掲載されています。



この他にもさまざまな団体で活動が行われています。

## (2) 地方自治体の取組

都道府県や政令指定都市等において、PRTRデータを活用した化学物質に関する取組が行われていることがあります。ここではそうした取組の事例として、1) 川崎市における環境リスク評価の実施等の取組と、2) 福島県が高校生を対象に実施したリスクコミュニケーションの事例発表・交流会の取組を以下に紹介しましょう。

### 1) 川崎市における環境リスク評価の実施等の取組

#### ① 化学物質の環境リスク評価の実施

川崎市では化学物質に関する環境汚染対策について、未然防止の観点から、「川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例」及び「川崎市環境基本計画」により各種取組が行われていますが、こうした取組の一つとして、化学物質の環境リスクの低減対策を目的として平成21年10月に「化学物質の環境リスク評価結果報告書」がまとめられています。

報告書では、多くの化学物質の中から優先的に取組を行う14種類の化学物質（エチレンオキシド、クロロメタン等）が選ばれ、川崎市を臨海部、内陸部、丘陵部の3区分に分け、それぞれ環境リスク評価が行われています。

なお、この報告書は、事業者が実施する化学物質の適正管理の判断材料のひとつとして活用されるようホームページ上で公表されています。



#### ② 「化学物質と環境」セミナーの開催

市民及び事業者を対象とした化学物質と環境に関するセミナーが定期的で開催されています。市民向けセミナーでは、市民に化学物質の排出実態、環境リスク、市や事業者における取組など化学物質に関する理解を深めてもらいリスクコミュニケーションを推進することを、事業者向けセミナーでは、事業者に化学物質の自主管理の取組を促進してもらいリスクコミュニケーションを推進することをそれぞれ目指しています。

平成22年度の市民向けのセミナー（平成23年2月開催）では、生活に身近な殺虫剤をテーマとして、化学物質アドバイザーや日本家庭用殺虫剤工業会による2つの講演が行われました。事業者向けセミナー（平成22年9月開催）では、「化学物質管理に関する国の動向」について講演等が行われました。



## 2) 福島県が高校生を対象に実施したリスクコミュニケーションの事例発表・交流会の取組

### ①高校生とリスクコミュニケーション

福島県では、事業者だけではなく広く一般県民へ化学物質のリスクコミュニケーションの周知・啓発を進めるために、県内の2つの高校でリスクコミュニケーションの事例発表・交流会を行いました。これは、高校生に『リスクコミュニケーション』や『化学物質の環境リスク』、『事業者の環境への取組』に対する理解を深めてもらい、将来社会に出てから地域の安全・安心に向けて積極的に取り組んでもらうことを期待した事業です。

### ②事例発表・交流会の様子

午後の2時限(100分)の間に、まず、化学物質アドバイザー(60ページ参照)から身のまわりの化学物質とその付き合い方について基調講演があり、続いて福島県内の事業所から環境への取組に関する事例発表がありました。その後に高校生と事業所との間で意見交換(質疑応答)が行われました。



### ③取組の成果

事例発表・交流会に先立って実施された事前アンケートでは、「化学物質」に対するイメージは、“有害”“危険”“公害”など、ネガティブなキーワードが多く挙がりましたが、事例発表・交流会後のアンケートでは、化学物質に対するイメージが良くなるとともに、企業の化学物質管理を知って安心感が増したという結果が得られました。今回の事例発表・交流会を通じて、化学物質の必要性や、それらを適切に管理して使用することの重要性を高校生が認識するとともに、企業の化学物質管理の取組に対する理解が深まったと考えられます。

一方で、事例発表・交流会の内容を難しかったと感じた生徒も多くいました。

#### よりよい講義のために ～高校生からの提案～

- ・身近で具体的な内容にする
  - ・実験をたくさん取り入れる
  - ・クイズをたくさん取り入れる
  - ・授業で習った内容を取り入れる
  - ・ファクトシートなどを活用する
  - ・プレゼンだけでなく対話をする
  - ・専門的なことを分かりやすく面白い例えで説明する
  - ・事前アンケートで関心の高いテーマを取り上げる
- など

### ④取組の成果・今後の展開

福島県では、高校の専門科やカリキュラムに応じた分かりやすい内容となるよう工夫しつつ、今後も事例発表・交流会を継続して実施する予定です。事業所にとっても、こうしたリスクコミュニケーションを通じて、自らの“環境配慮や地域貢献”の取組をPRすることで、地域との信頼関係の醸成や地域の優秀な人材の確保につながることを期待されます。

### (3) 企業の取組

地域全体の環境リスクを減らすために、事業所、市民、行政が共に話し合い、行動していくことが求められています。ここでは、事業所におけるリスクコミュニケーションの取組事例をみてみましょう。この事例は、平成22年11月に宮城県にある自動車部品を製造している企業で行われたものです。

#### ① 実施のきっかけ

この事例は、今後の企業の存続には地域社会とのコミュニケーションが必要であると考えていた事業所に、宮城県がモデル事業としてリスクコミュニケーションの実施を働きかけたことがきっかけとなり実現したものです。実施に先立って、事業者と県の間で事前打合せが行われ、参加者や説明資料、工場見学コースの決定、当日のスケジュールおよび役割分担の明確化などの準備が進められました。

また、県は事前に住民へのアンケート調査を実施し、住民の化学物質に対するイメージや事業所が取り扱っている化学物質への関心などを予め把握しました。さらに、リスクコミュニケーションの目的についても文書で住民にお知らせしました。

#### ② 実施された様子

このリスクコミュニケーションには、住民14名、行政(県、市)6名、事業所6名、化学物質アドバイザー1名、ファシリテーター1名、傍聴者33名の合計61名が参加し、事業所の食堂を会場として開催されました。当日は、事業者による工場の概要説明、化学物質アドバイザーによる化学物質の環境リスクについての講演、県による「宮城県における化学物質の排出状況等」の説明が行われました。その後、工場見学を経て、事業所から環境への取組について説明があり、最後に参加者間による意見交換が行われました。

#### ③ 住民との意見交換内容、事業所の感想

住民からは事業者に対して、

- ① 工場で使用されている化学物質の年間使用量は?
- ② 有機溶剤使用時の工場外への排気濃度を測定しているか?
- ③ 排出される化学物質による大気・水質に対する影響は?
- ④ 製造時に発生する廃棄物の処理方法は?
- ⑤ 関連会社に対する環境教育はどうしているか?
- ⑥ もっと積極的に地域活動の実施状況について市民にPRすべき

などの質問やご意見がありました。

リスクコミュニケーションを実施した後の住民へのアンケート結果では、①生活のすべてが化学物質と深くつながっていることが分かった、②化学物質全てが有害であるというイメージが払拭された、といった化学物質に対するイメージが変わったとの回答が多く寄せられました。また、リスクコミュニケーションを実施した事業者は、今回の取組を有意義に感じ、今後、今回リスクコミュニケーションを実施した事業所以外の事業所においても、順次実施していくこととしました。

リスクコミュニケーションの事例は、環境省ホームページで公開されています。

HP <http://www.env.go.jp/chemi/communication/taiwa/jisseki/jirei.html>





## V

## もっと知りたい時には

<b>1</b>	<b>法律に関すること</b>	<b>68</b>
	(1) 化学物質排出把握管理促進法の概要	68
	(2) 化管法の見直しについて	69
	コラム4： 情報提供を受け付ける窓口「PRTR目安箱」	71
	(3) 第一種指定化学物質リスト	72
	(4) ファイル記録事項開示請求書	93
<b>2</b>	<b>PRTRに関連する用語の解説</b>	<b>95</b>
	環境リスク 排出量 移動量 取扱量 化学物質管理指針 有害性 発がん性 変異原性 感作性 生態毒性 オゾン層破壊物質 CAS番号 レスポンスフル・ケア 環境マネジメントシステム 環境報告書 MSDS 指定化学物質等取扱事業者	
<b>3</b>	<b>関連サイトアドレス集</b>	<b>98</b>
<b>4</b>	<b>各自治体のPRTR担当窓口</b>	<b>100</b>
<b>5</b>	<b>索引</b>	<b>103</b>

# 1 法律に関すること

## (1) 化学物質排出把握管理促進法の概要

化管法の正式名称は、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」で、1999年（平成11年）7月13日に公布されました。その目的や対象となる化学物質、事業者、データの届出や集計、公表について次のようなことを定めています。

### 1) 法律の目的

#### ●化管法の目的（第1条）

化管法は、有害なおそれのある様々な化学物質の環境への排出量等を把握することなどにより、化学物質を取り扱う事業者の自主的な化学物質の管理の改善を促進し、化学物質による環境の保全上の支障が生ずることを未然に防止することを目的としています。

### 2) 法律の概要

#### ●化管法の対象化学物質（第2条）

対象となる化学物質は、人の健康や生態系に有害なおそれがあるなどの性状を有するもので、環境中にどれくらい存在しているかによって「第一種指定化学物質」と「第二種指定化学物質」の2つに区分しています。このうちPRTR制度の対象となるのは、「第一種指定化学物質」です。

対象化学物質の選定は、有害性についての国際的な評価や生産量などを踏まえ、専門家の意見を聴いて決定しています。

#### ●化管法の対象事業者（第2条）

業種、従業員数、対象化学物質の年間取扱量等で一定の条件に合致する事業者は、環境中への排出量及び廃棄物としての移動量についての届出を義務付けています。

#### ●事業者による化学物質の管理の改善の促進（第4条）

事業者には、国が定める技術的な指針（化学物質管理指針）に留意しつつ、化学物質の管理を改善・強化します。また、その環境への排出や管理の状況などについて関係者によく理解してもらえよう努めることが求められています。

#### ●情報の流れ（第5条、第8～第11条）

事業者による届出は都道府県を経由して国に集められ、集計されたのち、その他の排出源（家庭、農地、自動車など）からの排出量と併せて公表します。国は届出データを都道府県に提供しますので、都道府県は地域のニーズに応じてデータを集計し公表することができます。国は、国民からの請求に基づき、個別事業所データを開示します。

#### ●国による調査の実施（第12条）

国は、PRTRの集計結果などを踏まえて、環境モニタリング調査や、人の健康や生態系への影響についての調査を行います。

#### ●化学物質等安全データシート（MSDS）の交付の義務付け（第14条）

事業者が指定化学物質やそれを含む製品を他の事業者に譲渡・提供する際に、その相手方に対して化学物質等安全データシート（MSDS）を交付することにより、その成分や性質、取扱い方法などに関する情報を提供することを義務付けています。

#### ●国および地方公共団体による支援措置（第17条）

化管法では、さらに国や地方公共団体が次のような支援措置に努めるよう定めています。

1. 化学物質の有害性などの科学的知見の充実
2. 化学物質の有害性などのデータベースの整備と利用の促進
3. 事業者に対する技術的な助言
4. 化学物質の排出や管理の状況などについての国民理解の増進
5. 3.や4.のための人材育成

## (2) 化管法の見直しについて

これまで化管法やPRTR制度は、以下のような経緯をたどってきました。

- 1999年7月 化管法 公布
- 2000年3月 化管法 施行
- 2001年4月 PRTR制度がスタート
- 2002年4月 事業者による排出量・移動量の届出開始
- 2003年3月 国が届出結果を公表開始

化管法は附則第三条により、施行後7年（2007年3月）を経過した場合において、法律の施行の状況について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講じることとされていました。これを受け、中央環境審議会と産業構造審議会は2007年2月から合同で審議会を開催し、化管法の施行状況に対する評価や課題の抽出を行うとともに、国際的な整合性に配慮しつつ、今後の方向性について検討を行い、2007年8月に中間とりまとめとして公表しました。

### 化管法見直し合同会合中間とりまとめ（概要）

PRTR制度に関する課題と方向性	化管法の役割と施行状況
<p><b>方向性 1</b></p> <p><b>施行後の社会動向等を踏まえた仕組みの効率化</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>対象物質の見直し <ul style="list-style-type: none"> <li>GHSとの整合化に留意し、化学物質の有害性情報やリスク評価の結果等を活用</li> </ul> </li> <li>一部の非対象業種の対象化妥当性の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>建設業、医療業等の現行非対象業種の対象化の実行可能性について検討</li> </ul> </li> <li>届出事項の追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物処理方法及び放流先の下水道名を届出事項に追加</li> </ul> </li> <li>排出量の把握手法や推計手法の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>算出マニュアルの継続的改善を実施</li> </ul> </li> <li>未届出事業者に対する対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>悪質な未届出事業者に対しては、厳正に対処</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者は、化学物質自主管理指針に基づき、管理計画を作成する等して自主管理を促進</li> <li>PRTR制度は、過去5ヶ年度分の届出実績を有し、対象化学物質による環境負荷を低減させる点で一定の効果あり</li> <li>MSDS制度も事業者間の情報伝達の手法としてほぼ定着</li> <li>現行の役割を維持することが適当</li> </ul>
<p><b>方向性 2</b></p> <p><b>PRTRデータの多面的利用の促進</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>個別情報の開示請求方式を国による公表方式に変更</li> <li>地図情報等の活用による、わかりやすい情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体は、地域特性のニーズに対応した取組</li> <li>事業者は、環境リスク評価やリスクコミュニケーションに活用</li> </ul> </li> </ol>	<p><b>MSDS制度に関する課題と方向性</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>事業者は記載内容の充実に努めるとともに、自主管理にMSDSをより一層活用</li> <li>GHSとの整合に向けた対応の検討</li> </ol>
	<p><b>化学物質の自主管理に関する課題と方向性</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>自ら事業所周辺の環境リスク評価を行い、リスク懸念の大きい物質から優先的に管理を強化</li> <li>高懸念物質等については排出削減等の自主管理をより一層強化</li> <li>国は、そのためのガイダンスの普及やモデル等の使い勝手の向上等により支援</li> <li>国は、例えば業種ごとの自主管理の取組状況に関する発表の場を設定する等、国民が産業界の取組を把握できるよう検討</li> </ol>

詳細は環境省ホームページをご参照ください。

HP <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8709>

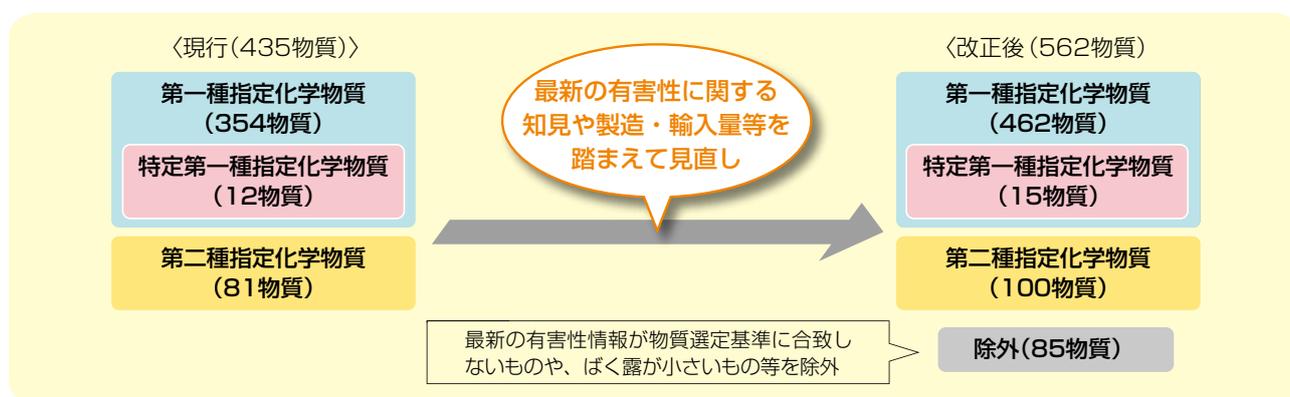
## 化管法政省令の改正の概要

平成20年11月、化管法施行令の一部が改正されました。この改正に伴い、平成22年度から変更後の第一種指定化学物質（86～92ページ参照）の排出量・移動量が把握され、平成23年度から届け出られます。また、平成22年4月、化管法施行規則の一部が改正され、平成23年度以降の届出については、改正後の様式第1で行われます。

### 改正内容

#### ①第一種指定化学物質の変更

- PRTR制度及びMSDS制度の対象となる「第一種指定化学物質」について、354物質から462物質に変更
- 第一種指定化学物質のうち、PRTR制度の届出のすそ切り要件がより厳しく設定されている「特定第一種指定化学物質」について、現行12物質から15物質に変更
- MSDS制度の対象となる「第二種指定化学物質」について、現行81物質から100物質に変更



#### ②業種の追加

- 届出を行う義務を負う事業者（第一種指定化学物質等取扱事業者）となり得る対象業種に「医療業」が追加
- 改正後のPRTR制度の対象となり得る業種

1 金属鉱業	7 下水道業	13 燃料小売業	19 計量証明業
2 原油及び天然ガス鉱業	8 鉄道業	14 洗濯業	20 一般廃棄物処理業
3 製造業	9 倉庫業	15 写真業	21 産業廃棄物処理業
4 電気業	10 石油卸売業	16 自動車整備業	22 医療業
5 ガス業	11 鉄スクラップ卸売業	17 機械修理業	23 高等教育機関
6 熱供給業	12 自動車卸売業	18 商品検査業	24 自然科学研究所

#### ③届出事項の追加

- 届出書様式第1による届出事項として、「移動先の下水道処理施設の名称」、「廃棄物の処理方法」、「廃棄物の種類」が追加

### スケジュール

年度	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度	2012(平成24)年度
事業者による把握	2009年度分把握 (旧指定物質)①	2010年度分把握 (新規指定物質)②	2011年度分把握 (新規指定物質)③	2012年度分把握 (新規指定物質)
事業者による把握届出、国による集計・公表		① 改正前の様式第1で届出 2009年度分 ①公表	② 改正後の様式第1で届出 2010年度分 ②公表	③ 改正後の様式第1で届出 2011年度分 ③公表

コラム  
4

## 情報提供を受け付ける窓口

## 「PRTR目安箱」

化管法に基づくPRTR制度では、対象事業者は事業活動に伴う第一種指定化学物質の排出量・移動量を、事業者が自ら把握して主務大臣に届け出ることが義務付けられています。また、届出を行わず、又は虚偽の届出をした者には、過料が適用されることが同法に規定されています。

化管法は、PRTR制度及びMSDS制度の適切な実施等により、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的としています。PRTRデータは、第一種指定化学物質の排出の状況に関する理解を深める上の基本となる情報であり、その適切な届出が強く求められているところです。

このような状況から、PRTRデータの届出に関し、PRTRデータの信頼性や届出等にかかる問題について、広く国民の皆様から情報提供を受け付ける窓口として「PRTR目安箱」が設置されています。

詳しくは環境省のホームページ「PRTRインフォメーション広場」PRTR目安箱」をご参照ください。

HP <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/meyasubako/index.html>

PRTRインフォメーション広場

PRTR目安箱

平成13年1月に「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」〔化管法〕に基づくPRTR制度が導入され、第一種指定化学物質等取扱事業者は、その事業活動に伴う第一種指定化学物質の環境中への排出量及び廃棄物に含まれての移動量を、事業者が自ら把握して主務大臣に届け出ることが義務付けられています。また、届出を行わず、又は虚偽の届出をした者には、過料が適用される目同法に規定されています。

化管法は、PRTR制度及びMSDS制度の適切な実施等により、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的としております。PRTRデータは、第一種指定化学物質の排出の状況に関する理解を深める上の基本となる情報であり、その適切な届出が強く求められているところです。

このため、PRTRデータの届出に関し、PRTRデータの信頼性や届出等にかかる問題について、広く国民の皆様から情報提供を受け付ける窓口として「PRTR目安箱」を設けることといたしました。上記のような情報がある場合、下記のとおりPRTR目安箱へ情報提供いただきますようお願いいたします。

なお、PRTRに関する一般のお問い合わせについては、「[問合せ先](#)」に御連絡ください。

■ 情報提供の方法

【記入項目】  
いずれかの様式に下記の必要事項を御記入の上、郵送、FAXまたはE-Mailにより御提供ください。

PDF 47KB      Word 61KB      一太郎 26KB

【1】 情報提供者の情報  
氏名  
所属  
連絡先 (TEL、E-mail)

### (3) 第一種指定化学物質リスト

- 名称など、正式なものは環境省ホームページの対象化学物質の情報をご参照ください。  
[HP] [http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target\\_chemi.html](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target_chemi.html)
- で塗られているものは、特定第一種指定化学物質です。  
特定第一種指定化学物質については、8ページをご参照ください。
- 用途の合成樹脂原料、合成原料等の後の( )内には、当該指定化学物質を使用して生成された合成樹脂等の用途や樹脂名等を示しています。

#### 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令番号	CAS番号	名称(和文)	用途
1	—	亜鉛の水溶性化合物	金属表面処理、乾電池、殺菌剤
2	79-06-1	アクリルアミド	合成樹脂原料(凝集剤、土壌改良剤、接着剤、紙力増強剤)、加工剤(繊維改質)
3	79-10-7	アクリル酸	合成樹脂原料(高吸水性樹脂、増粘剤、凝集剤)、加工剤(繊維改質)
4	140-88-5	アクリル酸エチル	合成樹脂原料(アクリル繊維、塗料、接着剤、アクリルゴム、合成皮革)
5	2439-35-2	アクリル酸 2-(ジメチルアミノ)エチル	合成樹脂原料(凝集剤、エマルジョン改質剤、繊維処理剤、粘着剤、接着剤)
6	96-33-3	アクリル酸メチル	合成樹脂原料(アクリル繊維、塗料、接着剤、アクリルゴム、合成皮革)
7	107-13-1	アクリロニトリル	合成樹脂原料(アクリル系合成繊維、合成ゴム、ABS樹脂、AS樹脂)
8	107-02-8	アクロレイン	合成原料(医薬品、アリルアルコール、グリセリン、架橋剤)、合成樹脂原料(アクリルフォーム)
9	103-23-1	アジピン酸ビス(2-エチルヘキシル)	可塑剤
10	111-69-3	アジポニトリル	合成原料(ナイロン6,6)
11	75-07-0	アセトアルデヒド	合成原料(酢酸、過酢酸、無水酢酸、酢酸エチル)、農薬(防かび剤)、香料、還元剤、防腐剤
12	75-05-8	アセトニトリル	合成原料(ビタミンB1、サルファ剤、香料、染料)溶剤、電池の電解液
13	78-67-1	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル	重合開始剤、加工剤(ゴム、合成樹脂の発泡剤)
14	90-04-0	o-アニシジン	合成原料(各種染料)
15	62-53-3	アニリン	合成原料(染料、媒染料、ゴム薬品、火薬、ハイドロキノン、医薬品、ウレタン樹脂原料)
16	141-43-5	2-アミノエタノール	添加剤(洗剤、界面活性剤、化粧品、潤滑油)、溶剤、洗浄剤(半導体用)、繊維柔軟剤
17	111-40-0	N-(2-アミノエチル)-1,2-エタンジアミン(別名ジエチレントリアミン)	加工剤(繊維、紙)、合成原料(キレート剤、接着剤、農薬)
18	120068-37-3	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノ-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール(別名フィプロニル)	農薬(殺虫剤、殺虫殺菌剤)
19	61-82-5	3-アミノ-1H-1,2,4-トリアゾール(別名アミトロール)	農薬(除草剤)、硬化剤(合成樹脂用)、分散染料
20	51276-47-2	2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)ホスフィニル]酪酸(別名グルホシネート)	農薬(除草剤)
21	591-27-5	m-アミノフェノール	合成原料(染料、医薬品、農薬、アラミド繊維原料)、染毛剤
22	107-18-6	アリルアルコール	合成原料(エピクロロヒドリン、香料、難燃剤、医薬品、ジアリールフタレート樹脂)

## 第一種指定化学物質リスト

## 平成 22 年度までの届出対象物質

政令 番号	CAS番号	名称 (和文)	用途
23	106-92-3	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン	合成原料(染料、エポキシ樹脂)、加工剤(繊維)、安定剤(樹脂、 農薬)
24	—	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アル キル基の炭素数が10 から14 までのもの及びその 混合物に限る。)	界面活性剤
25	—	アンチモン及びその化合物	樹脂難燃助剤、顔料、蓄電池、半導体、ガラス材料
26	1332-21-4	石綿	断熱材、建材原料(補強剤)、摩擦材
27	4098-71-9	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘ キシル=イソシアネート	合成樹脂原料(ポリウレタン)、接着剤、加工剤(表面処理剤)
28	78-79-5	イソブレン	合成樹脂原料(ポリイソブレン(イソブレンゴム、ブチルゴム))
29	80-05-7	4,4'-イソプロピリデンジフェノール(別名ビスフェ ノール A)	合成樹脂原料(エポキシ樹脂、ポリカーボネート樹脂、ポリスル ホン)、安定剤(塩化ビニル用)、酸化防止剤
30	25068-38-6	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ- 2,3-エポキシプロパンの重縮合物(別名ビスフェ ノールA型エポキシ樹脂)(液状のものに限る。)	エポキシ樹脂(接着剤、シール剤、塗料、電気、電子部品、複合 材料)
31	4162-45-2	2,2'-[イソプロピリデンビス[(2,6-ジプロモ-4,1 -フェニレン)オキシ]]ジエタノール	難燃剤
32	96-45-7	2-イミダゾリジンチオン	加硫促進剤
33	13516-27-3	1,1'-[イミノジ(オクタメチレン)]ジグアニジン(別 名イミノクタジン)	農薬(殺菌剤)
34	76578-14-8	エチル=2-[4-(6-クロロ-2-キノキサリニルオ キシ)フェノキシ]プロピオナート(別名キザロホップエ チル)	農薬(除草剤)
35	25319-90-8	S-エチル=2-(4-クロロ-2-メチルフェノキシ) チオアセタート(別名フェノチオール又はMCPAチオ エチル)	農薬(除草剤)
36	36335-67-8	O-エチル=O-(6-ニトロ-m-トリル)=sec-ブチ ルホスホルアミドチオアート(別名ブタミホス)	農薬(除草剤)
37	2104-64-5	O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホ チオアート(別名 EPN)	農薬(殺虫剤)
38	40487-42-1	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キ シリジン(別名ベンディメタリン)	農薬(除草剤)
39	2212-67-1	S-エチル=ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カル ボチオアート(別名モリネート)	農薬(除草剤)
40	100-41-4	エチルベンゼン	合成原料(スチレン)、溶剤
41	151-56-4	エチレンイミン	合成原料(タウリン、ポリエチレンイミン、農薬)
42	75-21-8	エチレンオキシド	合成原料(エチレングリコール、エタノールアミン、1,4-ジオキ サン、界面活性剤)、殺菌剤
43	107-21-1	エチレングリコール	合成樹脂原料(ポリエステル樹脂)、不凍液、合成原料(染料、香 料)、溶剤(農薬用)
44	110-80-5	エチレングリコールモノエチルエーテル	溶媒(各種樹脂用、印刷インキ)、医薬品抽出剤
45	109-86-4	エチレングリコールモノメチルエーテル	溶媒(各種樹脂用、印刷インキ、ポリサルファイトゴム製造用)、 電解コンデンサー、ガソリン添加剤
46	107-15-3	エチレンジアミン	加工剤(繊維防しわ剤、紙の湿潤強化剤)、界面活性剤、キレ ト剤、合成樹脂原料(エポキシ樹脂硬化剤)
47	60-00-4	エチレンジアミン四酢酸	加工剤(染色助剤、繊維処理助剤、金属表面処理剤)、安定剤 (塩化ビニル樹脂用)、重合開始剤(合成ゴム)、食品添加剤、化 粧品添加剤
48	12122-67-7	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛(別 名ジネブ)	農薬(殺菌剤)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令 番号	CAS番号	名称 (和文)	用途
49	12427-38-2	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガン (別名マンネブ)	農薬(殺菌剤)
50	8018-01-7	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガンと N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛の錯 化合物(別名マンコゼブ又はマンゼブ)	農薬(殺菌剤)
51	85-00-7	1,1'-エチレン-2,2'-ビピリジニウム=ジプロミド (別名ジクアトジプロミド又はジクワット)	農薬(除草剤)
52	62-44-2	4'-エトキシアセトアニリド(別名フェナセチン)	医薬品
53	2593-15-9	5-エトキシ-3-トリクロロメチル-1,2,4-チアジア ゾール(別名エクロメゾール)	農薬(除草剤)
54	106-89-8	エピクロロヒドリン	合成樹脂原料(エポキシ樹脂)、合成原料(グリセリン、界面活 性剤、イオン交換樹脂、医薬品)、加工剤(繊維処理)、可塑剤、 農薬(殺虫・殺菌剤)
55	556-52-5	2,3-エポキシ-1-プロパノール	安定剤(樹脂、農薬)、加工剤(繊維改質)、エポキシ樹脂アルキ ド樹脂の反応性希釈剤
56	75-56-9	1,2-エポキシプロパン(別名酸化プロピレン)	合成原料(プロピレングリコール、プロピレンカーボネート、 ウレタン樹脂、界面活性剤、医薬品、農薬)
57	122-60-1	2,3-エポキシプロピル=フェニルエーテル	安定剤(合成樹脂、農薬)、加工剤(繊維改質)、エポキシ樹脂・ アルキド樹脂の反応性希釈剤
58	111-87-5	1-オクタノール	溶剤(香料、化粧品、有機合成反応)、合成原料(可塑剤、安定 剤、界面活性剤、合成樹脂)
59	1806-26-4	p-オクチルフェノール	合成原料(界面活性剤)、合成樹脂原料(フェノール樹脂)
60	—	カドミウム及びその化合物	顔料、電池、合金
61	105-60-2	ε-カプロラクタム	合成樹脂原料(衣料用繊維、タイヤコード、各種成型加工部 品、食品包装用フィルム)
62	576-26-1	2,6-キシレノール	合成樹脂原料(エンジニアリングプラスチック)、合成原料(防 かび剤、抗酸化剤)
63	1330-20-7	キシレン	合成原料(テレフタル酸、染料、有機顔料、香料、可塑剤、医薬 品)、ガンリン・灯油成分、溶剤(塗料、農薬)
64	—	銀及びその水溶性化合物	写真材料、電池、電気接点、銀ロウ
65	107-22-2	グリオキサール	加工剤(繊維処理、土壌硬化、紙仕上げ)、合成原料(香料、医薬 品)
66	111-30-8	グルタルアルデヒド	架橋剤、試薬、殺ウイルス剤
67	1319-77-3	クレゾール	合成樹脂原料(半導体封止材料、ワニス)、合成原料(染料、農 薬、可塑剤)、消毒剤
68	—	クロム及び3価クロム化合物	ステンレス鋼、メッキ、スーパーアロイ(超硬合金)、顔料、皮な めし剤
69	—	6価クロム化合物	メッキ、顔料、触媒、金属表面処理剤
70	79-04-9	クロロアセチル=クロリド	合成原料(クロロアセチル化剤)
71	95-51-2	o-クロロアニリン	合成原料(医薬・農薬中間体)、架橋剤(樹脂用)
72	106-47-8	p-クロロアニリン	合成原料
73	108-42-9	m-クロロアニリン	合成原料(染料)
74	75-00-3	クロロエタン	合成原料(重合触媒、農薬、エチル化剤)、発泡剤(発泡ポリスチ レン等)
75	1912-24-9	2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミ ノ-1,3,5-トリアジン(別名アトラジン)	農薬(除草剤)
76	51218-45-2	2-クロロ-2'-エチル-N-(2-メトキシ-1-メチルエ チル)-6'-メチルアセトアニリド(別名メトラクロール)	農薬(除草剤)

## 第一種指定化学物質リスト

## 平成 22 年度までの届出対象物質

政令 番号	CAS番号	名称 (和文)	用途
77	75-01-4	クロロエチレン(別名塩化ビニル)	合成樹脂原料(ポリ塩化ビニル樹脂、塩化ビニル-酢酸ビニル 共重合樹脂、塩化ビニル-塩化ビニリデン共重合樹脂)
78	79622-59-6	3-クロロ-N-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル -2-ピリジル)- $\alpha,\alpha,\alpha$ -トリフルオロ-2,6-ジニ ト- <i>p</i> -トルイジン(別名フルアジナム)	農業(殺菌剤)
79	119446-68-3	1-({2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フ エニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル] メチル}-1 <i>H</i> -1,2,4-トリアゾール(別名ジフェノコ ナゾール)	農業(殺虫剤)
80	79-11-8	クロロ酢酸	合成原料(マロン酸、アミノ酸、香料、医薬品、除草剤、可塑剤)
81	51218-49-6	2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエ チル)アセトアニリド(別名プレチラクロール)	農業(除草剤)
82	15972-60-8	2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメチル) アセトアニリド(別名アラクロール)	農業(除草剤)
83	97-00-7	1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン	合成原料(染料)
84	75-68-3	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(別名HCFC- 142b)	フルオロカーボン(冷媒、発泡剤、噴射剤)
85	75-45-6	クロロジフルオロメタン(別名HCFC-22)	フルオロカーボン(冷媒、発泡剤、噴射剤)
86	2837-89-0	2-クロロ-1,1,1,2-テトラフルオロエタン(別名 HCFC-124)	フルオロカーボン(冷媒)
87	—	クロロトリフルオロエタン(別名HCFC-133)	フルオロカーボン(冷媒、合成原料)
88	75-72-9	クロロトリフルオロメタン(別名CFC-13)	フルオロカーボン(冷媒、エッチング剤、合成原料)
89	95-49-8	o-クロロトルエン	合成原料(染料、農業、医薬品)
90	122-34-9	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-1,3,5-トリ アジン(別名シマジン又はCAT)	農業(除草剤)
91	107-05-1	3-クロロプロペン(別名塩化アリル)	合成原料(アリル誘導体化合物、香料、農業、医薬品)
92	86598-92-7	4-クロロベンジル=N-(2,4-ジクロロフェニル)- 2-(1 <i>H</i> -1,2,4-トリアゾール-1-イル)チオアセ イミダート(別名イミベンコナゾール)	農業(殺菌剤)
93	108-90-7	クロロベンゼン	合成原料(染料、香料、医薬品、農業)
94	76-15-3	クロロペンタフルオロエタン(別名CFC-115)	フルオロカーボン(冷媒)
95	67-66-3	クロロホルム	合成原料(代替フロン、フッ素樹脂)、医薬品(麻酔剤、消毒剤、 血液防腐剤)、溶剤(ゴム・メチルセルロース用)
96	74-87-3	クロロメタン(別名塩化メチル)	合成原料(シリコン樹脂、ブチルゴム)、溶剤(医薬品製造用、 農業製造用)、発泡剤(発泡ポリスチレン用)
97	94-74-6	(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)酢酸(別名MCP 又は MCPA)	農業(除草剤)
98	96491-05-3	2-クロロ-N-(3-メトキシ-2-チエニル)-2',6'- ジメチルアセトアニリド(別名テニルクロール)	農業(除草剤)
99	1314-62-1	五酸化バナジウム	触媒、特殊鋼、合成原料(バナジウム化合物)
100	—	コバルト及びその化合物	特殊鋼、磁性材料、触媒
101	111-15-9	酢酸2-エトキシエチル(別名エチレングリコールモノ エチルエーテルアセテート)	溶剤(塗料、インキ)
102	108-05-4	酢酸ビニル	合成樹脂原料(ポリ酢酸ビニル、酢酸ビニル共重合樹脂、ポリ ビニルアルコール)
103	110-49-6	酢酸2-メトキシエチル(別名エチレングリコールモノ メチルエーテルアセテート)	溶剤(塗料、接着剤)
104	90-02-8	サリチルアルデヒド	試薬(Cu, Ni 等の検出用)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令番号	CAS番号	名称(和文)	用途
105	102851-06-9	$\alpha$ -シアノ-3-フェノキシベンジル=N-(2-クロロ- $\alpha,\alpha,\alpha$ -トリフルオロ-p-トリル)-D-バリナート(別名フルバリネート)	農業(殺虫剤)
106	51630-58-1	$\alpha$ -シアノ-3-フェノキシベンジル=2-(4-クロロフェニル)-3-メチルブチラート(別名フェンバレート)	農業(殺虫剤)
107	52315-07-8	$\alpha$ -シアノ-3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名シペルメトリン)	農業(殺虫剤)
108	—	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	メッキ助剤、写真材料
109	100-37-8	2-(ジエチルアミノ)エタノール	医薬品原料(抗ヒスタミン剤、抗マラリア剤、鎮痛剤)、防錆剤、合成原料(凝集剤)、溶剤(印刷インキ・アソ染料の緩性揮発剤)
110	28249-77-6	N,N-ジエチルチオカルバミン酸 S-4-クロロベンジル(別名チオベンカルブ又はベンチオカーブ)	農業(除草剤)
111	125306-83-4	N,N-ジエチル-3-(2,4,6-トリメチルフェニルスルホニル)-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド(別名カフェンストロール)	農業(除草剤)
112	56-23-5	四塩化炭素	合成原料(ホスゲン、農業(殺虫剤))、溶剤
113	123-91-1	1,4-ジオキサソ	溶剤(合成皮革、塗料、合成反応用)、分散剤
114	108-91-8	シクロヘキシルアミン	防錆剤、ゴム用薬品、清浄剤、染色助剤、酸素吸収剤、不凍液
115	95-33-0	N-シクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	加硫促進剤
116	107-06-2	1,2-ジクロロエタン	合成原料(塩化ビニル原料、エチレンジアミン、医薬品、農業(殺虫剤))、合成樹脂原料(ポリアミノ酸樹脂)、洗浄剤(フィルム用)、溶剤、くん蒸剤
117	75-35-4	1,1-ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン)	合成樹脂原料(ポリ塩化ビニリデン(食品包装用フィルム))
118	156-59-2	cis-1,2-ジクロロエチレン	1,1-ジクロロエチレン製造の副生成物
119	156-60-5	trans-1,2-ジクロロエチレン	洗浄剤の微量添加物
120	101-14-4	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	硬化剤(ウレタン樹脂・エポキシ樹脂・エポキシウレタン樹脂用)
121	75-71-8	ジクロロジフルオロメタン(別名CFC-12)	フルオロカーボン(冷媒、噴射剤、発泡剤)
122	23950-58-5	3,5-ジクロロ-N-(1,1-ジメチル-2-プロピニル)ベンズアミド(別名プロピザミド)	農業(除草剤)
123	—	ジクロロテトラフルオロエタン(別名CFC-114)	フルオロカーボン(噴射剤、発泡剤、合成原料)
124	306-83-2	2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン(別名HCFC-123)	フルオロカーボン(冷媒、洗浄剤、発泡剤)
125	106917-52-6	2',4'-ジクロロ- $\alpha,\alpha,\alpha$ -トリフルオロ-4'-ニトロ-m-トルエンスルホンアニリド(別名フルスルファミド)	農業(殺菌剤)
126	82692-44-2	2-[4-(2,4-ジクロロ-m-トルオイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリルオキシ]-4-メチルアセトフェノン(別名ベンゾフェナップ)	農業(除草剤)
127	3209-22-1	1,2-ジクロロ-3-ニトロベンゼン	合成原料
128	89-61-2	1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン	合成原料(染料、有機顔料)
129	330-54-1	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素(別名ジウロン又はDCMU)	農業(除草剤)
130	330-55-2	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素(別名リニユロン)	農業(除草剤)
131	94-75-7	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(別名2,4-D又は2,4-PA)	農業(除草剤)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令 番号	CAS番号	名称 (和文)	用途
132	1717-00-6	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(別名HCFC-141b)	フルオロカーボン(洗浄剤、発泡剤)
133	75-43-4	ジクロロフルオロメタン(別名HCFC-21)	フルオロカーボン(合成原料、冷媒)
134	96-23-1	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	架橋剤(セルロース系材料)、溶剤(プラスチック・合成樹脂用)、 合成原料
135	78-87-5	1,2-ジクロロプロパン	農薬(殺虫剤)、溶剤(合成樹脂用)、くん蒸剤
136	709-98-8	3',4'-ジクロロプロピオンアニリド(別名プロパニル 又は DCPA)	農薬(除草剤)
137	542-75-6	1,3-ジクロロプロベン(別名D-D)	農薬(殺虫剤)
138	91-94-1	3,3'-ジクロロベンジジン	合成原料(顔料)
139	95-50-1	o-ジクロロベンゼン	合成原料(染料、顔料、農薬、医薬品)、溶剤、洗浄剤(グリース 用)、その他(消毒剤、伝導熱媒体)
140	106-46-7	p-ジクロロベンゼン	合成原料(ジアミノベンゼン(染料、合成樹脂用)、農薬(殺虫 剤)、防臭剤)
141	71561-11-0	2-[4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル -5-ピラゾリルオキシ]アセトフェノン(別名ピラゾキ シフェン)	農薬(除草剤)
142	58011-68-0	4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5 -ピラゾリル=4-トルエンスルホナート(別名ピラゾ レート)	農薬(除草剤)
143	1194-65-6	2,6-ジクロロベンゾニトリル(別名ジクロベニル又は DBN)	農薬(除草剤)
144	—	ジクロロペンタフルオロプロパン(別名HCFC- 225)	フルオロカーボン(洗浄剤)
145	75-09-2	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)	洗浄剤(金属脱脂)、溶剤(重合用)、エアゾール噴射剤、インキ 成分、ペイント剥離剤
146	3347-22-6	2,3-ジシアノ-1,4-ジチアアントラキノン(別名ジ チアノン)	農薬(殺菌剤)
147	50512-35-1	1,3-ジチオラン-2-イリデンマロン酸ジイソプロ ピル(別名イソプロチオラン)	農薬(殺菌剤)
148	17109-49-8	ジチオリン酸O-エチル-S,S-ジフェニル(別名エデ イフェンホス又はEDDP)	農薬(殺菌剤)
149	640-15-3	ジチオリン酸S-2-(エチルチオ)エチル-O,O-ジメ チル(別名チオメトン)	農薬(殺虫剤)
150	35400-43-2	ジチオリン酸O-エチル-O-(4-メチルチオフェニ ル)-S-n-プロピル(別名スルプロホス)	農薬(殺虫剤)
151	298-04-4	ジチオリン酸O,O-ジエチル-S-(2-エチルチオエ チル)(別名エチルチオメトン又はジスルホトン)	農薬(殺虫剤)
152	2310-17-0	ジチオリン酸O,O-ジエチル-S-[(6-クロロ-2,3 -ジヒドロ-2-オキソベンゾキサゾリニル)メチル] (別名ホサロン)	農薬(殺虫剤)
153	34643-46-4	ジチオリン酸O-2,4-ジクロロフェニル-O-エチル -S-プロピル(別名プロチオホス)	農薬(殺虫剤)
154	950-37-8	ジチオリン酸S-(2,3-ジヒドロ-5-メトキシ-2- オキソ-1,3,4-チアジアゾール-3-イル)メチル- O,O-ジメチル(別名メチダチオン又はDMTP)	農薬(殺虫剤)
155	121-75-5	ジチオリン酸O,O-ジメチル-S-1,2-ビス(エトキ シカルボニル)エチル(別名マラソン又はマラチオン)	農薬(殺虫剤)
156	60-51-5	ジチオリン酸O,O-ジメチル-S-[(N-メチルカルバ モイル)メチル](別名ジメトエート)	農薬(殺虫剤)
157	25321-14-6	ジニトロトルエン	合成原料(2,4-トルエンジアミン、染料、火薬)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令 番号	CAS番号	名称 (和文)	用途
158	51-28-5	2,4-ジニトロフェノール	合成原料(黒色硫化染料)、試薬、防腐剤
159	122-39-4	ジフェニルアミン	合成原料(染料、医薬品)、安定剤(火薬・塩素系溶剤用)、有機ゴム薬品
160	102-81-8	2-(ジ-n-ブチルアミノ)エタノール	触媒(ポリウレタン合成)、繊維助剤、乳化剤
161	55285-14-8	N-ジブチルアミノチオ-N-メチルカルバミン酸 2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニ ル(別名カルボスルファン)	農薬(殺虫剤)
162	—	ジブロモテトラフルオロエタン(別名ハロン-2402)	ハロン(消火剤)
163	87-62-7	2,6-ジメチルアニリン	合成原料(染料、顔料)
164	95-64-7	3,4-ジメチルアニリン	合成原料(ビタミン B2 等)
165	62850-32-2	N,N-ジメチルチオカルバミン酸S-4-フェノキシブ チル(別名フェノチオカルブ)	農薬(殺虫剤)
166	1643-20-5	N,N-ジメチルデシルアミン=N-オキシド	洗浄剤(シャンプー、台所用洗剤)
167	52-68-6	ジメチル=2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチル ホスホナート(別名トリクロルホン又はDEP)	農薬(殺虫剤)
168	4685-14-7	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジニウム塩(次号に掲 げるものを除く。)	農薬(殺虫剤)
169	1910-42-5	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジニウム=ジクロリド (別名パラコート又はパラコートジクロリド)	農薬(除草剤)
170	85785-20-2	N-(1,2-ジメチルプロピル)-N-エチルチオカルバ ミン酸 S-ベンジル(別名エスプロカルブ)	農薬(除草剤)
171	119-93-7	3,3'-ジメチルベンジジン(別名o-トリジン)	合成原料(染料(ナフトールAS-G、トルイレンオレンジR、ベン ゾブルー-3B等))
172	68-12-2	N,N-ジメチルホルムアミド	溶剤(合成繊維、合成皮革、医薬品、色素用)、試薬(ホルミル化 剤)、ガス吸収剤
173	2597-03-7	2-[(ジメトキシホスフィノチオイル)チオ]-2-フェニ ル酢酸エチル(別名フェントエート又はPAP)	農薬(殺虫剤)
174	3861-47-0	3,5-ジヨード-4-オクタニルオキシベンゾニトリ ル(別名アイオキシニル)	農薬(除草剤)
175	—	水銀及びその化合物	蛍光灯、温度計、アマルガム、触媒
176	—	有機スズ化合物	殺菌剤
177	100-42-5	スチレン	合成樹脂原料(ポリスチレン樹脂、合成ゴム、AS樹脂、ABS樹 脂、不飽和ポリエステル樹脂、イオン交換樹脂)
178	—	セレン及びその化合物	ガラス着色剤、整流器、光電セル
179	—	ダイオキシン類	非意図的生成物
180	533-74-4	2-チオキソ-3,5-ジメチルテトラヒドロ-2H- 1,3,5-チアジアジン(別名ダゾメット)	農薬(土壌殺菌剤、除草剤)
181	62-56-6	チオ尿素	医薬品原料(チオウラシル、メチオニン等)、農薬(発芽ホルモ ン)、加工剤(繊維・紙・樹脂用)
182	108-98-5	チオフェノール	合成原料(医薬品、農薬)、安定剤(重合・酸化防止剤)、ゴム用素 練り促進剤
183	77458-01-6	チオリン酸O-1-(4-クロロフェニル)-4-ピラゾリ ル-O-エチル-S-プロピル(別名ピラクロホス)	農薬(殺虫剤)
184	2636-26-2	チオリン酸O-4-シアノフェニル-O,O-ジメチル (別名シアノホス又はCYAP)	農薬(殺虫剤)
185	333-41-5	チオリン酸O,O-ジエチル-O-(2-イソプロピル-6 -メチル-4-ピリミジニル)(別名ダイアジノン)	農薬(殺虫剤)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令 番号	CAS番号	名称(和文)	用途
186	119-12-0	チオりん酸 0,0-ジエチル-0-(6-オキソ-1-フェニル-1,6-ジヒドロ-3-ピリダジニル)(別名ピリダフェンチオン)	農業(殺虫剤)
187	13593-03-8	チオりん酸 0,0-ジエチル-0-2-キノキサリニル(別名キナルホス)	農業(殺虫剤)
188	2921-88-2	チオりん酸 0,0-ジエチル-0-(3,5,6-トリクロロ-2-ピリジリル)(別名クロルピリホス)	農業(殺虫剤)
189	18854-01-8	チオりん酸 0,0-ジエチル-0-(5-フェニル-3-インオキサリル)(別名インキサチオン)	農業(殺虫剤)
190	97-17-6	チオりん酸 0-2,4-ジクロロフェニル-0,0-ジエチル(別名ジクロロフェンチオン又はECP)	農業(殺虫剤)
191	2275-23-2	チオりん酸 0,0-ジメチル-S-[2-[1-(N-メチルカルバモイル)エチルチオ]エチル](別名バミドチオン)	農業(殺虫剤)
192	122-14-5	チオりん酸 0,0-ジメチル-0-(3-メチル-4-ニトロフェニル)(別名フェントロチオン又はMEP)	農業(殺虫剤)
193	55-38-9	チオりん酸 0,0-ジメチル-0-(3-メチル-4-メチルチオフェニル)(別名フェンチオン又はMPP)	農業(殺虫剤)
194	5598-13-0	チオりん酸 0-3,5,6-トリクロロ-2-ピリジリル-0,0-ジメチル(別名クロルピリホスメチル)	農業(殺虫剤)
195	41198-08-7	チオりん酸 0-4-プロモ-2-クロロフェニル-0-エチル-S-プロピル(別名プロフェノホス)	農業(殺虫剤)
196	26087-47-8	チオりん酸 S-ベンジル-0,0-ジイソプロピル(別名イプロベンホス又は IBP)	農業(殺菌剤)
197	1163-19-5	デカブロモジフェニルエーテル	難燃剤(ポリエチレン・ABS樹脂・ポリスチレン・ポリエステル樹脂用)
198	100-97-0	1,3,5,7-テトラアザトリシク[3.3.1.1.3.7]デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン)	硬化剤(熱硬化性樹脂)、加硫促進剤、その他(発泡剤、ホスゲンの吸収剤)
199	1897-45-6	テトラクロロイソフタロニトリル(別名クロロタロニル又は TPN)	農業(殺菌剤)
200	127-18-4	テトラクロロエチレン	溶剤(ドライクリーニング、医薬品、香料、塗料)、洗浄剤(原毛用)、合成原料(代替フロン)
201	—	テトラクロロジフルオロエタン(別名CFC-112)	フルオロカーボン(冷媒、洗浄剤、合成原料)
202	11070-44-3	テトラヒドロメチル無水フタル酸	合成樹脂原料(不飽和ポリエステル樹脂、アルキッド樹脂)、エポキシ樹脂用硬化剤
203	116-14-3	テトラフルオロエチレン	合成樹脂原料(フッ素樹脂)、合成原料(含フッ素化合物)
204	137-26-8	テトラメチルチウラムジスルフィド(別名チウラム又はチラム)	農業(殺虫剤)、加硫促進剤(チウラム系)
205	100-21-0	テレフタル酸	合成樹脂原料(ポリエステル系繊維・樹脂)
206	120-61-6	テレフタル酸ジメチル	合成樹脂原料(ポリエステル系繊維・樹脂)
207	—	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	メッキ、電池、顔料、触媒、皮なめし、農業、殺菌剤
208	75-87-6	トリクロロアセトアルデヒド	合成原料(染料、農業、医薬品)
209	71-55-6	1,1,1-トリクロロエタン	合成原料(代替フロン用)、試薬、溶剤、洗浄剤
210	79-00-5	1,1,2-トリクロロエタン	洗浄剤
211	79-01-6	トリクロロエチレン	溶剤(染料、生ゴム、硫黄、ピッチ、塗料)、洗浄剤(脱脂、原毛用)、合成原料(代替フロン)、農業(殺虫剤)
212	108-77-0	2,4,6-トリクロロ-1,3,5-トリアジン	合成原料(アゾ染料、アンスラキノロン染料、蛍光染料、合成樹脂、農業)、加硫促進剤
213	—	トリクロロトリフルオロエタン(別名CFC-113)	フルオロカーボン(洗浄剤、合成原料)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令番号	CAS番号	名称(和文)	用途
214	76-06-2	トリクロロニトロメタン(別名クロロピクリン)	農薬(殺虫剤)
215	115-32-2	2,2,2-トリクロロ-1,1-ビス(4-クロロフェニル)エタノール(別名ケルセン又はジコホル)	農薬(殺虫剤)
216	55335-06-3	(3,5,6-トリクロロ-2-ピリジル)オキシ酢酸(別名トリクロピル)	農薬(除草剤)
217	75-69-4	トリクロロフルオロメタン(別名CFC-11)	溶剤、合成原料(フッ素樹脂、医薬品)、フッ素系冷媒、血液防腐剤
218	2451-62-9	1,3,5-トリリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン	硬化剤(ポリエステル系)、エポキシ樹脂改質剤、安定剤(難燃プラスチック)、その他(エポキシ系樹脂の主剤)
219	118-96-7	2,4,6-トリニトロトルエン	炸薬、硝安爆薬用鋭感剤
220	1582-09-8	$\alpha,\alpha,\alpha$ -トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-p-トルイジン(別名トリフルラリン)	農薬(除草剤)
221	118-79-6	2,4,6-トリプロモフェノール	難燃剤(プラスチック、繊維)
222	75-25-2	トリプロモメタン(別名プロモホルム)	難燃剤、ゲージ剤
223	3452-97-9	3,5,5-トリメチル-1-ヘキサノール	合成原料(可塑剤、香料、溶剤、界面活性剤)
224	108-67-8	1,3,5-トリメチルベンゼン	合成原料(染料、紫外線安定剤、医薬品)、ガンリン成分、溶剤
225	95-53-4	o-トルイジン	合成原料(エポキシ樹脂硬化剤、染料等)、溶剤
226	106-49-0	p-トルイジン	合成原料、溶剤
227	108-88-3	トルエン	合成原料(合成繊維、染料、火薬(TNT)、香料、有機顔料、可塑剤、ガンリン成分、溶剤(塗料、インキ))
228	95-80-7	2,4-トルエンジアミン	合成樹脂原料(ポリウレタン樹脂)、合成原料(染料)
229	52570-16-8	2-(2-ナフチルオキシ)プロピオンアニリド(別名ナプロアニリド)	農薬(除草剤)
230	—	鉛及びその化合物	バッテリー、光学ガラス、顔料、塩化ビニル樹脂安定剤
231	7440-02-0	ニッケル	メッキ、磁性材料、ステンレス鋼、ニッケル鋼
232	—	ニッケル化合物	顔料、メッキ、電池
233	139-13-9	ニトリロ三酢酸	キレート化剤
234	100-01-6	p-ニトロアニリン	合成原料(染料:ダイレクトグリーンB、チアゾールエローR等、アゾ染料・アゾイック染料の合成中間体)
235	628-96-6	ニトログリコール	火薬
236	55-63-0	ニトログリセリン	ダイナマイトの基材、無煙火薬の主剤、医薬品
237	100-00-5	p-ニトロクロロベンゼン	合成原料(アゾ染料、硫化染料、p-アミノフェノール、p-アニジン)
238	86-30-6	N-ニトロソジフェニルアミン	スコーチ防止剤(ゴム薬品)
239	100-02-7	p-ニトロフェノール	合成原料(フェネチジン・アセトフェネチジンの合成中間体)、試薬(指示薬)、農薬(殺菌剤)
240	98-95-3	ニトロベンゼン	合成原料(アニリン、ベンジジン、キノリン、アゾベンゼン(染料、香料中間体))、溶剤(硝酸セルロース)、塵埃防止剤、酸化剤
241	75-15-0	二硫化炭素	溶剤(ビスコース人絹、セロハン)、合成原料(農薬、医薬品)、加硫促進剤、その他(浮遊選鉱剤、ゴム製造用添加剤)
242	25154-52-3	ノニルフェノール	合成原料(界面活性剤)、安定剤(エチルセルロース)、加硫促進剤、ゴム助剤
243	—	バリウム及びその水溶性化合物	紙加工剤、ガラス材料、顔料、電子材料、触媒、セラミックス原料
244	88-89-1	ピクリン酸	合成原料(クロロピクリン(農薬)、染料)、花火

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令 番号	CAS番号	名称(和文)	用途
245	1014-70-6	2,4-ビス(エチルアミノ)-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン(別名シメトリン)	農業(除草剤)
246	10380-28-6	ビス(8-キノリノラト)銅(別名オキシ銅又は有機銅)	農業(殺菌剤)
247	74115-24-5	3,6-ビス(2-クロロフェニル)-1,2,4,5-テトラジン(別名クロフェンチジン)	農業(殺虫剤)
248	563-12-2	ビス(ジチオりん酸)S,S'-メチレン-0,0,0',0'-テトラエチル(別名エチオン)	農業(殺虫剤)
249	137-30-4	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)亜鉛(別名ジラム)	農業(殺虫剤)、加硫促進剤(チウラム系)
250	64440-88-6	ビス(N,N-ジメチルジチオカルバミン酸)N,N'-エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛)(別名ポリカーバメート)	農業(殺菌剤)
251	61789-80-8	ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド	界面活性剤
252	—	砒素及びその無機化合物	殺虫剤、半導体、木材防腐・防蟻剤
253	302-01-2	ヒドラジン	清缶剤、合成原料(農業)、水処理剤、ロケット燃料、還元剤
254	123-31-9	ヒドロキノン	写真用材料(現像薬)、安定剤(重合防止剤)、合成原料(メーカ、染料)
255	100-40-3	4-ビニル-1-シクロヘキセン	合成原料(難燃剤、塗料)
256	100-69-6	2-ビニルピリジン	合成原料(タイヤコード接着剤、殺虫剤、殺菌剤)
257	55179-31-2	1-(4-ピフェニルオキシ)-3,3-ジメチル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)-2-ブタノール(別名ピテルタノール)	農業(殺菌剤)
258	110-85-0	ピペラジン	触媒(ウレタン用)、合成原料、試薬(アンチモン・ビスマス・金の検出試薬)
259	110-86-1	ピリジン	合成原料(医薬品(スルホンアミド剤、抗ヒスタミン剤)、界面活性剤、加硫促進剤、農業)、アルコールの変性剤
260	120-80-9	ピロカテコール(別名カテコール)	合成原料(医薬品、香料)、加硫剤、重合防止剤、その他(酸化抑制剤)
261	96-09-3	フェニルオキシラン	合成原料(フェニルエチルアルコール、フェニルアラニン、合成樹脂、香料)
262	95-54-5	o-フェニレンジアミン	合成原料(農業、医薬、ゴム薬、顔料)
263	106-50-3	p-フェニレンジアミン	合成原料(アゾ染料、白髪染め)、写真用材料(現像薬)
264	108-45-2	m-フェニレンジアミン	合成原料(アゾ染料、白髪染め)、その他(顔色剤)
265	156-43-4	p-フェネチジン	合成原料(染料)
266	108-95-2	フェノール	合成樹脂原料(フェノール樹脂)、合成原料(ピクリン酸、アニリン、ビスフェノール-A、農業、可塑剤、染料)、消毒剤、歯科用局所麻酔
267	52645-53-1	3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロビニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名ペルメトリン)	農業(殺虫剤)
268	106-99-0	1,3-ブタジエン	合成樹脂原料(合成ゴム(SBR、NBR)、ABS樹脂)、合成原料(ブタンジオール)
269	117-84-0	フタル酸ジ-n-オクチル	可塑剤
270	84-74-2	フタル酸ジ-n-ブチル	可塑剤
271	3648-21-3	フタル酸ジ-n-ヘプチル	可塑剤
272	117-81-7	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	可塑剤
273	85-68-7	フタル酸 n-ブチル=ベンジル	可塑剤

V

もっと知りたい時には

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令番号	CAS番号	名称(和文)	用途
274	69327-76-0	2-tert-ブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニルテトラヒドロ-4H-1,3,5-チアジアジン-4-オン(別名プロフェジン)	農業(殺虫剤)
275	112410-23-8	N-tert-ブチル-N'-(4-エチルベンゾイル)-3,5-ジメチルベンゾヒドラジド(別名テブフェノジド)	農業(殺虫剤)
276	17804-35-2	N-[1-(N-n-ブチルカルバモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル(別名ベノミル)	農業(殺菌剤)
277	122008-85-9	ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート(別名シハロホップブチル)	農業(除草剤)
278	134098-61-6	tert-ブチル=4-([(1,3-ジメチル-5-フェノキシ-4-ピラゾリル)メチリデン]アミノオキシメチル)ベンゾアート(別名フェンピロキシメート)	農業(殺虫剤)
279	2312-35-8	2-(4-tert-ブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2-プロピニル=スルフィット(別名プロバルギット又はBPPS)	農業(殺虫剤)
280	96489-71-3	2-tert-ブチル-5-(4-tert-ブチルベンジルチオ)-4-クロロ-3(2H)-ピリダジノン(別名ピリダベン)	農業(殺虫剤)
281	119168-77-3	N-(4-tert-ブチルベンジル)-4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド(別名テブフェンピラド)	農業(殺虫剤)
282	95-31-8	N-(tert-ブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド	加硫促進剤
283	—	ふっ化水素及びその水溶性塩	合成原料(フロン)、金属・ガラスの表面処理剤(エッチング剤)、半導体製造用エッチング剤
284	12071-83-9	N,N'-プロピレンビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合体(別名プロピネブ)	農業(殺菌剤)
285	353-59-3	ブromoclorodifluorometan(別名ハロン-1211)	ハロン(消火剤)
286	75-63-8	ブromotrifluorometan(別名ハロン-1301)	ハロン(消火剤、冷媒)
287	75-26-3	2-ブromopropan	合成原料(医薬、農業、感光剤)
288	74-83-9	ブromometan(別名臭化メチル)	合成原料、その他(食品・土壌くん蒸剤)
289	13356-08-6	ヘキサキス(2-メチル-2-フェニルプロピル)ジスタノキサン(別名酸化フェンブタス)	農業(殺虫剤)
290	115-28-6	1,4,5,6,7,7-ヘキサクロロビシクロ[2,2,1]-5-ヘプテン-2,3-ジカルボン酸(別名クロレント酸)	合成樹脂原料(不飽和ポリエステル樹脂)
291	115-29-7	6,7,8,9,10,10-ヘキサクロロ-1,5,5a,6,9,9a-ヘキサヒドロ-6,9-メタノ-2,4,3-ベンゾジオキサチエピン=3-オキシド(別名エンドスルファン又はベンゾエピン)	農業(殺虫剤)
292	124-09-4	ヘキサメチレンジアミン	合成樹脂原料(ポリアミド(ナイロン66)樹脂・染料、ポリウレタン)
293	822-06-0	ヘキサメチレン=ジイソシアネート	合成樹脂原料(塗料、接着剤、コーティング加工用樹脂)
294	—	ベリリウム及びその化合物	電子機器用パネ材、X線管、安全工具
295	98-07-7	ベンジリジンはトリクロリド	合成原料(医薬品、安定剤(老化防止剤)、染料、農業)、その他(紫外線吸収剤)
296	98-87-3	ベンジリデン=ジクロリド	合成原料
297	100-44-7	ベンジル=クロリド(別名塩化ベンジル)	合成原料(キノリンレッド、アリザリンエロー A:染料、合成樹脂、香料、ピロガロール、イソキノリン、ガンリン重合体生成防止剤)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令番号	CAS番号	名称(和文)	用途
298	100-52-7	ベンズアルデヒド	合成原料(安息香酸、香料、医薬品、染料)、加工剤(合成繊維助剤)
299	71-43-2	ベンゼン	合成原料(スチレン、フェノール、無水マレイン酸、染料、有機顔料、合成洗剤、医薬品、香料、合成繊維、農薬、可塑剤、防腐剤(PCP)、防虫剤)、溶剤、ガンソリン成分
300	552-30-7	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物	合成原料(水溶性塗料、エステル系耐熱性可塑剤、ポリアミド)、硬化剤(エポキシ樹脂)、加工剤(繊維処理剤)、安定剤
301	73250-68-7	2-(2-ベンゾチアゾリルオキシ)-N-メチルアセトアニリド(別名メフェナセト)	農薬(除草剤)
302	82-68-8	ペンタクロロニトロベンゼン(別名キントゼン又はPCNB)	農薬(殺菌剤)
303	87-86-5	ペンタクロロフェノール	農薬(防菌剤・防かび剤)
304	—	ほう素及びその化合物	電機、電子工業(液晶パネル、ドーピング剤)、脱酸剤、ガラス繊維用添加剤、消毒剤
305	75-44-5	ホスゲン	合成原料(染料、イソシアネート類、医薬品、可塑剤、ポリカーボネート樹脂、紫外線吸収剤)、加工剤(繊維処理剤)、農薬(除草剤)
306	1336-36-3	ポリ塩化ビフェニル(別名PCB)	熱媒体、コンデンサー油
307	—	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)	界面活性剤(乳化剤、可溶化剤、分散剤(洗浄剤、農薬、切削油、工業用エマルジョン、インキ、化粧品、医薬品))
308	9036-19-5	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル	界面活性剤(乳化剤、可溶化剤、分散剤(洗浄剤、農薬、切削油、工業用エマルジョン、インキ、化粧品、医薬品))
309	9016-45-9	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル	界面活性剤(乳化剤、可溶化剤、分散剤(洗浄剤、農薬、切削油、工業用エマルジョン、インキ、化粧品、医薬品))
310	50-00-0	ホルムアルデヒド	合成樹脂原料(フェノール系、尿素系、メラミン系合成樹脂、ポリアセタール樹脂)、パラホルムアルデヒド、繊維処理剤、その他(消毒剤、一般防腐剤)
311	—	マンガン及びその化合物	特殊鋼、電池、磁性材料、脱酸素剤、酸化剤
312	85-44-9	無水フタル酸	合成樹脂原料(不飽和ポリエステル樹脂)、合成原料(フタル酸系可塑剤(DOP、DBP)、フタルイミド、安息香酸)、ゴム薬品(スコーチ防止剤)
313	108-31-6	無水マレイン酸	合成樹脂原料(不飽和ポリエステル樹脂)、合成原料(テトラヒドロフラン、フマル酸、コハク酸、可塑剤(DOM))、その他(皮なめし剤)
314	79-41-4	メタクリル酸	合成樹脂原料(熱硬化性樹脂、接着剤、塗料)、加工剤(ラテックス改質剤、プラスチック改質剤、紙・繊維加工剤、皮革処理剤)
315	688-84-6	メタクリル酸2-エチルヘキシル	合成樹脂原料(塗料、被覆材料)、加工剤(繊維処理剤)、接着剤、その他(潤滑油添加剤、歯科材料、分散剤、内部可塑剤)
316	106-91-2	メタクリル酸2,3-エポキシプロピル	合成樹脂原料(熱硬化性樹脂、イオン交換樹脂)、加工剤(繊維処理剤、ゴム・樹脂の改質剤)、接着剤、帯電防止剤、安定剤(塩化ビニル)、印刷インキのバインダー
317	105-16-8	メタクリル酸2-(ジエチルアミノ)エチル	合成樹脂原料(塗料、イオン交換樹脂)、繊維処理剤、紙加工剤、安定剤(ゴム)、潤滑油添加剤
318	2867-47-2	メタクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル	合成樹脂原料(塗料、イオン交換樹脂)、繊維処理剤、加工剤(紙)、安定剤(ゴム)、潤滑油添加剤
319	97-88-1	メタクリル酸n-ブチル	合成樹脂原料(樹脂)、金属表面処理剤、加工剤(繊維処理剤、紙加工剤)、可塑剤(塗料内部可塑剤)、潤滑油添加剤
320	80-62-6	メタクリル酸メチル	合成樹脂原料(メタクリル樹脂、接着剤)
321	126-98-7	メタクリロニトリル	合成樹脂原料(樹脂)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令番号	CAS番号	名称(和文)	用途
322	89269-64-7	(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン(別名フェリムゾン)	農業(殺菌剤)
323	100-61-8	N-メチルアニリン	合成原料(染料、農業、医薬品)
324	556-61-6	メチル=イソチオシアネート	農業(殺虫剤)
325	2631-40-5	N-メチルカルバミン酸 2-イソプロピルフェニル(別名イソプロカルブ又はMIPC)	農業(殺虫剤)
326	114-26-1	N-メチルカルバミン酸2-イソプロポキシフェニル(別名プロポキスル又はPHC)	農業(殺虫剤)
327	1563-66-2	N-メチルカルバミン酸2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル(別名カルボフラン)	農業(殺虫剤)
328	2655-14-3	N-メチルカルバミン酸3,5-ジメチルフェニル(別名XMC)	農業(殺虫剤)
329	63-25-2	N-メチルカルバミン酸1-ナフチル(別名カルバリル又はNAC)	農業(殺虫剤)
330	3766-81-2	N-メチルカルバミン酸2-sec-ブチルフェニル(別名フェノブカルブ又はBPMC)	農業(殺虫剤)
331	100784-20-1	メチル=3-クロロ-5-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルカルバモイルスルファモイル)-1-メチルピラゾール-4-カルボキシラート(別名ハロスルフロメチル)	農業(除草剤)
332	33089-61-1	3-メチル-1,5-ジ(2,4-キシリル)-1,3,5-トリアザベンター-1,4-ジエン(別名アミトラス)	農業(殺虫剤)
333	144-54-7	N-メチルジチオカルバミン酸(別名カーバム)	農業(殺虫剤)
334	2439-01-2	6-メチル-1,3-ジチオ[4,5-b]キノキサリン-2-オン	農業(殺菌剤)
335	98-83-9	$\alpha$ -メチルスチレン	加工剤(樹脂改質剤)
336	108-99-6	3-メチルピリジン	合成原料(医薬品、農業、ゴム薬品、界面活性剤)、溶剤
337	61432-55-1	S-1-メチル-1-フェニルエチル=ピペリジン-1-カルボチオアート(別名ジメピペレート)	農業(除草剤)
338	26471-62-5	メチル-1,3-フェニレン=ジイソシアネート(別名m-トリレンジイソシアネート)	合成樹脂原料(ポリウレタン樹脂)
339	88-85-7	2-(1-メチルプロピル)-4,6-ジニトロフェノール	農業(除草剤)
340	101-77-9	4,4'-メチレンジアニリン	合成原料(染料)、合成樹脂原料(ポリウレタン樹脂)、硬化剤(エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂)
341	5124-30-1	メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソシアネート	合成樹脂原料(ポリウレタン樹脂)
342	88678-67-5	N-(6-メトキシ-2-ピリジル)-N-メチルチオカルバミン酸O-3-tert-ブチルフェニル(別名ピリブチカルブ)	農業(除草剤)
343	298-81-7	9-メトキシ-7H-フロ[3,2-g][1]ベンゾピラン-7-オン(別名メトキサレン)	医薬品
344	120-71-8	2-メトキシ-5-メチルアニリン	合成原料(アゾ染料:エオサミン B、コクシニン B 等)
345	68-11-1	メルカプト酢酸	安定剤(塩化ビニル・ゴム)、医薬中間体、加工剤(動物繊維)、脱毛剤、重金属の除去剤
346	—	モリブデン及びその化合物	特殊鋼、顔料、触媒
347	470-90-6	りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ビニル=ジエチル(別名クロルフェンビンホス又はCVP)	農業(殺虫剤)
348	2274-67-1	りん酸2-クロロ-1-(2,4-ジクロロフェニル)ビニル=ジメチル(別名ジメチルビンホス)	農業(殺虫剤)

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度までの届出対象物質

政令 番号	CAS番号	名 称 (和 文)	用 途
349	300-76-5	りん酸 1,2-ジブromo-2,2-ジクロロエチル=ジメチル(別名ナレド又は BRP)	農業(殺虫剤)
350	62-73-7	りん酸ジメチル=2,2-ジクロロビニル(別名ジクロロボス又は DDVP)	農業(殺虫剤)
351	6923-22-4	りん酸ジメチル=(E)-1-メチル-2-(N-メチルカルバモイル)ビニル(別名モノクロトホス)	農業(殺虫剤)
352	115-96-8	りん酸トリス(2-クロロエチル)	難燃剤(塩化ビニル・硬質ウレタンフォーム・ポリエステル・エポキシ樹脂用)
353	25155-23-1	りん酸トリス(ジメチルフェニル)	可塑剤、難燃剤
354	126-73-8	りん酸トリ-n-ブチル	触媒、安定剤(樹脂、繊維)、可塑剤、潤滑油添加剤、レザー用消泡剤

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度から排出量・移動量を把握、平成 23 年度から届け出る対象物質

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
1	—	亜鉛の水溶性化合物
2	79-06-1	アクリルアミド
3	140-88-5	アクリル酸エチル
4	—	アクリル酸及びその水溶性塩
5	2439-35-2	アクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル
6	818-61-1	アクリル酸2-ヒドロキシエチル
7	141-32-2	アクリル酸ノルマルブチル
8	96-33-3	アクリル酸メチル
9	107-13-1	アクリロニトリル
10	107-02-8	アクロレイン
11	26628-22-8	アジ化ナトリウム
12	75-07-0	アセトアルデヒド
13	75-05-8	アセトニトリル
14	75-86-5	アセトンシアノヒドリン
15	83-32-9	アセナフテン
16	78-67-1	2,2'-アゾビスイソブチロニトリル
17	90-04-0	オルト-アニシジン
18	62-53-3	アニリン
19	82-45-1	1-アミノ-9,10-アントラキノン
20	141-43-5	2-アミノエタノール
21	1698-60-8	5-アミノ-4-クロロ-2-フェニルピリダジン-3(2H)-オン(別名クロリダジン)
22	120068-37-3	5-アミノ-1-[2,6-ジクロロ-4-(トリフルオロメチル)フェニル]-3-シアノ-4-[(トリフルオロメチル)スルフィニル]ピラゾール(別名フィブロン)
23	123-30-8	パラ-アミノフェノール
24	591-27-5	メタ-アミノフェノール
25	21087-64-9	4-アミノ-6-ターシャリ-ブチル-3-メチルチオ-1,2,4-トリアジン-5(4H)-オン(別名メトリブジン)
26	107-11-9	3-アミノ-1-プロペン
27	41394-05-2	4-アミノ-3-メチル-6-フェニル-1,2,4-トリアジン-5(4H)-オン(別名メタミトロン)
28	107-18-6	アリルアルコール
29	106-92-3	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン
30	—	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。)
31	—	アンチモン及びその化合物
32	120-12-7	アントラセン
33	1332-21-4	石綿
34	4098-71-9	3-イソシアナトメチル-3,5,5-トリメチルシクロヘキサニル = イソシアネート
35	78-84-2	イソブチルアルデヒド
36	78-79-5	イソブレン
37	80-05-7	4,4'-イソプロピリデンジフェノール(別名ビスフェノールA)
38	4162-45-2	2,2'-(イソプロピリデンビス[(2,6-ジプロモ-4,1-フェニレン)オキシ])ジエタノール
39	22224-92-6	N-イソプロピルアミノホスホン酸O-エチル-O-(3-メチル-4-メチルチオフェニル)(別名フェナミホス)

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
40	149877-41-8	イソプロピル=2-(4-メトキシフェニル-3-イル)ヒドラジノホルマート(別名ピフェナゼート)
41	66332-96-5	3'-イソプロポキシ-2-トリフルオロメチルベンズアニリド(別名フルトラニル)
42	96-45-7	2-イミダゾリジンチオン
43	13516-27-3	1,1'-[イミノジ(オクタメチレン)]ジグアニジン(別名イミノクタジン)
44	—	インジウム及びその化合物
45	75-08-1	エタンチオール
46	76578-14-8	エチル=2-[4-(6-クロロ-2-キノキサリニルオキシ)フェノキシ]プロピオナート(別名キザロホップエチル)
47	36335-67-8	O-エチル=O-(6-ニトロ-メタトリル)=セカンダリ-ブチルホスホルアミドチオアート(別名ブタミホス)
48	2104-64-5	O-エチル=O-4-ニトロフェニル=フェニルホスホチオアート(別名EPN)
49	40487-42-1	N-(1-エチルプロピル)-2,6-ジニトロ-3,4-キシリジン(別名ペンディメタリン)
50	2212-67-1	S-エチル=ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カルボチオアート(別名モリネート)
51	149-57-5	2-エチルヘキサ酸
52	83130-01-2	エチル=(Z)-3-[N-ベンジル-N-[[メチル(1-メチルチオエチリデンアミノ)オキシカルボニル]アミノ]チオ]プロピオナート(別名アラニカルブ)
53	100-41-4	エチルベンゼン
54	98886-44-3	O-エチル=S-1-メチルプロピル=(2-オキシ-3-チアゾリジニル)ホスホチオアート(別名ホスチアゼート)
55	151-56-4	エチレンジアミン
56	75-21-8	エチレンオキシド
57	110-80-5	エチレングリコールモノエチルエーテル
58	109-86-4	エチレングリコールモノメチルエーテル
59	107-15-3	エチレンジアミン
60	60-00-4	エチレンジアミン四酢酸
61	12427-38-2	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガ(別名マンネブ)
62	8018-01-7	N,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)マンガとN,N'-エチレンビス(ジチオカルバミン酸)亜鉛の錯化合物(別名マンコゼブ又はマンゼブ)
63	85-00-7	1,1'-エチレン-2,2'-ビピリジニウム=ジプロミド(別名ジクアトジプロミド又はジクワット)
64	80844-07-1	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル(別名エトフェンブロックス)
65	106-89-8	エピクロヒドリン
66	106-88-7	1,2-エポキシブタン
67	556-52-5	2,3-エポキシ-1-プロパノール
68	75-56-9	1,2-エポキシプロパン(別名酸化プロピレン)
69	122-60-1	2,3-エポキシプロピル=フェニルエーテル
70	155569-91-8	エマメクチン安息香酸塩(別名エマメクチンB1a安息香酸塩及びエマメクチンB1b安息香酸塩の混合物)
71	7705-08-0	塩化第二鉄

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度から排出量・移動量を把握、平成 23 年度から届け出る対象物質

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
72	85535-84-8	塩化パラフィン(炭素数が10から13までのもの及びその混合物に限る。)
73	111-87-5	1-オクタノール
74	1806-26-4	パラ-オクチルフェノール
75	—	カドミウム及びその化合物
76	105-60-2	イブシロン-カプロラクタム
77	156-62-7	カルシウムシアナミド
78	105-67-9	2,4-キシレノール
79	576-26-1	2,6-キシレノール
80	1330-20-7	キシレン
81	91-22-5	キノリン
82	—	銀及びその水溶性化合物
83	98-82-8	クメン
84	107-22-2	グリオキサール
85	111-30-8	グルタルアルデヒド
86	1319-77-3	クレゾール
87	—	クロム及び3価クロム化合物
88	—	6価クロム化合物
89	95-51-2 106-47-8 108-42-9	クロロアニリン
90	1912-24-9	2-クロロ-4-エチルアミノ-6-イソプロピルアミノ-1,3,5-トリアジン(別名アトランジン)
91	21725-46-2	2-(4-クロロ-6-エチルアミノ-1,3,5-トリアジン-2-イル)アミノ-2-メチルプロピオニトリル(別名シアナジン)
92	129558-76-5	4-クロロ-3-エチル-1-メチル-N-[4-(パラトリルオキシ)ベンジル]ピラゾール-5-カルボキサミド(別名トルフェンピラド)
93	51218-45-2	2-クロロ-2'-エチル-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)-6'-メチルアセトアニリド(別名メトラクロール)
94	75-01-4	クロロエチレン(別名塩化ビニル)
95	79622-59-6	3-クロロ-N-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジル)-アルファ,アルファ,アルファ-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-パラトルイジン(別名フルアジナム)
96	119446-68-3	1-[[2-[2-クロロ-4-(4-クロロフェノキシ)フェニル]-4-メチル-1,3-ジオキソラン-2-イル]メチル]-1H-1,2,4-トリアゾール(別名ジフェノコナゾール)
97	611-19-8	1-クロロ-2-(クロロメチル)ベンゼン
98	79-11-8	クロロ酢酸
99	105-39-5	クロロ酢酸エチル
100	51218-49-6	2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(2-プロポキシエチル)アセトアニリド(別名プレチラクロール)
101	15972-60-8	2-クロロ-2',6'-ジエチル-N-(メトキシメチル)アセトアニリド(別名アラクロール)
102	97-00-7	1-クロロ-2,4-ジニトロベンゼン
103	75-68-3	1-クロロ-1,1-ジフルオロエタン(別名HCFC-142b)
104	75-45-6	クロロジフルオロメタン(別名 HCFC-22)
105	2837-89-0	2-クロロ-1,1,1,2-テトラフルオロエタン(別名HCFC-124)

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
106	—	クロロトリフルオロエタン(別名HCFC-133)
107	75-72-9	クロロトリフルオロメタン(別名CFC-13)
108	7085-19-0 93-65-2	(RS)-2-(4-クロロ-オルトトリルオキシ)プロピオン酸(別名メコプロップ)
109	95-49-8	オルト-クロロトルエン
110	106-43-4	パラ-クロロトルエン
111	121-87-9	2-クロロ-4-ニトロアニリン
112	88-73-3	2-クロロニトロベンゼン
113	122-34-9	2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-1,3,5-トリアジン(別名シマジン又はCAT)
114	133220-30-1	(RS)-2-[2-(3-クロロフェニル)-2,3-エポキシプロピル]1-2-エチルインドアン-1,3-ジオン(別名インダノファン)
115	158237-07-1	4-(2-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-N-エチル-4,5-ジヒドロ-5-オキソ-1H-テトラゾール-1-カルボキサミド(別名フェントラザミド)
116	78587-05-0	(4RS,5RS)-5-(4-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-4-メチル-2-オキソ-1,3-チアゾリジン-3-カルボキサミド(別名ヘキシチアゾクス)
117	107534-96-3	(RS)-1-パラ-クロロフェニル-4,4-ジメチル-3-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)ペンタン-3-オール(別名テブコナゾール)
118	88671-89-0	2-(4-クロロフェニル)-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)ヘキサニトリル(別名マイクロプタニル)
119	114369-43-6	(RS)-4-(4-クロロフェニル)-2-フェニル-2-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イルメチル)プチロニトリル(別名フェンブコナゾール)
120	95-57-8	オルト-クロロフェノール
121	106-48-9	パラ-クロロフェノール
122	598-78-7	2-クロロプロピオン酸
123	107-05-1	3-クロロプロベン(別名塩化アリル)
124	99485-76-4	1-(2-クロロベンジル)-3-(1-メチル-1-フェニルエチル)ウレア(別名クミルロン)
125	108-90-7	クロロベンゼン
126	76-15-3	クロロペンタフルオロエタン(別名CFC-115)
127	67-66-3	クロロホルム
128	74-87-3	クロロメタン(別名塩化メチル)
129	59-50-7	4-クロロ-3-メチルフェノール
130	94-74-6	(4-クロロ-2-メチルフェノキシ)酢酸(別名MCP又はMCPC)
131	563-47-3	3-クロロ-2-メチル-1-プロペン
132	—	コバルト及びその化合物
133	111-15-9	酢酸 2-エトキシエチル(別名エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート)
134	108-05-4	酢酸ビニル
135	110-49-6	酢酸2-メトキシエチル(別名エチレングリコールモノメチルエーテルアセテート)
136	90-02-8	サリチルアルデヒド
137	420-04-2	シアナミド

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度から排出量・移動量を把握、平成 23 年度から届け出る対象物質

政令 番号	CAS番号	名称(和文)	政令 番号	CAS番号	名称(和文)
138	139920-32-4	(RS)-2-シアノ-N-[(R)-1-(2,4-ジクロロフェニル)エチル]-3,3-ジメチルブチラミド(別名ジクロシメット)	168	36734-19-7	3-(3,5-ジクロロフェニル)-N-イソプロピル-2,4-ジオキソイミダゾリジン-1-カルボキサミド(別名イプロジオン)
139	66841-25-6	(S)-アルファ-シアノ-3-フェノキシベンジル=(1R,3S)-2,2-ジメチル-3-(1,2,2,2-テトラプロモエチル)シクロプロパンカルボキシラート(別名トロメトリン)	169	330-54-1	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素(別名ジウロン又は DCMU)
140	39515-41-8	(RS)-アルファ-シアノ-3-フェノキシベンジル=2,2,3,3-テトラメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名フェンプロパトリン)	170	112281-77-3	(RS)-2-(2,4-ジクロロフェニル)-3-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)プロピル=1,1,2,2-テトラフルオロエチル=エーテル(別名テトラコナゾール)
141	57966-95-7	トランス-1-(2-シアノ-2-メトキシイミノアセチル)-3-エチルウレア(別名シモキサニル)	171	60207-90-1	(2RS,4RS)-1-[2-(2,4-ジクロロフェニル)-4-プロピル-1,3-ジオキサラン-2-イルメチル]-1H-1,2,4-トリアゾール及び(2RS,4SR)-1-[2-(2,4-ジクロロフェニル)-4-プロピル-1,3-ジオキサラン-2-イルメチル]-1H-1,2,4-トリアゾールの混合物(別名プロピコナゾール)
142	615-05-4	2,4-ジアミノアニソール	172	153197-14-9	3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジン-4-オン(別名オキサジクロメホン)
143	101-80-4	4,4'-ジアミノジフェニルエーテル	173	50471-44-8	(RS)-3-(3,5-ジクロロフェニル)-5-メチル-5-ビニル-1,3-オキサゾリジン-2,4-ジオン(別名ピンクロソリン)
144	—	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩を除く。)	174	330-55-2	3-(3,4-ジクロロフェニル)-1-メトキシ-1-メチル尿素(別名リニユロン)
145	100-37-8	2-(ジエチルアミノ)エタノール	175	94-75-7	2,4-ジクロロフェノキシ酢酸(別名2,4-D又は 2,4-PA)
146	29232-93-7	O-2-ジエチルアミノ-6-メチルピリミジン-4-イル=O,0-ジメチル=ホス ホロチオアート(別名ピリミホスメチル)	176	1717-00-6	1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン(別名 HCFC-141b)
147	28249-77-6	N,N-ジエチルチオカルバミン酸S-4-クロロベンジル(別名チオベンカルブ又はベンチオカーブ)	177	75-43-4	ジクロロフルオロメタン(別名 HCFC-21)
148	125306-83-4	N,N-ジエチル-3-(2,4,6-トリメチルフェニルスルホニル)-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド(別名カフェンストール)	178	78-87-5	1,2-ジクロロプロパン
149	56-23-5	四塩化炭素	179	542-75-6	1,3-ジクロロプロペン(別名D-D)
150	123-91-1	1,4-ジオキサソ	180	91-94-1	3,3'-ジクロロベンジジン
151	646-06-0	1,3-ジオキサソラン	181	95-50-1 106-46-7	ジクロロベンゼン
152	15263-53-3	1,3-ジカルバモイルチオ-2-(N,N-ジメチルアミノ)-プロパン(別名カルタップ)	182	71561-11-0	2-[4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリルオキシ]アセトフェノン(別名ピラゾキシフェン)
153	7696-12-0	シクロヘキサ-1-エン-1,2-ジカルボキシミドメチル=(1RS)-シス-トランス-2,2-ジメチル-3-(2-メチルプロパー-1-エニル)シクロプロパンカルボキシラート(別名テトラメトリン)	183	58011-68-0	4-(2,4-ジクロロベンゾイル)-1,3-ジメチル-5-ピラゾリル=4-トルエンスルホナート(別名ピラゾレート)
154	108-91-8	シクロヘキシルアミン	184	1194-65-6	2,6-ジクロロベンゾニトリル(別名ジクロペニル又はDBN)
155	17796-82-6	N-(シクロヘキシルチオ)フタルイミド	185	—	ジクロロペンタフルオロプロパン(別名 HCFC-225)
156	27134-27-6	ジクロロアニリン	186	75-09-2	ジクロロメタン(別名塩化メチレン)
157	107-06-2	1,2-ジクロロエタン	187	3347-22-6	2,3-ジシアノ-1,4-ジチアアントラキノ(別名ジチアノン)
158	75-35-4	1,1-ジクロロエチレン(別名塩化ビニリデン)	188	101-83-7	N,N-ジシクロヘキシルアミン
159	156-59-2	シス-1,2-ジクロロエチレン	189	4979-32-2	N,N-ジシクロヘキシル-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド
160	101-14-4	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	190	77-73-6	ジシクロペンタジエン
161	75-71-8	ジクロロジフルオロメタン(別名CFC-12)	191	50512-35-1	1,3-ジチオラン-2-イリデンマロン酸ジイソプロピル(別名イソプロチオラン)
162	23950-58-5	3,5-ジクロロ-N-(1,1-ジメチル-2-プロピニル)ベンズアミド(別名プロピザミド)	192	17109-49-8	ジチオリン酸O-エチル-S,S-ジフェニル(別名エディフェンホス又は EDDP)
163	—	ジクロロテトラフルオロエタン(別名CFC-114)	193	298-04-4	ジチオリン酸O,0-ジエチル-S-(2-エチルチオエチル)(別名エチルチオメトン又はジスルホトン)
164	306-83-2	2,2-ジクロロ-1,1,1-トリフルオロエタン(別名HCFC-123)			
165	95-73-8	2,4-ジクロロトルエン			
166	99-54-7	1,2-ジクロロ-4-ニトロベンゼン			
167	89-61-2	1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン			

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度から排出量・移動量を把握、平成 23 年度から届け出る対象物質

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
194	2310-17-0	ジチオリン酸O,0-ジエチル-S-[(6-クロロ-2,3-ジヒドロ-2-オキソペンゾキサンリニル)メチル](別名ホサロン)
195	34643-46-4	ジチオリン酸O-2,4-ジクロロフェニル-O-エチル-S-プロピル(別名プロチオホス)
196	950-37-8	ジチオリン酸S-(2,3-ジヒドロ-5-メトキシ-2-オキソ-1,3,4-チアジアゾール-3-イル)メチル-O,0-ジメチル(別名メチダチオン又は DMTP)
197	121-75-5	ジチオリン酸O,0-ジメチル-S-1,2-ビス(エトキシカルボニル)エチル(別名マラン又はマラチオン)
198	60-51-5	ジチオリン酸O,0-ジメチル-S-[(N-メチルカルバモイル)メチル](別名ジメトエート)
199	16090-02-1	ジナトリウム=2,2'-ビニレンビス[5-(4-モルホリノ-6-アミノ-1,3,5-トリアジン-2-イルアミノ)ベンゼンスルホナート](別名Clフルオレスセント260)
200	25321-14-6	ジニトロトルエン
201	51-28-5	2,4-ジニトロフェノール
202	1321-74-0	ジビニルベンゼン
203	122-39-4	ジフェニルアミン
204	101-84-8	ジフェニルエーテル
205	102-06-7	1,3-ジフェニルグアニジン
206	55285-14-8	N-ジブチルアミノチオ-N-メチルカルバミン酸 2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル(別名カルボスルファン)
207	128-37-0	2,6-ジターシャリーブチル-4-クレゾール(別名BHT)
208	96-76-4	2,4-ジターシャリーブチルフェノール
209	124-48-1	ジプロモクロロメタン
210	10222-01-2	2,2-ジプロモ-2-シアノアセトアミド(別名DBNPA)
211	—	ジプロモテトラフルオロエタン(別名ハロン-2402)
212	30560-19-1	(RS)-O,S-ジメチル=アセチルホスホルアミドチオアート(別名アセフェート)
213	127-19-5	N,N-ジメチルアセトアミド
214	95-68-1	2,4-ジメチルアニリン
215	87-62-7	2,6-ジメチルアニリン
216	121-69-7	N,N-ジメチルアニリン
217	31895-21-3	5-ジメチルアミノ-1,2,3-トリチアン(別名チオシクラム)
218	124-40-3	ジメチルアミン
219	624-92-0	ジメチルジスルフィド
220	—	ジメチルジチオカルバミン酸の水溶性塩
221	82560-54-1	2,2-ジメチル-2,3-ジヒドロ-1-ベンゾフラン-7-イル=N-[N-(2-エトキシカルボニルエチル)-N-インプロピルスルフェナモイル]-N-メチルカルバマート(別名ベンフラカルブ)
222	62850-32-2	N,N-ジメチルチオカルバミン酸S-4-フェノキシブチル(別名フェノチオカルブ)
223	112-18-5	N,N-ジメチルDデシルアミン
224	1643-20-5	N,N-ジメチルDデシルアミン=N-オキシド

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
225	52-68-6	ジメチル=2,2,2-トリクロロ-1-ヒドロキシエチルホスホナート(別名トリクロルホン又はDEP)
226	57-14-7	1,1-ジメチルヒドラジン
227	1910-42-5	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジニウム=ジクロリド(別名パラコート又はパラコートジクロリド)
228	91-97-4	3,3'-ジメチルビフェニル-4,4'-ジイル=ジイソシアネート
229	23564-05-8	ジメチル=4,4'-(オルトフェニレン)ビス(3-チオアロファナート)(別名チオファネートメチル)
230	793-24-8	N-(1,3-ジメチルブチル)-N'-フェニル-パラフェニレンジアミン
231	119-93-7	3,3'-ジメチルベンジジン(別名オルトトリジン)
232	68-12-2	N,N-ジメチルホルムアミド
233	2597-03-7	2-[[ジメチルホスフィノチオイル]チオ]-2-フェニル酢酸エチル(別名フェントエート又はPAP)
234	7726-95-6	臭素
235	—	臭素酸の水溶性塩
236	3861-47-0	3,5-ジヨード-4-オクタノイルオキシベンゾニトリル(別名アイオキシニル)
237	—	水銀及びその化合物
238	61788-32-7	水素化テルフェニル
239	—	有機スズ化合物
240	100-42-5	スチレン
241	4016-24-4	2-スルホヘキサデカン酸-1-メチルエステルナトリウム塩
242	—	セレン及びその化合物
243	—	ダイオキシン類
244	533-74-4	2-チオキソ-3,5-ジメチルテトラヒドロ-2H-1,3,5-チアジアジン(別名ダソメット)
245	62-56-6	チオ尿素
246	108-98-5	チオフェノール
247	77458-01-6	チオリン酸O-1-(4-クロロフェニル)-4-ピラゾリル-O-エチル-S-プロピル(別名ピラクロホス)
248	333-41-5	チオリン酸O,0-ジエチル-O-(2-インプロピル-6-メチル-4-ピリミジニル)(別名ダイアジノン)
249	2921-88-2	チオリン酸O,0-ジエチル-O-(3,5,6-トリクロロ-2-ピリジニル)(別名クロルピリホス)
250	18854-01-8	チオリン酸O,0-ジエチル-O-(5-フェニル-3-イソキサゾリル)(別名イソキサチオン)
251	122-14-5	チオリン酸O,0-ジメチル-O-(3-メチル-4-ニトロフェニル)(別名フェントロチオン又はMEP)
252	55-38-9	チオリン酸O,0-ジメチル-O-(3-メチル-4-メチルチオフェニル)(別名フェンチオン又はMPP)
253	41198-08-7	チオリン酸O-4-プロモ-2-クロロフェニル-O-エチル-S-プロピル(別名プロフェノホス)
254	26087-47-8	チオリン酸S-ベンジル-O,0-ジイソプロピル(別名イプロベンホス又は IBP)
255	1163-19-5	デカプロモジフェニルエーテル

## 第一種指定化学物質リスト

平成22年度から排出量・移動量を把握、平成23年度から届け出る対象物質

政令番号	CAS番号	名称(和文)
256	334-48-5	デカン酸
257	112-30-1 25339-17-7	デシラルコール(別名デカノール)
258	100-97-0	1,3,5,7-テトラアザトリシクロ[3.3.1.1(3.7)]デカン(別名ヘキサメチレンテトラミン)
259	97-77-8	テトラエチルチウラムジスルフィド(別名ジスルフィラム)
260	1897-45-6	テトラクロロイソフタロニトリル(別名クロロタクロニル又は TPN)
261	27355-22-2	4,5,6,7-テトラクロロイソベンゾフラン-1(3H)-オン(別名フサライド)
262	127-18-4	テトラクロロエチレン
263	—	テトラクロロジフルオロエタン(別名CFC-112)
264	118-75-2	2,3,5,6-テトラクロロ-パラ-ベンゾキノ
265	11070-44-3	テトラヒドロメチル無水フタル酸
266	79538-32-2	2,3,5,6-テトラフルオロ-4-メチルベンジル=(Z)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロ-1-プロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名テフルトリン)
267	59669-26-0	3,7,9,13-テトラメチル-5,11-ジオキサ-2,8,14-トリチア-4,7,9,12-テトラアザペンタデカ-3,12-ジエン-6,10-ジオン(別名チオジカルブ)
268	137-26-8	テトラメチルチウラムジスルフィド(別名チウラム又はチラム)
269	505-32-8	3,7,11,15-テトラメチルヘキサデカ-1-エン-3-オール(別名インソイトール)
270	100-21-0	テレフタル酸
271	120-61-6	テレフタル酸ジメチル
272	—	銅水溶性塩(錯塩を除く。)
273	112-53-8	1-ドデカノール(別名ノルマルドデシラルコール)
274	25103-58-6	ターシャリドデカンチオール
275	151-21-3	ドデシル硫酸ナトリウム
276	112-57-2	3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン(別名テトラエチレンペンタミン)
277	121-44-8	トリエチルアミン
278	112-24-3	トリエチレンテトラミン
279	71-55-6	1,1,1-トリクロロエタン
280	79-00-5	1,1,2-トリクロロエタン
281	79-01-6	トリクロロエチレン
282	76-03-9	トリクロロ酢酸
283	108-77-0	2,4,6-トリクロロ-1,3,5-トリアジン
284	—	トリクロロトリフルオロエタン(別名CFC-113)
285	76-06-2	トリクロロニトロメタン(別名クロロピクリン)
286	55335-06-3	(3,5,6-トリクロロ-2-ピリジル)オキシ酢酸(別名トリクロピル)
287	88-06-2	2,4,6-トリクロロフェノール
288	75-69-4	トリクロロフルオロメタン(別名CFC-11)
289	96-18-4	1,2,3-トリクロロプロパン
290	12002-48-1	トリクロロベンゼン

政令番号	CAS番号	名称(和文)
291	2451-62-9	1,3,5-トリス(2,3-エポキシプロピル)-1,3,5-トリアジン-2,4,6(1H,3H,5H)-トリオン
292	102-82-9	トリプチルアミン
293	1582-09-8	アルファ,アルファ,アルファ-トリフルオロ-2,6-ジニトロ-N,N-ジプロピル-パラ-トルイジン(別名トリフルラリン)
294	118-79-6	2,4,6-トリプロモフェノール
295	3452-97-9	3,5,5-トリメチル-1-ヘキサノール
296	95-63-6	1,2,4-トリメチルベンゼン
297	108-67-8	1,3,5-トリメチルベンゼン
298	26471-62-5	トリレンジイソシアネート
299	95-53-4 106-49-0	トルイジン
300	108-88-3	トルエン
301	25376-45-8	トルエンジアミン
302	91-20-3	ナフタレン
303	3173-72-6	1,5-ナフタレンジイリ=ジイソシアネート
304	7439-92-1	鉛
305	—	鉛化合物
306	13048-33-4	二アクリル酸ヘキサメチレン(別名HDDA)
307	7699-43-6	二塩酸化ジルコニウム
308	7440-02-0	ニッケル
309	—	ニッケル化合物
310	139-13-9	ニトリロ三酢酸
311	91-23-6	オルト-ニトロアニソール
312	88-74-4	オルト-ニトロアニリン
313	55-63-0	ニトログリセリン
314	100-00-5	パラ-ニトロクロロベンゼン
315	88-72-2	オルト-ニトロトルエン
316	98-95-3	ニトロベンゼン
317	75-52-5	ニトロメタン
318	75-15-0	二硫化炭素
319	143-08-8	1-ノナノール(別名ノルマルノニルアルコール)
320	25154-52-3	ノニルフェノール
321	—	バナジウム化合物
322	3618-72-2	5'-[N,N-ビス(2-アセチルオキシエチル)アミノ]-2'-(2-プロモ-4,6-ジニトロフェニルアゾ)-4'-メトキシアセトアニリド
323	1014-70-6	2,4-ビス(エチルアミノ)-6-メチルチオ-1,3,5-トリアジン(別名シメトリン)
324	101-90-6	1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼン
325	10380-28-6	ビス(8-キノリノラト)銅(別名オキシ銅又は有機銅)
326	74115-24-5	3,6-ビス(2-クロロフェニル)-1,2,4,5-テトラジン(別名クロフェンチジン)
327	782-74-1	1,2-ビス(2-クロロフェニル)ヒドラジン
328	137-30-4	ビス(N,N'-ジメチルジチオカルバミン酸)亜鉛(別名ジラム)
329	64440-88-6	ビス(N,N'-ジメチルジチオカルバミン酸)N,N'-エチレンビス(チオカルバモイルチオ亜鉛)(別名ポリカーバメート)
330	80-43-3	ビス(1-メチル-1-フェニルエチル)=ペルオキシド

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度から排出量・移動量を把握、平成 23 年度から届け出る対象物質

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
331	95465-99-9	S,S-ビス(1-メチルプロピル)=O-エチル=ホスホロジチオアート(別名カズサホス)
332	—	砒素及びその無機化合物
333	302-01-2	ヒドラジン
334	99-76-3	4-ヒドロキシアニソール
335	103-90-2	N-(4-ヒドロキシフェニル)アセトアミド
336	123-31-9	ヒドロキノ
337	100-40-3	4-ピニル-1-シクロヘキセン
338	100-69-6	2-ピニルピリジン
339	88-12-0	N-ピニル-2-ピロリドン
340	92-52-4	ピフェニル
341	110-85-0	ピペラジン
342	110-86-1	ピリジン
343	120-80-9	ピロカテコール(別名カテコール)
344	96-09-3	フェニルオキシラン
345	100-63-0	フェニルヒドラジン
346	90-43-7	2-フェニルフェノール
347	941-69-5	N-フェニルマレイミド
348	95-54-5 106-50-3 108-45-2	フェニレンジアミン
349	108-95-2	フェノール
350	52645-53-1	3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジシクロピニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート(別名ペルメトリン)
351	106-99-0	1,3-ブタジエン
352	131-17-9	フタル酸ジアリル
353	84-66-2	フタル酸ジエチル
354	84-74-2	フタル酸ジノルマル-ブチル
355	117-81-7	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)
356	85-68-7	フタル酸ノルマル-ブチル=ベンジル
357	69327-76-0	2-ターシャリーブチルイミノ-3-イソプロピル-5-フェニルテトラヒドロ-4H-1,3,5-チアジアジン-4-オン(別名プロフェジン)
358	112410-23-8	N-ターシャリーブチル-N'-(4-エチルベンゾイル)-3,5-ジメチルベンゾヒドラジド(別名テブフェノジド)
359	2426-08-6	ノルマル-ブチル-2,3-エポキシプロピルエーテル
360	17804-35-2	N-[1-(N-ノルマル-ブチルカルバモイル)-1H-2-ベンゾイミダゾリル]カルバミン酸メチル(別名ベノミル)
361	122008-85-9	ブチル=(R)-2-[4-(4-シアノ-2-フルオロフェノキシ)フェノキシ]プロピオナート(別名シハロホップブチル)
362	80060-09-9	1-ターシャリーブチル-3-(2,6-ジイソプロピル-4-フェノキシフェニル)チオ尿素(別名ジアフェンチウロン)
363	19666-30-9	5-ターシャリーブチル-3-(2,4-ジシクロ-5-イソプロポキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾール-2(3H)-オン(別名オキサジアゾン)
364	134098-61-6	ターシャリーブチル=4-[[[(1,3-ジメチル-5-フェノキシ-4-ピラゾリル)メチリデン]アミノオキシ]メチル]ベンゾアート(別名フェンピロキシメート)
365	25013-16-5	ブチルヒドロキシアニソール(別名BHA)

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
366	75-91-2	ターシャリーブチル=ヒドロペルオキシド
367	89-72-5	オルト-セカンダリーブチルフェノール
368	98-54-4	4-ターシャリーブチルフェノール
369	2312-35-8	2-(4-ターシャリーブチルフェノキシ)シクロヘキシル=2-プロピニル=スルフィット(別名プロパルギット又は BPPS)
370	96489-71-3	2-ターシャリーブチル-5-(4-ターシャリーブチルベンジルチオ)-4-クロロ-3(2H)-ピリダジノン(別名ピリダベン)
371	119168-77-3	N-(4-ターシャリーブチルベンジル)-4-クロロ-3-エチル-1-メチルピラゾール-5-カルボキサミド(別名テブフェンピラド)
372	95-31-8	N-(ターシャリーブチル)-2-ベンゾチアゾールスルフェンアミド
373	88-60-8	2-ターシャリーブチル-5-メチルフェノール
374	—	ふっ化水素及びその水溶性塩
375	4170-30-3	2-ブテナール
376	23184-66-9	N-プトキシメチル-2-クロロ-2',6'-ジエチルアセトアニリド(別名ブタクロール)
377	110-00-9	フラン
378	12071-83-9	N,N'-プロピレンビス(ジチオカルバミン酸)と亜鉛の重合体(別名プロビネブ)
379	107-19-7	2-プロピニ-1-オール
380	353-59-3	プロモクロロジフルオロメタン(別名ハロン-1211)
381	75-27-4	プロモジクロロメタン
382	75-63-8	プロモトリフルオロメタン(別名ハロン-1301)
383	314-40-9	5-プロモ-3-セカンダリーブチル-6-メチル-1,2,3,4-テトラヒドロピリミジン-2,4-ジオン(別名プロマシル)
384	106-94-5	1-プロモプロパン
385	75-26-3	2-プロモプロパン
386	74-83-9	プロモメタン(別名臭化メチル)
387	13356-08-6	ヘキサキス(2-メチル-2-フェニルプロピル)ジスタノキサン(別名酸化フェンブタス)
388	115-29-7	6,7,8,9,10,10-ヘキサシクロ-1,5,5a,6,9,9a-ヘキサヒドロ-6,9-メタン-2,4,3-ベンゾジオキサチエピン=3-オキシド(別名エンドスルファン又はベンゾエピン)
389	112-02-7	ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=クロリド
390	124-09-4	ヘキサメチレンジアミン
391	822-06-0	ヘキサメチレン=ジイソシアネート
392	110-54-3	ノルマル-ヘキサン
393	135-19-3	ペタナフトール
394	—	ベリリウム及びその化合物
395	—	ペルオキシ二硫酸の水溶性塩
396	1763-23-1	ペルフルオロ(オクタン-1-スルホン酸)(別名PFOS)
397	98-07-7	ベンジリジン=トリクロリド
398	100-44-7	ベンジル=クロリド(別名塩化ベンジル)
399	100-52-7	ベンズアルデヒド
400	71-43-2	ベンゼン

## 第一種指定化学物質リスト

平成 22 年度から排出量・移動量を把握、平成 23 年度から届け出る対象物質

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
401	552-30-7	1,2,4-ベンゼントリカルボン酸1,2-無水物
402	73250-68-7	2-(2-ベンゾチアゾリルオキシ)-N-メチルアセトアニリド(別名メフェナセト)
403	119-61-9	ベンゾフェノン
404	87-86-5	ペンタクロロフェノール
405	—	ほう素化合物
406	1336-36-3	ポリ塩化ビフェニル(別名PCB)
407	—	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)
408	9036-19-5	ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル
409	9004-82-4	ポリ(オキシエチレン)=ドデシルエーテル硫酸エステルナトリウム
410	9016-45-9	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル
411	50-00-0	ホルムアルデヒド
412	—	マンガン及びその化合物
413	85-44-9	無水フタル酸
414	108-31-6	無水マレイン酸
415	79-41-4	メタクリル酸
416	688-84-6	メタクリル酸2-エチルヘキシル
417	106-91-2	メタクリル酸2,3-エポキシプロピル
418	2867-47-2	メタクリル酸2-(ジメチルアミノ)エチル
419	97-88-1	メタクリル酸ノルマルブチル
420	80-62-6	メタクリル酸メチル
421	674-82-8	4-メチリデンオキサタン-2-オン(別名ジケテン)
422	89269-64-7	(Z)-2'-メチルアセトフェノン=4,6-ジメチル-2-ピリミジニルヒドラゾン(別名フェリムゾン)
423	74-89-5	メチルアミン
424	556-61-6	メチル = イソチオシアネート
425	2631-40-5	N-メチルカルバミン酸2-インプロピルフェニル(別名インプロカルブ又はMIPC)
426	1563-66-2	N-メチルカルバミン酸2,3-ジヒドロ-2,2-ジメチル-7-ベンゾ[b]フラニル(別名カルボフラン)
427	63-25-2	N-メチルカルバミン酸1-ナフチル(別名カルバリル又はNAC)
428	3766-81-2	N-メチルカルバミン酸2-sec-ブチルフェニル(別名フェノブカルブ又はBPMC)
429	100784-20-1	メチル=3-クロロ-5-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルカルバモイルスルファモイル)-1-メチルピラゾール-4-カルボキシラート(別名ハロスルフロメチル)
430	173584-44-6	メチル=(S)-7-クロロ-2,3,4a,5-テトラヒドロ-2-[メトキシカルボニル(4-トリフルオロメトキシフェニル)カルバモイル]インデン[1,2-e][1,3,4]オキサジアジン-4a-カルボキシラート(別名インドキサカルブ)
431	131860-33-8	メチル=(E)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート(別名アソキストロビン)
432	33089-61-1	3-メチル-1,5-ジ(2,4-キシリル)-1,3,5-トリアザペンター-1,4-ジエン(別名アミトラス)

政令 番号	CAS番号	名称(和文)
433	144-54-7	N-メチルジチオカルバミン酸(別名カーバム)
434	23135-22-0	メチル-N,N'-ジメチル-N-[(メチルカルバモイル)オキシ]-1-チオオキサミミデート(別名オキサミル)
435	136191-64-5	メチル=2-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルオキシ)-6-[1-(メトキシイミノ)エチル]ベンゾアート(別名ピリミノバックメチル)
436	98-83-9	アルファ-メチルスチレン
437	3268-49-3	3-メチルチオプロパナール
438	1321-94-4	メチルナフタレン
439	108-99-6	3-メチルピリジン
440	80-15-9	1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド
441	88-85-7	2-(1-メチルプロピル)-4,6-ジニトロフェノール
442	55814-41-0	2-メチル-N-[3-(1-メチルエトキシ)フェニル]ベンズアミド(別名メプロニル)
443	16752-77-5	S-メチル-N-(メチルカルバモイルオキシ)チオアセトイミデート(別名メソミル)
444	141517-21-7	メチル=(E)-メトキシイミノ-[2-[[[(E)-1-[3-(トリフルオロメチル)フェニル]エチリデン]アミノ]オキシ]メチル]フェニル]アセタート(別名トリフロキシストロビン)
445	143390-89-0	メチル=(E)-メトキシイミノ-[2-(オルト-トリルオキシメチル)フェニル]アセタート(別名クレンキシムメチル)
446	101-77-9	4,4'-メチレンジアニリン
447	5124-30-1	メチレンビス(4,1-シクロヘキシレン)=ジイソシアネート
448	101-68-8	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート(別名MDI)
449	13684-63-4	3-メトキシカルボニルアミノフェニル=3'-メチルカルバニラート(別名フェンメディファム)
450	88678-67-5	N-(6-メトキシ-2-ピリジニル)-N-メチルチオカルバミン酸O-3-ターシャリーブチルフェニル(別名ピリブチカルブ)
451	120-71-8	2-メトキシ-5-メチルアニリン
452	149-30-4	2-メルカプトベンゾチアゾール
453	—	モリブデン及びその化合物
454	95-32-9	2-(モルホリノジチオ)ベンゾチアゾール
455	110-91-8	モルホリン
456	20859-73-8	りん化アルミニウム
457	62-73-7	りん酸ジメチル=2,2-ジクロロビニル(別名ジクロロボス又はDDVP)
458	78-42-2	りん酸トリス(2-エチルヘキシル)
459	115-96-8	りん酸トリス(2-クロロエチル)
460	1330-78-5	りん酸トリトリル
461	115-86-6	りん酸トリフェニル
462	126-73-8	りん酸トリノルマルブチル

(4) ファイル記録事項開示請求書

(裏面)

※開示を請求する情報で「ファイル記録事項の一部」を選択した場合は、必ず以下を御記入ください。

※以下のいづれかの口にレ点を付し、必要事項を記入してください。  
欄が足りない場合は、備考欄を活用してください。

特定の事業所の情報 ※事業所の名称及び所在地を記入してください。

一定の条件を満たす事業所の情報 ※以下、①～④の空欄に検索条件を記載してください。  
(複数選択可)

※以下①～④のすべての条件を満たす事業所について、開示を求めます。

① 都道府県・市区町村名	に所在する事業所であること
② 業種名 又は 業種コード	
③ 化学物質名称 及び 施行令番号	に属する事業を営む事業所であること
④ その他	の届出をした事業所であること

備考

<記入にあたっての注意事項>

1. 開示を求める事業所が特定されている場合には、「特定の事業所の情報」に、検索項目(①～④)により事業所を絞り込んで特定する場合は「一定の条件を満たす事業所の情報」に、該当するいずれか一方を選択して、記載してください。
  2. 特定の事業所の情報(事業所の名称及び所在地)の欄には、事業者が特定できるよう、事業所の正式な名称並びに所在する都道府県及び市区町村名を記載してください。
  3. 一定の条件を満たす事業所の情報①～④には、それぞれ複数の事項を記載することができます。
  4. 一定の条件を満たす事業所の情報「④その他」の欄には、①～③以外の条件を記載することができます。  
(可能な限り具体的に記載してください。)
- ただし、ファイル記録事項にある項目以外の項目で検索することはできません。

ファイル記録事項開示請求書

平成 年 月 日

環境大臣 殿

請求者

住所 〒 _____
氏名 _____
<small>※法人その他の団体にあっては、その所在地・名称及び代表者の氏名を記載。 問い合わせ先 ※郵送又はインターネットで開示を請求をする場合のみ (電話番号) 記載。(郵送先は、上記住所あてとなります。)</small> _____ (内線 _____) (担当者)の氏名 _____ <small>※法人その他の団体にあっては、担当者の氏名も記載。</small>

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第10条  
第1項に基づき、次のとおりファイル記録事項の開示を請求します。

開示を請求するファイル記録事項の対象年度(排出年度)	平成 年度に第一種指定化学物質等取扱事業者が把握した情報
開示を請求する情報	<input type="checkbox"/> すべてのファイル記録事項 <input type="checkbox"/> ファイル記録事項の一部 (ご裏面に御記入ください)
希望する開示実施方法	※以下のいづれかの口にレ点を付してください。上記で「すべてのファイル記録事項」を選択された場合、この欄への記載は不要です。(光ディスクでの開示となります。) <input type="checkbox"/> 用紙 (A4) への出力 <input type="checkbox"/> フレキシブルディスク (FD) <input type="checkbox"/> 光ディスク (CD-R)

※以下の欄には記入しないで下さい。

(受付印)

(収入印紙貼付欄)

用紙・FD・CD-R 枚/	MB
(料金)	円

## 2 PRTRに関連する用語の解説

### 環境リスク

#### 【かんきょうリスク】

化学物質の「環境リスク」とは、化学物質が環境を經由して人の健康や動植物の生息又は生育に悪い影響を及ぼすおそれのある可能性をいう。その大きさは、化学物質の有害性の程度と、呼吸、飲食、皮膚接触などの経路でどれだけ化学物質に接したか（暴露量）で決まり、概念的に式で表すと次のようになる。

$$\text{化学物質の環境リスク} = \text{有害性の程度} \times \text{暴露量}$$

化学物質は、安全なものとうるなものに二分することはできない。例えば、有害性が低くても短期間に大量に暴露すれば悪影響が生じる可能性は非常に高くなり、逆に有害性の高い物質であってもごく微量の暴露であれば、悪影響が生じる可能性は低くなる。技術的、費用的な面で限界があるものの、暴露量を少なくしたり、有害性の低い物質を使用したりすることで、環境リスクを低減することができる。

### 排出量

#### 【はいしゅつりょう】

生産工程などから排ガスや排水等に含まれて環境中に排出される第一種指定化学物質の量。例えば、大気では排気口や煙突からの排出ばかりではなく、ペンキなどの塗料に含まれる成分の揮発、水域では公共用水域への排出のほか廃液などを公海域に投棄する場合、土壌ではタンクやパイプから土壌への漏洩などが含まれる。

### 移動量

#### 【いどうりょう】

その事業活動にかかる廃棄物の処理を当該事業所の外において行うことに伴い当該事業所の外に移動する第一種指定化学物質の量のことであり、具体的には下水道への放出、他の産業廃棄物処理業者に廃棄物の処理を委託した量。

### 取扱量

#### 【とりあつかいりょう】

当該化学物質の製造量・使用量等を合計した量。

### 化学物質管理指針 【かがくぶっしつかんりしん】

「化学物質管理指針」とは、化管法第3条第1項の規定に基づき、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止するため、事業者が講ずべき化学物質の管理に係る措置を定めたもの。

事業者は責務として、この指針に留意して、化学物質の取扱い等に係る管理を行うとともに、その管理の状況に関する国民の理解を深めるよう努めなければならないとされている。（化学物質管理指針、平成12年3月30日環境庁・通商産業省告示第1号）

### 有害性

#### 【ゆうがいせい】

化学物質のもつ物性（融点や密度）とともに固有の性質の一つで、人の健康や環境に悪影響を及ぼす性質を言う。化学物質の有害性は、症状が現れるまでの時間によって急性毒性和慢性毒性に分けられ、また症状の種類として発がん性や生殖毒性などがある。多くの有害性は、動物実験で得られた結果を人に当てはめるため、不確実性を伴う。

急性毒性とは、化学物質を1回投与するか短時間暴露してからだいたい数日以内に発症する毒性を指す。慢性毒性とは、化学物質を繰り返し投与するか長期間暴露したとき数カ月以上してから発症する毒性を指す。急性毒性に比べ症状が低濃度で現れる。

## 発がん性

【はつがんせい】

発がん性に基づき2つのクラスに分類されている。発がん性とは動物の正常細胞に作用して、細胞をがん化する性質のことである。分類に際してはIARC（国際がん研究機関）、EPA（米国環境保護庁）、EU（欧州連合）、NTP（米国毒性プログラム）、ACGIH（米国産業衛生専門家会議）、日本産業衛生学会の6つの機関の発がん性ランクを利用している。

## 発がん性の分類

クラス	機関名 評価方法	IARC	EPA	EU	NTP	ACGIH	日本産業 衛生学会
1	人発がん性あり (1機関以上)	1	A	1	a	A1	1
2	人発がん性の疑いが 強い (IARCで2Aまたは 2Bまたは複数機関)	2A 2B	B1 B2	2	b	A2 A3	2A 2B

## 変異原性

【へんいげんせい】

変異原性とは突然変異を引き起こす性質のことで、発がん性などと関係がある。

## 感受性

【かんさせい】

感受性とは化学物質への反復暴露後に、暴露された人または動物の大部分にその正常な組織にアレルギー反応を生じさせる性質のことである。

## 生態毒性

【せいたいどくせい】

生態毒性は、主として魚、ミジンコ及び藻類に対する毒性試験で示されるもので、動植物の生息もしくは生育に支障を及ぼすおそれがある性質のことである。

## オゾン層破壊物質

【おぞんそうはかいぶつしつ】

オゾン層破壊物質とは、オゾン層を破壊し、太陽紫外放射の地表に到達する量を増加させることにより人の健康を損なうおそれがある物質。国際的にもモントリオール議定書において規定されている。

## CAS番号

【キャスばんごう】

アメリカ化学会の機関であるCAS(Cheical Abstracts Service)が化学物質に付与している登録番号で、\*\*\*\*\*-\*-\*の数字。世界的に広く使用されている化学物質に対するコードで、現在約6000万種以上の有機・無機化合物の登録がある。

(2011年1月現在<http://www.cas.org/cgi-bin/cas/regreport.pl>参照)

レスポンシブル・  
ケア

事業者が、製品の開発から廃棄に至るすべての過程において環境保全・安全を確保することを主旨とする自主管理活動。1985年にカナダではじまり、日本では平成7年（1995年）に（社）日本化学工業協会が日本レスポンシブル・ケア協議会を設立し、医薬品、化学、プラスチック、ガラス、塗料などの製造業約100社（2010年10月現在）が加盟して取組を進めている。

## 環境マネジメントシステム

### 【かんきょうマネジメントシステム】

事業者が自主的に環境保全に関する取組を進めるにあたり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくことを「環境管理」または「環境マネジメント」といい、このための工場や事業場内の体制・手続き等を「環境マネジメントシステム」という。環境マネジメントに関しては、ISO（国際標準化機構）がISO14000シリーズと呼ばれるさまざまな国際規格を定めており、これらは、環境マネジメントシステムを中心として、環境監査、環境パフォーマンス評価、環境ラベル、ライフサイクルアセスメントなど、環境マネジメントを支援するさまざまな手法に関する規格から構成されている。

## 環境報告書

### 【かんきょうほうこくしょ】

事業者の環境負荷の状況や環境保全活動をまとめた年次報告書で、自主的な情報公表の手段となっている。

## MSDS

### 【エムエスディーエス】

(Material Safety Data Sheet : 化学物質等安全データシート)

事業者が排出量や移動量を算出する際、自分の取り扱っている原材料等に関して、どのような化学物質がどれくらい含まれているかという情報が必要になる。このような情報に加え、その性状や取扱い方法などが記載されたものを化学物質等安全データシート (MSDS) という。MSDSは、事業者が化学物質や製品を他の事業者に譲渡・提供する際に、事前にその相手方に対して、その物質に関する情報を提供するためのもので、化管法では、政令で定める第一種指定化学物質、第二種指定化学物質及びこれらを含む一定の要件を満たす製品について、このMSDSを提供することが義務づけられている。(次ページ参照)

MSDSに関する規定は、「指定化学物質等の性状及び取扱いに関する情報の提供の方法等を定める省令」(平成12年12月22日通産省令第401号)

[http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/law/law\\_5.html](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/law/law_5.html)で定められている。

## 指定化学物質等取扱事業者

### 【していかかくぶっつとうとりあつかいじぎょうしゃ】

化管法では、第一種指定化学物質等及び第二種指定化学物質等を取り扱う事業者を「指定化学物質等取扱事業者」と定義している。ここでは、PRTR制度の対象業種や従業員数、取扱量などの要件(10ページ参照)はなく、これらの指定化学物質を出荷する際には、MSDSを提供することが義務づけられている事業者のことを指す。なお、第一種指定化学物質等を取り扱い、対象業種に指定され、取扱量の要件を満たす事業者を「第一種指定化学物質等取扱事業者」という。

MSDSの例

### 化学物質等安全データシート (MSDS)

1. 化学物質等及び会社情報

製品  
 化学物質等の名称(製品名(商品名)等) トリクロロエチレン  
 化学物質等(製品)のコード C05-0001

供給者情報  
 供給者の名称 霞ヶ関工業株式会社  
 住所 神奈川県横浜市中区中央1丁目1番地  
 電話番号 045-123-4567  
 緊急連絡電話番号 045-123-4567  
 ファックス番号 045-123-4568  
 メールアドレス

推奨用途及び使用上の制限  
 金属加工部品などの脱脂洗浄、化学品の製造原料、油脂、樹脂、ゴム、塗料などの溶剤、抽出溶剤、各種モノマーの重合度調整剤、試験研究用試薬等

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	区分外
健康に対する有害性	区分外 区分外 区分4 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2 A 区分外 区分2 区分1 B 区分1 B 区分3 (麻酔作用、気道刺激性)
環境に対する有害性	標的臓器/全身毒性 (単回暴露) 標的臓器/全身毒性 (反復暴露) 吸引性/呼吸器有害性 水生環境有害性 (急性) 水生環境有害性 (慢性)

ラベル要素  
 絵表示又はシンボル:





注意喚起語 危険  
 危険有害性情報  
 ・吸入すると有害(蒸気)  
 ・皮膚刺激  
 ・強い眼刺激

・遺伝性疾患のおそれの疑い  
 ・発がんのおそれ  
 ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 ・眠気又はめまいのおそれ  
 ・呼吸器への刺激のおそれ  
 ・長期又は反復暴露による中枢神経系の障害  
 ・飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ  
 ・水生生物に毒性  
 ・長期的影響により水生生物に毒性

注意書き

[安全対策]  
 ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
 ・保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
 ・取扱後はよく手を洗うこと。  
 ・使用前に取扱説明書を読み、すべての安全注意を熟読し理解するまで取扱わないこと。  
 ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 ・ガス/蒸気を吸入しないこと。  
 ・環境への放出を避けること。

[応急措置]  
 ・吸入了らば：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすしい姿勢で休息させること。  
 ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
 ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用している状態で外す場合を除くこと。その後も洗浄を続けること。  
 ・飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。  
 ・漏出物を回収すること。  
 ・以下の場合は医師の診断/手当てを受けること。  
 ・気が悪い時、皮膚刺激が生じた場合、目の刺激が続く場合、暴露または暴露の懸念がある場合、飲み込んだ場合

[保管]  
 ・容器を密閉して換気の良いところで保管すること。

[廃棄]  
 ・内容物/容器を関係法令に基づき、自社で適正に処理するか、又は廃棄物処理業者に委託して処理すること。

3. 組成・成分情報

単一化学物質・混合物の区別	単一化学物質
化学名	トリクロロエチレン
一般名又は別名	トリクロロエチレン (トリクロロエチレン)
CAS 番号	79-01-6
濃度	トリクロロエチレン 99%以上
化学式又は構造式	CHCl=CCl2
官報公示整理番号	(化審法)(2)-105 第2種特定化学物質 (安衛法)(2)-105 化審法を準用
化学物質管理促進法	第一種指定化学物質 政令第281号

V もっと知りたい時には

## 3 関連サイトアドレス集

### 国内

#### 行政機関

環境省環境保健部環境安全課・PRTR 担当 TEL: 03-5521-8260 ehs@env.go.jp

##### ● PRTR 制度に関連する情報

- 「PRTR インフォメーション広場」 <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>  
 「PRTR 集計結果のコーナー」 <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/result/>  
 「PRTR 集計・公表システム」 <http://www2.env.go.jp/chemi/prtr/prtrinfo/index.html>

##### ● 対象化学物質の有害性など

- 「PRTR 法指定化学物質データ検索」 <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/db/db.php3>  
 「対象化学物質情報」 [http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target\\_chemi.html](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/target_chemi.html)

##### ● リスクコミュニケーションなど

- 「化学物質やその環境リスクについて学び、調べ、参加する」  
<http://www.env.go.jp/chemi/communication/index.html>  
 「化学物質に関するリスクコミュニケーションー環境省における取組ー」  
<http://www.env.go.jp/chemi/communication/9.html>

##### ● パンフレット・冊子

- 「PRTR について」(環境省・経済産業省)  
[http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/law/prtr\\_panf/prtr\\_panf.html](http://www.env.go.jp/chemi/prtr/archive/law/prtr_panf/prtr_panf.html)  
 「GHS 化学品の分類および表示に関する世界調和システムについて」  
<http://www.env.go.jp/chemi/ghs/>  
 「化学物質ファクトシート」  
<http://www.env.go.jp/chemi/communication/factsheet.html>  
 「かんたん化学物質ガイド」  
<http://www.env.go.jp/chemi/communication/guide/>

経済産業省製造産業局化学物質管理課 TEL: 03-3501-0080

- 「化学物質管理政策サイト」  
[http://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/index.html](http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/index.html)  
 「化学物質排出把握管理促進法サイト」  
[http://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/law/index.html](http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/index.html)

#### 自治体

各自治体のホームページアドレスは、100ページ以降にある「各自治体のPRTR 担当窓口」をご参照ください。

#### 関連団体

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| (独) 国立環境研究所              | <a href="http://www.nies.go.jp/index-j.html">http://www.nies.go.jp/index-j.html</a>                         |
| 「化学物質データベース」             | <a href="http://w-chemdb.nies.go.jp/">http://w-chemdb.nies.go.jp/</a>                                       |
| (独) 製品評価技術基盤機構           | <a href="http://www.nite.go.jp/">http://www.nite.go.jp/</a>   |
| 「化学物質総合情報提供システム (CHRIP)」 | <a href="http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html">http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html</a>             |
| (独) 国立医薬品食品衛生研究所         | <a href="http://www.nihs.go.jp/index-j.html">http://www.nihs.go.jp/index-j.html</a>                         |
| 「国際化学物質安全性カード (ICSC)」    | <a href="http://www.nihs.go.jp/ICSC/">http://www.nihs.go.jp/ICSC/</a>                                       |
| (独) 産業技術総合研究所 安全科学研究部門   | <a href="http://www.aist-riss.jp/main">http://www.aist-riss.jp/main</a>                                     |
| (財) 化学物質評価研究機構           | <a href="http://www.cerij.or.jp/cerij_jp/index.html">http://www.cerij.or.jp/cerij_jp/index.html</a>         |
| 「化学物質ハザードデータ集」           | <a href="http://www.cerij.or.jp/db/sheet/sheet_indx.htm">http://www.cerij.or.jp/db/sheet/sheet_indx.htm</a> |
| (社) 環境情報科学センター           | <a href="http://www.ceis.or.jp/">http://www.ceis.or.jp/</a>   |
| (社) 日本化学物質安全・情報センター      | <a href="http://www.jetoc.or.jp/">http://www.jetoc.or.jp/</a>   |
| (社) 日本化学工業協会             | <a href="http://www.nikkakyo.org/">http://www.nikkakyo.org/</a>   |
| 石油化学工業協会                 | <a href="http://www.jpca.or.jp/index.html">http://www.jpca.or.jp/index.html</a>                             |
| 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター    | <a href="http://www.jaish.gr.jp/">http://www.jaish.gr.jp/</a>   |

#### 民間団体

- |                |   |
|----------------|---|
| 有害化学物質削減ネットワーク | <a href="http://toxwatch.net/">http://toxwatch.net/</a>       |
| エコケミストリー研究会    | <a href="http://www.ecochemi.jp/">http://www.ecochemi.jp/</a> |

## 諸外国

## 行政機関

## EC(欧州委員会)

「EPER (European Pollutant Emission Register)」  
<http://www.eper.ec.europa.eu/eper/>

## 英国

「PI (Pollution Inventory)」  
<http://www.environment-agency.gov.uk/business/topics/pollution/32254.aspx>

## ドイツ

「EPER (European Pollutant Emission Register)」 <http://www.eper.de/>

## オランダ

「PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)」  
<http://www.emissieregistratie.nl/erpubliek/bumper.nl.aspx>

## 米国

「TRI (Toxics Release Inventory)」 <http://www.epa.gov/tri/>  
「Envirofacts」 <http://www.epa.gov/enviro/>  
「TOXNET」 <http://toxnet.nlm.nih.gov/>

## カナダ

「NPRI (National Pollutant Release Inventory)」  
<http://www.ec.gc.ca/inrp-npri/default.asp?lang=en>

## オーストラリア

「NPI (National Pollutant Inventory)」 <http://www.npi.gov.au/>

## 韓国

「PRTR」 <http://ncis.nier.go.kr/total/triopen/>

## 国際機関

## UNECE(国連欧州経済委員会)

「PRTR」 <http://www.unece.org/env/pp/prtr.htm>

## OECD(経済開発協力機構)

「PRTR」  
[http://www.oecd.org/department/0,2688,en\\_2649\\_34411\\_1\\_1\\_1\\_1\\_1,00.html](http://www.oecd.org/department/0,2688,en_2649_34411_1_1_1_1_1,00.html)

## 民間団体

## 米国

「Scorecard」 <http://scorecard.goodguide.com/>

## カナダ

「Pollution Watch」 <http://www.pollutionwatch.org/>

## 4 各自治体のPRTR担当窓口

※関連ホームページについて、PRTR 専門サイトがない場合は、環境担当部局のサイトになっており、環境担当部局のサイトがない場合やアドレスが比較的長い場合は、各自治体のトップページになっています。

自治体名	部局名／電話番号／関連ホームページアドレス	
北海道	環境生活部環境局環境推進課大気環境グループ	011-231-4111(内3013)
	<a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/khz/contents/top_page/PRTR-06top.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/khz/contents/top_page/PRTR-06top.htm</a>	
札幌市	環境局環境都市推進部環境対策課	011-211-2882
	<a href="http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kagaku_busshitsu/kagaku_busshitsu/index.html">http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kagaku_busshitsu/kagaku_busshitsu/index.html</a>	
青森県	環境生活部環境政策課環境保全グループ	017-734-9242
	<a href="http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/PRTR.html">http://www.pref.aomori.lg.jp/nature/kankyo/PRTR.html</a>	
岩手県	環境生活部環境保全課環境調整担当	019-629-5359
	<a href="http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=281&amp;of=2&amp;ik=3&amp;pnp=17&amp;pnp=59&amp;pnp=261&amp;pnp=281&amp;cd=1442">http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=281&amp;of=2&amp;ik=3&amp;pnp=17&amp;pnp=59&amp;pnp=261&amp;pnp=281&amp;cd=1442</a>	
宮古市	市民生活部環境課	0193-68-9078
	<a href="http://www.city.miyako.iwate.jp/cb/hpc/Article-376-4036.html">http://www.city.miyako.iwate.jp/cb/hpc/Article-376-4036.html</a>	
花巻市	生活福祉部生活環境課	0198-24-2111(内256)
	<a href="http://www.city.hanamaki.iwate.jp/living/kankyo/">http://www.city.hanamaki.iwate.jp/living/kankyo/</a>	
北上市	生活環境部生活環境課	0197-64-2111(内3423)
	<a href="http://www.city.kitakami.iwate.jp/sub04/soshiki/sosiki11/page_3252.html">http://www.city.kitakami.iwate.jp/sub04/soshiki/sosiki11/page_3252.html</a>	
宮城県	環境生活部環境対策課環境影響評価班	022-211-2667
	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-t/index_prtr.htm">http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-t/index_prtr.htm</a>	
仙台市	環境局環境部環境対策課	022-214-8221
	<a href="http://www.city.sendai.jp/kankyou/taisaku/kagaku/index.html#2">http://www.city.sendai.jp/kankyou/taisaku/kagaku/index.html#2</a>	
秋田県	生活環境部環境管理課	018-860-1601
	<a href="http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?ActionCode=content&amp;ContentID=1139297038610&amp;SiteID=0">http://www.pref.akita.lg.jp/icity/browser?ActionCode=content&amp;ContentID=1139297038610&amp;SiteID=0</a>	
山形県	生活環境部水大気環境課	023-630-2338
	<a href="http://www.pref.yamagata.jp/ou/seikatsukankyo/050014/pubdoc060223prtr.html">http://www.pref.yamagata.jp/ou/seikatsukankyo/050014/pubdoc060223prtr.html</a>	
福島県	生活環境部水・大気環境課	024-521-7261
	<a href="http://www.pref.fukushima.jp/kankyou/taiki/prtr_top.html">http://www.pref.fukushima.jp/kankyou/taiki/prtr_top.html</a>	
茨城県	生活環境部環境対策課	029-301-2956
	<a href="http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/seikan/kantai/koubou/koubou.htm">http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/seikan/kantai/koubou/koubou.htm</a>	
☆笠間市	市民生活部環境保全課	0296-77-1101(内127)
	<a href="http://www.city.kasama.lg.jp/cgi-bin/upsys/view_hp.cgi?mode=sec&amp;mode2=detail&amp;s_no=12">http://www.city.kasama.lg.jp/cgi-bin/upsys/view_hp.cgi?mode=sec&amp;mode2=detail&amp;s_no=12</a>	
栃木県	環境森林部環境保全課大気環境担当	028-623-3188
	<a href="http://www.pref.tochigi.lg.jp/d03/eco/kankyou/hozen/prtrtodokedenituitetoph19.html">http://www.pref.tochigi.lg.jp/d03/eco/kankyou/hozen/prtrtodokedenituitetoph19.html</a>	
宇都宮市	環境部環境保全課	028-632-2420
	<a href="http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kankyo/seikatsukankyo/004611.html">http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kankyo/seikatsukankyo/004611.html</a>	
群馬県	環境森林部環境保全課 大気保全係	027-226-2837
	<a href="http://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00000291.html">http://www.pref.gunma.jp/cate_list/ct00000291.html</a>	
☆高崎市	環境部環境政策課 環境保全担当	027-321-1251
	<a href="http://www.city.takasaki.gunma.jp/soshiki/kankyou/index.htm">http://www.city.takasaki.gunma.jp/soshiki/kankyou/index.htm</a>	
埼玉県	環境部大気環境課化学物質担当	048-830-2986
	<a href="http://www.pref.saitama.lg.jp/page/kagaku-tekiseikanri.html">http://www.pref.saitama.lg.jp/page/kagaku-tekiseikanri.html</a>	
さいたま市	環境局環境共生部環境対策課大気交通係	048-829-1330
	<a href="http://www.city.saitama.jp/www/contents/1175077375534/index.html">http://www.city.saitama.jp/www/contents/1175077375534/index.html</a>	
川越市	環境部環境保全課大気保全担当	049-224-5894
	<a href="http://www.city.kawagoe.saitama.jp/www/contents/1280475461722/index.html">http://www.city.kawagoe.saitama.jp/www/contents/1280475461722/index.html</a>	
所沢市	環境クリーン部環境対策課青空・化学物質グループ	04-2998-9230
	<a href="http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/seikatukankyo/kankyochozen/kagakubushitu/prtr/index.html">http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/seikatukankyo/kankyochozen/kagakubushitu/prtr/index.html</a>	
川口市	環境部環境保全課大気係	048-228-5389
	<a href="http://www.city.kawaguchi.lg.jp/kbn/28030193/28030193.html">http://www.city.kawaguchi.lg.jp/kbn/28030193/28030193.html</a>	
越谷市	環境経済部環境政策課環境対策係	048-963-9186
	<a href="http://www2.city.koshigaya.saitama.jp/kurasi/tetuduki/kankyochozen/kagakubussituhaisutu/index.html">http://www2.city.koshigaya.saitama.jp/kurasi/tetuduki/kankyochozen/kagakubussituhaisutu/index.html</a>	
千葉県	環境生活部大気保全課大気・特殊公害指導室	043-223-3805
	<a href="http://www.pref.chiba.lg.jp/taiki/kagakubusshitsu/prtr-shuukei/index.html">http://www.pref.chiba.lg.jp/taiki/kagakubusshitsu/prtr-shuukei/index.html</a>	
千葉市	環境局環境保全部環境規制課	043-245-5185
	<a href="http://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyochozen/kankyokisei/chemi_prtr_top.html">http://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyochozen/kankyokisei/chemi_prtr_top.html</a>	
東京都	環境局環境改善部化学物質対策課企画係	03-5388-3503
	<a href="http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/chemical/chemical/control/index.html">http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/chemical/chemical/control/index.html</a>	

☆印のついた部局は平成23年4月からの窓口です。

自治体名	部局名／電話番号／関連ホームページアドレス	
神奈川県	環境農政局環境部大気水質課調整グループ	045-210-4107
	<a href="http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/05/0515/kagaku/prtr/index_prtr.html">http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/05/0515/kagaku/prtr/index_prtr.html</a>	
横浜市	環境創造局環境保全部環境管理課	045-671-2487
	<a href="http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kaihatsu/kisei/kagaku/prtrjyouhou.html">http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/kaihatsu/kisei/kagaku/prtrjyouhou.html</a>	
川崎市	環境局環境対策部企画指導課化学物質担当	044-200-2532
	<a href="http://www.city.kawasaki.jp/30/30kagaku/home/kagaku/prtr_top.htm">http://www.city.kawasaki.jp/30/30kagaku/home/kagaku/prtr_top.htm</a>	
相模原市	環境経済局環境共生部環境保全課	042-769-8241
	<a href="http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kankyo/kogai/018115.html">http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kankyo/kogai/018115.html</a>	
新潟県	県民生活・環境部環境対策課環境保全係	025-280-5154
	<a href="http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyotaisaku/1203440442371.html">http://www.pref.niigata.lg.jp/kankyotaisaku/1203440442371.html</a>	
新潟市	環境部環境対策課水質係	025-226-1371
	<a href="http://www.city.niigata.jp/info/kantai/mizu/PRTR/PRTP.htm">http://www.city.niigata.jp/info/kantai/mizu/PRTR/PRTP.htm</a>	
富山県	生活環境文化部環境保全課	076-444-3144
	<a href="http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00000941.html">http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00000941.html</a>	
富山市	環境部環境保全課	076-443-2086
	<a href="http://www.city.toyama.toyama.jp/division/kankyou/kankyouhozen/index.htm">http://www.city.toyama.toyama.jp/division/kankyou/kankyouhozen/index.htm</a>	
石川県	環境部環境政策課環境管理グループ	076-225-1463
	<a href="http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankyo/kankeihourei/shidou/prtr-hp/prtrhome.html">http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kankyo/kankeihourei/shidou/prtr-hp/prtrhome.html</a>	
福井県	安全環境部環境政策課環境管理審査室	0776-20-0303
	<a href="http://www.erc.pref.fukui.jp/chem/prtr/index.html">http://www.erc.pref.fukui.jp/chem/prtr/index.html</a>	
山梨県	森林環境部大気水質保全課大気担当	055-223-1510
	<a href="http://www.pref.yamanashi.jp/taiki-sui/65_043.html">http://www.pref.yamanashi.jp/taiki-sui/65_043.html</a>	
長野県	環境部水大気環境課大気保全係	026-235-7177
	<a href="http://www.pref.nagano.jp/kankyo/mizutaiki/taiki/prtr/t-prtr.htm">http://www.pref.nagano.jp/kankyo/mizutaiki/taiki/prtr/t-prtr.htm</a>	
長野市	環境部環境政策課	026-224-8034
	<a href="http://www.city.nagano.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&amp;NEXT_DISPLAY_ID=U000004&amp;CONTENTS_ID=19537">http://www.city.nagano.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&amp;NEXT_DISPLAY_ID=U000004&amp;CONTENTS_ID=19537</a>	
岐阜県	環境生活部環境管理課	058-272-1111(内2831、2832)
	<a href="http://www.pref.gifu.lg.jp/kankyo/taiki/prtr/top.html">http://www.pref.gifu.lg.jp/kankyo/taiki/prtr/top.html</a>	
静岡県	くらし・環境部環境局生活環境課	054-221-2258
	<a href="http://www.pref.shizuoka.jp/kankyou/ka-050/taiki/prtr/prtr_top.html">http://www.pref.shizuoka.jp/kankyou/ka-050/taiki/prtr/prtr_top.html</a>	
静岡市	環境局環境創造部環境保全課大気担当	054-221-1358
	<a href="http://www.city.shizuoka.jp/deps/kankyohozen/prtr.html">http://www.city.shizuoka.jp/deps/kankyohozen/prtr.html</a>	
浜松市	環境部環境保全課	053-453-6170
	<a href="http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/businessindex/env/prtr.htm">http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/businessindex/env/prtr.htm</a>	
愛知県	環境部環境活動推進課環境リスク対策グループ	052-954-6212
	<a href="http://www.pref.aichi.jp/kankyo/katsudo-ka/jigyo/prtr/index.html">http://www.pref.aichi.jp/kankyo/katsudo-ka/jigyo/prtr/index.html</a>	
名古屋市	環境局地域環境対策部地域環境対策課有害化学物質対策係	052-972-2677
	<a href="http://www.city.nagoya.jp/jigyou/category/38-3-8-3-0-0-0-0-0-0.html">http://www.city.nagoya.jp/jigyou/category/38-3-8-3-0-0-0-0-0-0.html</a>	
豊橋市	環境部環境保全課	0532-51-2395
	<a href="http://www.city.toyohashi.aichi.jp/kankyo_hozen/prtr/pr-17index.html">http://www.city.toyohashi.aichi.jp/kankyo_hozen/prtr/pr-17index.html</a>	
岡崎市	環境部環境保全課	0564-23-6194
	<a href="http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu2655.html">http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu2655.html</a>	
豊田市	環境部環境保全課	0565-34-6628
	<a href="http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ae00/ae03/1193679_7098.html">http://www.city.toyota.aichi.jp/division/ae00/ae03/1193679_7098.html</a>	
三重県	環境森林部地球温暖化対策室	059-224-2380
	<a href="http://www.eco.pref.mie.lg.jp/earth/100100/prtr/syukei.htm">http://www.eco.pref.mie.lg.jp/earth/100100/prtr/syukei.htm</a>	
滋賀県	琵琶湖環境部琵琶湖再生課	077-528-3456
	<a href="http://www.pref.shiga.jp/d/biwako/index.html">http://www.pref.shiga.jp/d/biwako/index.html</a>	
京都府	文化環境部環境管理課指導担当	075-414-4707
	<a href="http://www.pref.kyoto.jp/prtr/">http://www.pref.kyoto.jp/prtr/</a>	
京都市	環境政策局環境企画部環境指導課	075-213-0928
	<a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000000211.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000000211.html</a>	
大阪府	環境農林水産部環境管理室環境保全課化学物質対策グループ	06-6210-9578
	<a href="http://www.pref.osaka.jp/kankyohozen/shidou/prtr.html">http://www.pref.osaka.jp/kankyohozen/shidou/prtr.html</a>	
大阪市	環境局環境保全部環境規制担当	06-6615-7988
	<a href="http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000056158.html">http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000056158.html</a>	
堺市	環境局環境保全部環境指導課化学物質係	072-228-7474
	<a href="http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_kankei/chem/chem_top.html">http://www.city.sakai.lg.jp/city/info/_kankei/chem/chem_top.html</a>	
兵庫県	農政環境部環境管理局環境整備課環境影響評価室環境情報担当	078-362-3276
	<a href="http://www.kankyo.pref.hyogo.jp/JPN/apr/topics/new-prtr/prtrindex.htm">http://www.kankyo.pref.hyogo.jp/JPN/apr/topics/new-prtr/prtrindex.htm</a>	
神戸市	環境局環境創造部環境評価共生推進室	078-322-5312
	<a href="http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/environmental/chemical/PRTR/index.html">http://www.city.kobe.lg.jp/life/recycle/environmental/chemical/PRTR/index.html</a>	

自治体名	部局名／電話番号／関連ホームページアドレス	
奈良県	くらし創造部景観・環境局環境政策課	0742-27-8734
	<a href="http://www.eco.pref.nara.jp/prtr/index.html">http://www.eco.pref.nara.jp/prtr/index.html</a>	
和歌山県	環境生活部環境政策局環境管理課	073-441-2683
	<a href="http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032100/prtr/">http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032100/prtr/</a>	
鳥取県	生活環境部水・大気環境課	0857-26-7206
	<a href="http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=20422">http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=20422</a>	
島根県	環境生活部廃棄物対策課化学物質管理スタッフ	0852-22-6445
	<a href="http://www.pref.shimane.lg.jp/haikibutsu/PRTR/PRTRdata.html">http://www.pref.shimane.lg.jp/haikibutsu/PRTR/PRTRdata.html</a>	
岡山県	環境文化部環境管理課化学物質対策班	086-226-7305
	<a href="http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=6097">http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=6097</a>	
岡山市	環境局環境保全課	086-803-1280
	<a href="http://www.city.okayama.jp/kankyou/kankyouhozen/kankyouhozen_00068.html">http://www.city.okayama.jp/kankyou/kankyouhozen/kankyouhozen_00068.html</a>	
倉敷市	環境リサイクル局環境政策部環境政策課	086-426-3391
	<a href="http://www.city.kurashiki.okayama.jp/dd.aspx?menuid=1637">http://www.city.kurashiki.okayama.jp/dd.aspx?menuid=1637</a>	
新見市	福祉部生活環境課	0867-72-6124
	<a href="http://www.city.niimi.okayama.jp/?ID=5017">http://www.city.niimi.okayama.jp/?ID=5017</a>	
広島県	環境県民局環境部環境保全課	082-513-2920
	<a href="http://www.pref.hiroshima.lg.jp/eco/g/index.html">http://www.pref.hiroshima.lg.jp/eco/g/index.html</a>	
広島市	環境局エネルギー・温暖化対策部環境保全課	082-504-2187
	<a href="http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/0000000000000/1110547527754/index.html">http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/genre/0000000000000/1110547527754/index.html</a>	
呉市	環境部環境管理課環境調査係	0823-25-3551
	<a href="http://www.city.kure.lg.jp/~kankyo/index.html">http://www.city.kure.lg.jp/~kankyo/index.html</a>	
福山市	経済環境局環境部環境保全課	084-928-1072
	<a href="http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/life/detail.php?hdnKey=4104">http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/life/detail.php?hdnKey=4104</a>	
山口県	環境生活部環境政策課大気・化学物質環境班	083-933-3034
	<a href="http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/env/index.htm">http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/env/index.htm</a>	
徳島県	県民環境部環境総局環境管理課企画調査担当	088-621-2271
	<a href="http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010071300075/">http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010071300075/</a>	
香川県	環境森林部環境管理課大気保全・環境安全グループ	087-832-3219
	<a href="http://www.taiki.pref.kagawa.jp/PRTR/index.htm">http://www.taiki.pref.kagawa.jp/PRTR/index.htm</a>	
愛媛県	県民環境部環境局環境政策課	089-912-2347
	<a href="http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/060kankyou/00005442040812/PRTRmain.htm">http://www.pref.ehime.jp/030kenminkankyou/060kankyou/00005442040812/PRTRmain.htm</a>	
高知県	林業振興・環境部環境対策課	088-821-4524
	<a href="http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030801/prtr-top.html">http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030801/prtr-top.html</a>	
福岡県	環境部環境保全課調査指導係	092-643-3359
	<a href="http://www.pref.fukuoka.lg.jp/c01/prtr-main.html">http://www.pref.fukuoka.lg.jp/c01/prtr-main.html</a>	
北九州市	環境局環境監視部環境保全課	093-582-2290
	<a href="http://www.city.kitakyushu.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&amp;NEXT_DISPLAY_ID=U000004&amp;CONTENTS_ID=16295">http://www.city.kitakyushu.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&amp;NEXT_DISPLAY_ID=U000004&amp;CONTENTS_ID=16295</a>	
福岡市	環境局環境保全課水質・土壌係	092-733-5386
	<a href="http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-hozen/life/kankyohozen/prtrdeta_3.html">http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-hozen/life/kankyohozen/prtrdeta_3.html</a>	
佐賀県	くらし環境本部循環型社会推進課	0952-25-7774
	<a href="http://www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/_1262/kan-osirase/_48889.html">http://www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/_1262/kan-osirase/_48889.html</a>	
長崎県	環境部環境政策課環境監視班	095-895-2356
	<a href="http://www.pref.nagasaki.jp/kankyo/condition/risktaisaku/risktaisaku_index.html">http://www.pref.nagasaki.jp/kankyo/condition/risktaisaku/risktaisaku_index.html</a>	
熊本県	環境生活部環境保全課大気・化学物質班	096-333-2269
	<a href="http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/43/kanho-shinseisho13.html">http://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/43/kanho-shinseisho13.html</a>	
大分県	生活環境部環境保全課大気保全班	097-506-3114
	<a href="http://www.pref.oita.jp/soshiki/13350/prtr.html">http://www.pref.oita.jp/soshiki/13350/prtr.html</a>	
宮崎県	環境森林部環境管理課大気・化学物質担当	0985-26-7085
	<a href="http://www.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyokanri.html">http://www.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyokanri.html</a>	
宮崎市	環境部環境保全課大気騒音係	0985-21-1761
	<a href="http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/www/contents/1274250126229/index.html">http://www.city.miyazaki.miyazaki.jp/www/contents/1274250126229/index.html</a>	
鹿児島県	環境林務部環境保全課環境管理係	099-286-2624
	<a href="http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/kagaku/prtr/index.html">http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/kagaku/prtr/index.html</a>	
鹿児島市	環境局環境部環境保全課水質係	099-216-1298
	<a href="http://www.city.kagoshima.lg.jp/_1010/shimin/4kankyoricycle/pollution/_38778/_23910/4-3-22prtr.html">http://www.city.kagoshima.lg.jp/_1010/shimin/4kankyoricycle/pollution/_38778/_23910/4-3-22prtr.html</a>	
沖縄県	文化環境部環境保全課	098-866-2236
	<a href="http://www.pref.okinawa.jp/kankyouhozen/okinawa/chemistry/prtr/new.html">http://www.pref.okinawa.jp/kankyouhozen/okinawa/chemistry/prtr/new.html</a>	

※都道府県によっては出先機関を受付窓口としている場合があります。上記部局にお問い合わせください。

☆印のついた部局は平成23年4月からの窓口です。

## 5 索引

アルファベット	CAS番号	95
	MSDS	96
	PRTR制度	6
い	移動量	11, 28
う	埋立	11, 28
お	オゾン層破壊物質	95
か	開示請求	51
	化学物質アドバイザー	60
	化学物質管理指針	94
	化管法	7, 68
	環境報告書	96
	環境マネジメントシステム	96
	環境リスク	94
	感作性	95
け	下水道	11
こ	公共用水域	11
	公表	6
し	指定化学物質等取扱事業者	96
す	推計方法	13, 14
せ	生態毒性	95

た	第一種指定化学物質	8, 72~92
	ダイオキシン類の単位	32
	対象化学物質	8
	対象事業者	10
	第二種指定化学物質	8
と	特定第一種指定化学物質	8, 32
	土壌への排出	11, 28
	届出事業所	35
	取扱量	94
は	排出量	11, 94
	暴露量	21
	発がん性	95
へ	変異原生	95
ゆ	有害性	94
れ	レスポンスブルケア	95

# PRTRデータを読み解くための**市民ガイドブック**

化学物質による環境リスクを減らすために／平成21年度集計結果から

平成23年(2011年)3月

**発行 環境省環境保健部環境安全課**

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

TEL.03-3581-3351(内線6358) FAX.03-3580-3596

E-mail ehs@env.go.jp

<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

<http://www.env.go.jp/chemi/communication/index.html>

**編集 社団法人 環境情報科学センター**

〒102-0081

東京都千代田区四番町8-19 番町ポンピアンビル

TEL.03-3265-4000 FAX.03-3234-5407

<http://www.ceis.or.jp/>